

ノ如キハ常ニ四百萬圓ニ近カリシ蓋シ思フニ此四十萬圓ノ預ケ合  
ハ横濱ノ取引ニ缺ク可ラサルノ額ニ係ル故ニ定期賣買ヲ公許セサ  
ルモ決シテ正實ナル商賈ニ妨害ヲ與フルコト無シ況ヤ今日ニ在テ  
ハ東京ノ猪商黠賈ノ朝夕ニ横濱ニ往還シテ相場ヲ闘ハス無キ如キ  
ノ衰頹ヲ見ハセシハ尤モ喜フ可キノ結果ナルヲヤ但シ其株主ト役  
員トノ利益ヲ減少セシムル有ラン然レトモ是レ猶ホ刑法ノ嚴密ナ  
ルニ苦ムハ獨リ惡人ニ止マルカコトキノミ彼ノ神戸ハ横濱ニ亞ク  
ノ開港場ナレトモ洋銀ノ取引所ヲ設ケサルモ其需用ヲ辨スルニ非  
スヤ要スルニ陰密ノ賣買ハ横濱其他共ニ之ヲ爲ス有ルヲ聞ケトモ  
是レ警察ヲ嚴肅ナラシメハ之ヲ制遏スルニ難カラヌ又或ル論者ハ  
外國人相場所ヲ創起シテ利權ヲ專占スト云ヘリ本官モ支那人ノ十

圓内外ノ小相場ヲ闘ハス有リト聞ケトモ是決シテ憂フルニ足ラス  
假令西洋人之ヲ爲スモ亦保證人ノ存セサル取引ナレハ誰カ巨額ノ  
取引ヲ爲ス有ランヤ之ニ反シテ本案ヲ發シ以テ其定期賣買ヲ公許  
シ加フルニ第二案ヲ布告スルトキハ法律ヲ以テ株式所ニ保證ヲ命  
スルカ故ニ投機者ハ忽チ賣買共ニ損折ヲ受ル無シトシテ安心事ニ  
從フノ大害ヲ致サントス又我紙幣ハ實ニ増發ノ弊ヲ免カレサレト  
モ見ニ政府ハ日本銀行ヲ創立シテ全國ノ銀行ヲ監督シ漸次ニ紙幣  
ヲ償消シ且銀行條例ヲ改正シ仲買人納稅規則ヲ頒チテ以テ今日實  
貨ト紙幣トノ間差頗ル少キヲ加フルノ情況ヲ現ハセリ幸ニ此情況  
ヲ維持シテ變轉セシムル無クンハ終ニ全ク間差ヲ見サルニ至ル可  
シ然ルニ去年布告セシ仲買人納稅規則ニ禁止稅ノ目的ヲ以テスル

條項アルニ拘ラス又乍チニ定期賣買ヲ公許セントスルハ本官實ニ其意ヲ解スル能ハス政府若シ課税ノ完納ヲ欲ストナラハ本案ヲ以テシテハ其所望ヲ達スル能ハサラン何トナレハ同ク是レ千分ノ二半ノ課税ナレハナリ元來此ノ如キ營業ニ課税スルハ決シテ喜フ可キノコトニ非ス米商會所ノ如キモ亦同シ然レトモ米穀ノ其相場ノ存スルハ本ト已ムヲ得サレトモ金銀貨ニ相場ヲ立ツコトヲ禁止スルヲ苦ム者ハ獨リ唯投機者流ニ止マリ決シテ一般人民ニ關係ヲ及ホスコト無シ番外ニ番ハ橫濱ニ於テハ必ス定期取引ヲ要スト論スレトモ亦是レ正實ナル商賈ノ爲ササル所トス唯其洋銀ヲ以テ吳紹ヲ購買スル等ノ爲メナラハ定期賣買ニ頼ラスシテ預ケ合ヲ爲サハ可ナリ究竟定期賣買ヲ許スハ官民共ニ利益スル所ナク唯彼ノ投機

者流ト會所役員トニ便宜ヲ與フルノミ況ヤ其相場ニ亂高下ヲ致シ爲メニ全國内ノ物價ニ影響ヲ及ホス者ナルヲヤ

退席

十七番 伊丹 重賢

○議長 卅九番ノ動議ニ同意者ハ起立セヨ

起立者十二人

○議長 多數ナルヲ以テ卅九番ノ動議ニ決ス

書記官

森山 茂

朗讀

布告案

明治十五年<sup>十二月</sup>第六十五號布告米商會所株式取引所仲買人納税規則第四條へ左ノ但書ヲ追加ス

但定期取引約定中轉賣又ハ買戻ニ係ルモノハ第三條ニ據ル

右奉 勅旨布告候事

○卅九番 渡邊 洪基 前案既ニ廢棄ニ付シタル以上ハ本案モ亦均ク廢棄ニ

付セサル可ラス故ヲ以テ廢案説ヲ提出ス

○一番 津田 眞道 賛成

○十八番 三浦 安 賛成

○議長 卅九番ノ動議ハ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○議長 卅九番ノ動議ニ同意者ハ起立セヨ

起立者十二人

○議長 多數ナルヲ以テ卅九番ノ動議ニ決シ此ニ兩號議案ノ第二讀會ヲ畢ル

○番一 尾崎 三良 第二讀會ヲ終ラハ直チニ第三讀會ヲ開カンコトヲ望

ム

○議長 議案ノ廢棄セシ者アルニ拘ラス直チニ第三讀會ヲ開クコト

ヲ望ム乎

○番一 尾崎 三良 然リ

○議長 番外一番ノ請求ニ應ス可シトスル者ハ起立セヨ

起立者十四人

○議長 多數ナルヲ以テ直チニ第三讀會ヲ開ク

書記官 森山 茂 朗讀

布告案

米商會所及株式取引所ノ仲買人ニシテ窃ニ米穀並金銀貨幣公債證券株式ノ限月若クハ現場 定期ヨリ起リタ 賣買又ハ其類似ノ取引ヲ

爲シタル者及情ヲ知テ賣買取引ノ場所ヲ給與シタル者若クハ其賣買取引ヲ誘助シタル者ハ五拾圓以上千圓以下ノ罰金ニ處シ其賣買取引ハ米商會所條例及株式取引所條例ノ手續ヲ爲サシム

右奉 勅旨布告候事  
○議長 本案ニ同意者ハ起立セヨ

總員起立

○議長 全會一致ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山 茂 朗讀

布告案

明治九年八月 第五百五號布告米商會所條例第十九條第二節ヲ删除ス  
右奉 勅旨布告候事

○議長 本案ニ同意者ハ起立セヨ

總員起立

○議長 全會一致ナルヲ以テ本案ニ決シ次案ニ移ル

書記官 森山 茂 朗讀

布告案

東京大阪橫濱株式取引所ニ於テ金銀貨幣取引ノ儀當分ノ内ニケ月以内ノ定期取引差許ス但其取引ニ係ル規程ハ農商務卿ノ認許ヲ受ク可シ

右奉 勅旨布告候事

○卅九番 渡邊 洪基 現ニ朗讀セル議案ハ既ニ第二讀會ニ於テ廢棄ニ付シタル者ニ非スヤ

○議長 然リ

○一番 津田 眞道 從來第二讀會ニ於テ廢棄ニ付シタル議案ハ朗讀セスシ

テ直チニ第三讀會ノ問題ト爲スヲ本院ノ慣例タリト信ス

○議長 然リ本會ニ於テ更ニ廢案說ヲ提出シテ可ナリ

○一番 津田 眞道 本官ハ仍ホ信ス第二讀會ニ於テ廢棄ニ付シタル議案ハ

第三讀會ニ朗讀セサルヲ慣例ト爲スコトヲ

○卅九番 渡邊 洪基 更ニ本案ヲ廢棄セント欲ス

○十八番 三浦 安 賛成

○廿三番 大給 恒 賛成

○十二番 箕作 麟祥 賛成

○十三番 本田 親雄 賛成

○三番 鍋島 幹 賛成

○議長 卅九番ノ動議ハ定數ノ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○一番 津田 眞道 本案ハ第二讀會ニ於テ多數ヲ以テ廢棄セシ者ナルニ因

リ本會ニ於テモ亦必ス然ル可キヲ信スレトモ尙ホ聊カ一言セン蓋

シ内閣モ眞實ニ本案ヲ必要ナリト爲ササルハ案文中ニ「當分ノ内」

ナル文字アルヲ以テ之ヲ徵ス可シ思フニ法律ハ天壤無窮ニ傳存ス

ト云フ可キ者ニ非スシテ其時勢ニ應シ變更ス可キハ論ヲ待タス然

レトモ姑ク之ヲ行ハンノミト云フ如キハ決シテ立法ノ精神ニ非ス

但シ彼ノ刑法治罪法ノ實施ニ阻ミ當分ノ内某條項ノ實施ヲ見合ハ

スト云フハ論外ニ屬シ之ヲ外ニシテハ此ノ如ク未タ「當分ノ内」ナ

ル文字ヲ掲ケテ以テ布告シタル法律アルヲ知ラス是等即チ本案ノ

成立セサル理由ノ一端ト爲スヘキナリ

○外二番黒田

今ヤ既ニ本案ノ維持ヲ期ス可ラサレトモ一番議官ノ

説ク如キ理由ヲ以テ本案ヲ廢棄スト云ハハ本員爲メニ一辨セサル可ラス一番議官ハ「當分ノ内」ト云ヘル文字ヲ拈出シ來リテ未曾有ノ法案ノ如ク論スレトモ十二年第三十七號第三十八號ニモ「當分ノ内」金銀貨幣取引差許候ト云ヘルノ明文アリ蓋シ價格一定セル紙幣ニ對シ之カ相場ヲ立ル如キ本來公許ス可キコトニハ非サレトモ一方ニ洋銀ノ在ル有リテ自然ニ其相場ノ高下ヲ致スヨリシテ已ムヲ得ス公許スル者トス他日若シ紙幣ヲ償消シテ全ク實貨ノミヲ行使スルノ日ニ至レハ此相場ヲ立ルコトモ自然ニ無用ニ屬セントス是レ此「當分ノ内」ナル文字ヲ掲クル所以ニシテ一番議官ノ説ノ如キ

ハ決シテ内閣ノ本意ニ非サルナリ

○州九番洪基

渡邊

本官ハ復タ喋辨ヲ要セスト信セシニ只今番外二番ノ

言ニ對シテハ更ニ一撃ヲ下ササルヲ得ス説ノ如ク「當分ノ内」ナル文字ハ既往ノ法律ニ其例間マ多シトス然レトモ十二年第三十七號第三十八號ニ「當分ノ内」ト言ヘルハ實貨ト紙幣ト價格ヲ異ニスル時限ノコトニ係ル者ナリ此精神ニ依テ之ヲ論スレハ其價格ノ平準ヲ得サルハ時限ノコトニ係レハ苟モ平準ヲ得ハ「當分ノ内」ナル文字ハ不要ノ者タリ是ニ由テ之ヲ觀レハ本案何ソ「當分ノ内」ナル文字ヲ要セン故ニ本案ニ掲クル「當分ノ内」トハ即チ當分ノ内ニ於テ又更ニ當分ノ内ト云フノ意ナルヲ推ス可シ何トナレハ洋銀ト紙幣トニ間差アレハ是レ當分ノ内ニ係レハナリ實ニ番外二番ハ無用ノ

辨ヲ爲ス者ト謂フ可シ

○議長 卅九番ノ動議ニ同意者ハ起立セヨ

起立者十二人

○議長 多數ナルヲ以テ卅九番ノ動議ニ決ス次ニ第四案ハ第二讀會ニ於テ廢棄ニ決セリ今之ヲ問題トナス

布告案

明治十五年<sup>十二月</sup>第六十五號布告米商會所株式取引所仲買人納稅規則第四條へ左ノ但書ヲ追加ス

但定期取引約定中轉賣又ハ買戻ニ係ルモノハ第三條ニ據ル

右奉 勅旨布告候事

○卅九番 渡邊 洪基 本案モ前案ト同ク廢棄セント欲ス

○十八番 三浦 安 賛成

○十二番 箕作 麟祥 賛成

○三十番 伊集院 兼寛 賛成

○一番 津田 眞道 賛成

○三番 鍋島 幹 賛成

○議長 卅九番ノ動議ハ定數ノ賛成者アルヲ以テ問題ト爲シ直チニ決ヲ取ラン卅九番ノ動議ニ同意者ハ起立セヨ

起立者十二人

○議長 多數ナルヲ以テ卅九番ノ動議ニ決シ第三百九十九號及ヒ第四百號議案ノ第三讀會ヲ畢ル例ニ從ヒ院議ヲ附シテ上奏セン散會

セヨ

午前第十一時閉場

元老院會議筆記明治十六年十月十八日

禁傍聽

○第四百六號議案古物商取締條例ノ儀第一讀會

議長東久世通禧

出席議員

二番 細川潤次郎

三番 箕作麟祥

四番 野村素介

七番 鍋島直彬

八番 伊丹重賢

十番 大給恒

十二番 津田出



- 十三番 西村 貞陽
- 十五番 柴原 和
- 十六番 海江田信義
- 十九番 上杉 茂憲
- 二十番 大鳥 圭介
- 二十一番 黒田 清綱
- 二十五番 鍋島 幹
- 二十八番 大久保一翁
- 二十九番 渡邊 清
- 三十番 伊集院兼寛
- 三十二番 三浦 安

- 三十六番 神田 孝平
  - 三十七番 田中 芳男
  - 三十九番 津田 眞道
  - 四十番 渡邊 洪基
  - 四十一番 井田 讓
  - 四十二番 官本 小一
  - 四十三番 田邊 太一
- 内閣委員 一番 参事院議官 水本 成美
- 同 二番 参事院議官補 黒田 綱彦

午前第十時開場

○議長 第四百六號議案ノ第一讀會ヲ開ク但本案ハ條項浩瀚ナルヲ

○以テ畧シテ布告案ノミヲ朗讀セシム可シ

書記官 森山 朗讀

布告案

古物商取締條例別冊ノ通制定シ本年 月 日ヨリ施行ス

右奉 勅旨布告候事

○番一 番水本 外 成美 本官ハ本案ノ制定此ニ至リシ理由ト其從前ノ規則ト

相同シカラサル要點トヲ略陳シテ各位ノ參考ニ供セントス蓋シ本案タル人民ノ財産ヲ保護スルノ旨趣ニ成レルハ本官ノ辨ヲ俟タスシテ明カナラン抑モ本條例ノ創定ハ今日ニ係ルモ古物商ヲ提轄スルノ規則ハ舊幕府ノ時ニ在テ既ニ之レ有リ畢竟提轄ノ方法ナクンハ贓物ヲ發見シ以テ事主ノ手ニ還付スル能ハサレハナリ今本案ノ

理由ヲ述ルニ先タチ古物商ノ取締ニ關シ舊幕府以來今日ニ至ルノ沿革ヲ概陳スルモ亦無用ナラサル可シ因テ聊カ之ヲ演シニ舊幕府時代ニハ古着屋、古着買、古鐵屋、古鐵買、古道具屋、小道具屋、唐物屋、質屋ノ八種ニ係ル商人ヲ合一ニシ之ヲ提轄スルノ規則アリ其規則ノ濫觴ハ即チ享保八年ニシテ彼ノ高名ナル市尹大岡越前守ノ勤役中ナリシ而モ其取締ノ方法ハ八種ノ商人中各十人ヲ一組ト定メ組中輪番ヲ以テ一人ノ月行司ヲ置キ若シ贓物ノ品觸アルニ遭ハハ之レト他組ノ月行司ト連署シ其組合中ニ輪報シテ以テ贓物發見ノ用ニ供セリ但シ八品商ノ名稱ハ當時未タ之ヲ下サス其之ヲ下セシハ實ニ寛政三年初鹿野河内守ノ告示書ニ權輿ス八品商取締規則ハ前陳ノ如ク既ニ享保八年ニ成リ連綿實行シテ天保十二年ニ至リシニ

商人中組合ノ設ケ有ルカ爲メ動モスレハ古格ニ泥ミ新タニ同業ヲ開カントスル者ヲ拒斥スルノ弊アリト爲シテ之ヲ解キ皆其鑑札ヲ返納セシム是レ水野越前守ノ閣老タリシ時ニ係ル既ニ其組合ヲ解シニ依リ新タニ同業ヲ開カント欲スル者ニハ便利ナルモ爾後贓物發見ノ事ニ於テハ復タ舊時ノ如クナル能ハス故ニ嘉永五年ニ至リ更ニ之ヲ舊制ニ復セシヲ以テ贓物モ亦事主ノ手ニ還ル者多キヲ致セリ大政復古以來專ラ舊習ヲ一變シ百事改良ヲ期セシモ其間國家多事ナリシヲ以テ荏苒歲月ヲ閱シ明治六年七月ニ至リ始メテ古着古鐵類商賣結社規則ヲ發セリ是ヲ現行八品商取締規則ノ根本ト爲ス但シ當時ニ在テハ惟タ之ヲ東京府下ノミニ執行セシモ八年ニ至リ更ニ同規則ヲ改正シテ以テ全國ニ實施スル者ト爲セリ且本府ノ

提轄ノ如キ初メ府廳ニ屬セシモ九年七月ニ至リ之ヲ警視廳ニ管掌セシム因テ其十一月警視廳甲第八號布達ヲ以テ染物屋ヲモ亦八品商取締規則ニ準依セシムル者トシ爾後數次規則ヲ改正増補シ以テ今日ニ及ヘリ蓋シ職工部ニ入ル可キ染物屋ヲモ八品商中ニ加ヘシ精神ヲ問ヘハ則チ細大漏サス之ヲ提轄セント欲スルニ在リ然レトモ是レ其提轄ノ急ニス可キ者ヲ漏シ而シテ寛ナルモ妨ケ無キ者ヲ嚴ニスルカ如キ結果ヲ生セリ故ニ這般内務卿ニ於テ更ニ提轄ノ方法ヲ審按シテ之ヲ上申シ遂ニ本案ト爲リテ本院ノ議定ニ付セララルニ至ル約スルニ此法律アルニ非サレハ古物商ヲ提轄シ隨テ匪徒ノ跡ヲ潛メシムル能ハスト爲スニ在リ本案編成ニ關スル沿革ハ大略前陳ノ如ク是ヨリ進シテ本案ノ要點ヲ述ントス抑モ古物商ナル

者モ舉テ皆不良ノ徒ノミニ非ス其眞ニ不良ナル者ハ夫ノカイヅ買即チ東京ニ所謂ケイヅ買是レナリ此等ノ輩ハ常ニ贓物ヲ買收シテ之ヲ他ニ估却スルヲ業トス故ニ偷兒モ亦此輩ニ頼ラサレハ其罪ノ忽チ發覺ス可キヲ以テ贓物アル毎ニ必ス之ニ就テ賣却ス是レ其實ハ以心傳心ニ成ルモ二者ノ間殆ント契約アル者ノ如シケイヅ買ノ害タル特リ之ニ止ラス嘗テ盜罪ニ因テ懲役等ノ刑ヲ受シ者ト同居シ又ハ彼ヲシテ自家ノ近傍ニ居住セシメ其盜竊ノ贓物ナルヲ知テ之ヲ賣買シ或ハ自己犯罪ノ爲メ拘囚若クハ懲役中ニ在テ他日放免ノ時ニ遭ハハ贓物ヲ買收センコトヲ同囚ニ説キ以テ其再犯ヲ誘致スル者アリト云ヘリ是等ノ輩ニ至リテハ其何レノ所在ヲ問ハス互ニ勢息ヲ通シ甲奪ヘハ乙之ヲ買ヒ會々警察官吏之ヲ探知シテ乙家

ニ就テ以テ簿冊ヲ點檢スルモ毎ニ其品目ヲ載セス之ヲ詰レハ輒チ曰ク贓物ナルコトヲ知ラサリシヲ以テ買收シ而シテ氏名知レサル人ニ賣却セリト是ニ於テカ警察官吏モ亦如何トモスル能ハス且偷兒モ其正業者ニ就テ贓物ヲ賣却スルカ如クハ條チ其罪ハ發露ス可キモ彼ノケイヅ買ナル者アリテ串通事ヲ謀ルカ爲メ警察官吏ニ於テモ容易ニ之ヲ探知スル能ハス故ニ偷兒トケイヅ買ハ日ヲ逐フテ多キヲ加ヘリ爰ニ贓物ノ事主ノ手ニ還リタル比例ヲ計査スルニ明治九年前ハ百中五十内外ナリシモ十五年一月以降ニ至リテハ漸ク百中二三ノ上ニ出ス蓋シ九年前ニ贓物ノ發覺セシ者多カリシハ刑法ノ峻嚴ナルカ上ニ諸訊等ノ法アリシト舊幕時代ノ提轄嚴密ニシテ且周到ナリシ餘焰トニ由レリ爾後其數ノ頓ニ減少セシハ汽船及

十  
ヒ鐵道ノ開クルニ隨ヒ東京ニ奪テ忽チ之ヲ神戸ニ輸致シ又轉シテ  
大坂長崎ニ回漕スル等運搬ノ至便ナルヨリ自然ニ其踪跡ヲ没シ易  
シ故ニ小賊ハ從前ニ比スレハ減少セシモ鑽倉賊ハ年ヲ逐フテ増加  
セリ試ニ十五年一月ヨリ六月ニ至ルノ間該賊ノ爲メニ害ヲ被リシ  
數ト本年一月ヨリ六月ニ至ルノ數トヲ舉シニ昨十五年一月ニ十一  
戸二月ニ四戸三月ニ八戸四月ニ二十四戸五月ニ十八戸六月ニ九戸ニ  
シテ總計六十四戸ナリ而シテ本年一月ハ二十二戸二月ハ十七戸三  
月ハ二十六戸四月ハ二十八戸五月ハ十六戸六月ハ十戸ニシテ總計  
百十九戸ナリ即チ本年ノ昨年ヨリ増加セシ數ハ半年間ニシテ五十  
五戸トス此ノ如ク匪徒ノ惡業ノ増進スルニ至リテハ到底從前ノ規  
則ニ憑依スル能ハス因テ本案ノ如ク嚴ニ之ヲ提轄セントスルモ唯

十一  
タ徒ヲニ法律ノミヲ峻嚴ニセハ或ハ非營業者ニ擬シテ贓物ヲ買收  
スル者ヲ生シ又或ハ不良ノ商人ヲ提轄スルニ加ヘテ善良ノ商人ニ  
患害ヲ及ホスノ虞アリ是ヲ以テ本案ハ寬猛二途ニ分チ其前段ヲ古  
物商一般ノ提轄ニ充テ後段ヲ彼ノ不良ナル古物商ノ特別取締ニ備  
ヘリ然リ而シテ見今ノ如ク犯則者ノ罰ヲ違警罪ニ止ムル如クンハ  
本案モ亦徒法ニ屬スルヲ以テ時トシテハ第六條ニ照シ嚴刑ヲ課セ  
ントス論者或ハ曰ン贓物タルヲ知テ買收スル者ハ刑法第三百九十  
九條ニ準依セハ可ナラン何ソ必スシモ此第六條ヲ要セント彼ノ罪  
人ノ口供ノミヲ必要ト爲ス時ノ如キハ然ル可キモ苟モ斷罪依證ノ  
原則ノ成立セシ今日ニ在テハ之ヲ要用ナリト謂ハサルヲ得ス何ト  
ナレハ現行犯ノ場合ニ非サレハ果シテ是レ情ヲ知テ買收セシヤ否

ヤヲ斷定スルハ極メテ難キノミナラス其情ヲ知ルト否トハ唯買收者ノ意中ニ存スルノミナレハ決シテ外面ヨリ憶斷ス可ラサレハナリ且假令疑フ可キ形狀アルモ證據充分ナラサレハ之ヲ律ニ問フ能ハス其適マ證據ヲ認ムル有ルモ現行法ノ如ク之ヲ罰スルニ違警罪ヲ以テスルニ過キサカ如キハ到底懲戒ノ實ヲ舉ル能ハサルナリ又本案第二十三條ノ末文ニ「刀劍商ハ此條例ニ準據スヘシ」ト言ヘルハ或ハ第八條ノ「刀劍云云」ト重複セルニ似タルモ第八條ハ刀劍ノ販賣ヲ提轄スルヲ目的トシ特ニ此條ヲ登載セシハ即チ強盜ノ年月ヲ逐フテ多キヲ加ヘシニ由ルナリ試ニ十年ヨリ十五年ニ至ル強盜ノ被害者ヲ舉レハ十年ニ二百七十三戸十一年ニ三百四十六戸十二年ニ三百七十四戸十三年ニ五百五十三戸十四年ニ四百五十四戸

アリ又十四年ノ上半期ト十五年ノ上半期トノ數ヲ比スレハ十四年ハ百九十戸十五年ニハ二百五十四戸ニシテ概計スルニ前年ヨリ六十四戸ヲ増セリ今之ヲ十年ノ數ニ比スルニ其増加スルコト大凡一倍トス然リ而モ斯ク強盜ノ増加セシハ即チ十年第二十五號布告ヲ以テ強盜律ヲ改正シテ以テ其刑ヲ寬ニセシト爾後新刑法ニ於テ其刑ノ益輕キヲ致セシトニ外ナラサルカ如キモ抑モ刀劍商ノ提轄ノ周到ナラサルモ亦一原因ナリ蓋シ其強盜ハ如何ナル人種ニ多キ乎士族ナル歟將タ博徒ナル歟ト問フニ東京ニ於テ十年中ニ捕拿セシ強盜ノ族籍ヲ計查スレハ總員二百八十三人中士族十三人餘ハ皆平民ニ出ツ而シテ其携帶セシ兇器ノ數ハ總テ百六十三本内七十五本ハ匪徒ノ捕ニ就カサルト口供完結セサルカ爲メ未タ其出所ヲ詳ニ

セサルモ十九本ハ掠奪若クハ竊取ニ係リ其他ハ皆露店古道具店ニ就テ購買セシ者ニ係ル是レ刀劍商ノ提轄ノ周到ナラサルモ亦強盜ノ多キヲ致ス一原因ナリト謂フ可シ人或ハ曰ン刀劍ノ危害此ノ如ク甚シクンハ夫ノ銃砲ト同シク之ヲ應禁物ト爲サハ何如ト然レトモ斯ク論スルトキハ其極刺刀ナリ厨刀ナリ苟モ人ヲ恐嚇シ人ヲ殺傷スルニ足ル可キ刀類ハ悉ク應禁ノ部ニ入レサレハ遂ニ效用ヲ見ル能ハス而モ是レ望ム可ラサル者ナルヲ以テ惟タ刀劍商ヲ取締ルノミニ止ムルニ如カスト爲セシナリ又従前八品商取締規則中ニハ質屋ヲモ包括セシモ原來質屋ナル者ハ他商ニ比スレハ舊幕政以來其組合ノ契約堅固ニ取締モ周到ナルノミナラス偷兒ハ贓物ヲ典スルモ概子之ヲ贖フコト無ク因テ滿期ニ至ルマテハ必ス物品ノ典舖

ニ見存セルヲ以テ適マ贓物ノ品觸ニ符合セル者アルトキハ之ヲ官衙ニ申告スル者少ナシト爲サス見ニ昨今ニ在テモ本所區元町ナル質屋某芝區金杉町ナル質屋某ハ其質物ノ贓品ナルヲ發見シ之ヲ申告シテ警視廳ノ賞ヲ得タリ加之質屋ヲ本條例中ニ包括スルカ如キハ更ニ二三ノ條款ヲ掲クルモ尙ホ未タ盡ス能ハス故ニ之ヲ省キ其提轄ハ特ニ別法ヲ制スルヲ得タリトス而シテ本條例ト共ニ之ヲ發スル能ハサルハ其編纂未タ完成セサルヲ以テナリ又紙屑屋ヲ除キシハ該商タル只紙屑ノミヲ買フニ止リ若シ該商ニシテ古着ヲ買ンニハ古着商ノ鑑札ヲ受ケ古銅鐵ヲ買ンニハ古銅鐵買ノ鑑札ヲ受ケサル可ラサルノ成規ナルカ故ニ之ニ違背スル者アルトキハ本案第十四條ヲ以テ處罰スルヲ得ヘケレハナリ更ニ一説明ヲ要スル者

アリ特別取締是レナリ人或ハ曰ン法ニ監視アルモ敢テ其効用ヲ見ル無シ本條例ノ特別取締モ寧ロ之ニ類スル無カラシヤト焉ソ知ン監視ニ効用アルコトヲ若シ夫レ然ラストセハ囹圄又ハ懲治場モ亦効用ナシトスルカ況ンヤ此特別取締ハ夫ノ監視ニ比スレハ其範圍狹隘ナルヲ以テ能ク其提轄モ周到ス可キヲヤ又本案ニ染物屋ヲ載セサルハ前ニ述シ如ク其贓物中縐子緞子博多若クハ縞類ハ素ト染物屋ニ關係アルコト無シ唯タ紋附裙模様等ニ至リ或ハ然ラサルカ如キモ是等ノ物品ハ頗ル發露シ易キ者ナルヲ以テ偷兒モ漫リニ之ヲ偷マス故ニ自ラ關係ヲ生セス加之染物屋ハ職工ニシテ商業者ニ非ス今此ニ之ヲ省クハ却テ體裁ヲ得タリトス尙ホ陳述セント欲スル者ナキニ非サルモ言論頗ル長キニ渉ルヲ以テ敢テセス若シ質疑

アラハ番外二番又ハ本官ヨリ答辨セン

○八番 伊丹重賢

番外一番ノ詳細ナル説明ニ由リ惟タ本案ノ旨趣ヲ領會

セシノミナラス併セテ贓物ノ提轄上ニ關スル沿革ヲモ了得シ一層瞭然タルヲ覺フ說ノ如ク刑法ノ沿革及ヒ運輸ノ便ノ開クルニ隨ヒ偷兒ノ法網ヲ免ルル者多ク贓物ハ益ス氓滅スルヲ以テ此ノ如キ法ヲ設ケ財産保護ノ要ニ備フルハ固ヨリ緊要ナリトス故ニ其大體ニ就テハ異論ナキモ其間或ハ不良ノ古物商ヲ提轄スルカ爲メニ善良ナル同業者ニ妨碍ヲ爲ス如キハ縱使ヒ已ヲ得サルノ情由アルモ實ニ憫然ノ至リナラン抑モ商業ハ其賣買運轉ノ最モ迅速ナルヲ善トス若シ少シク機ニ後レハ忽チ花主ヲ失フハ乃チ常有ノ事ナリ本案ノ所謂特別取締ノ如キハ必ス應ニ嚴格ナルヘキモ其他古物商一般



ニ係ルノ規則ハ務メテ苛嚴ニ失セサルヲ可トス本案ノ立意モ亦然ルニ似タルモ第五條ニ十五年未滿ノ者白痴瘋癲者及雇人ヨリ物品ヲ買取り又ハ交換スルコトヲ得スト爲シ古物商ヲシテ是等ヲ鑑別セシメントスルハ殆ント強ルニ近シ第九條ノ商品ヲ他府縣ニ運送セントスルトキハ其商品ノ目錄ヲ所轄警察署ニ届出シムルモ亦其煩雜ナル想フ可シ但シ本官ハ一意ニ之ヲ非視スルニ非ス惟タ其提轄ノ眞ニ必要ナル者ニ止メテ他ニ及ハサランコトヲ欲スルノミ又一回盜罪等ノ處斷ヲ受シ者ノ物品ハ警察官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ一切購買スルヲ得スト爲スハ是等ノ徒ハ終身良心ニ復スルノ期ナシト做スニ在ル乎刑法中既ニ公權剝奪ノ條アルモ亦復權ノ明文アリ望ヲクハ彼例ニ倣ヒ之ニ期限ヲ付シ滿期ノ後ハ賣買ノ自由ヲ

得セシメ以テ其良心ニ復スルノ途ヲ闢カンコトヲ又番外一番ノ説キシ幕臣水野越前守ノ注意ノ如キモ亦大ニ採ル可キ有リ本案ヲ立ルニ方リテハ能ク是等ヲモ斟酌シテ以テ善良ノ商人ニ妨碍ナカラシコトヲ期ス可キナリ且本案ニ據レハ夫ノ露店ヲ張リテ古物ヲ賣リ辛ク世計ヲ立ル者ノ如キハ其營業ノ艱難ナルヨリ遂ニ梁丈君子ト變シ世間無賴ノ徒ヲ増殖スルモ亦知ル可ラス斯ノ如キハ角ヲ切テ牛ヲ殺シ枝ヲ槩テ花ヲ散スノ悔アラシ本本案ニ對シテハ尙ホ各位ノ發言アル可キニ由リ其畢ルヲ俟テ本官ハ之ヲ全部付託修正委員ニ委付スルノ建議ヲ爲サントス因テ豫メ之ヲ陳フ

○三十九番 津田眞道

本官ハ本案ヲ是認ス抑モ偷盜ノ害タル之ヲ外患内訌ニ比スレハ小ナルモ國家無事ノ日ニ在テハ之レヨリ大ナルハ莫

シ然リ而シテ之カ提轄ノ緊要ナルト八品商ノ沿革トハ既ニ番外一  
番ノ陳述ニテ復タ餘蘊ナシ若シ夫レ本官ノ意見ヲ以テセハケイヅ  
買ノ如キ或ハ之ヲ死刑ニ處スルモ猶ホ可ナリト思量スルモ彼ノ權  
衡ナル者アリテ獨リケイヅ買ノミ遽ニ極刑ニ處スル能ハス故ニ先  
ツ本案ヲ發シテ之ヲ提轄シ而モ十年以來ニ比シテ尙ホ匪徒多キヲ  
加フル如キハ則チ更ニ嚴刑ニ處スル者ト爲スモ可ナリ然レトモ本  
案中猶ホ寛裕ニ失スル者アリ第六條ノ刑是レナリ蓋シケイヅ買ノ  
行爲タル番外一番ノ言ノ如ク多クハ盜罪ノ處斷ヲ受シ者ヲ養ヒ以  
テ復タ盜罪ヲ犯サシメ己レ其贓物ヲ買ヒ之ヲ他人ニ賣リテ利ヲ獲  
ルヲ常トセリ故ニ之ヲ賊魁ト稱スルモ決シテ誣ルニ非ス尙ホ是レ  
博徒ノ所謂堂取ナル者ト一般ナリ然ラハ則チ尋常偷兒ノ罪トケ

イヅ買ノ罪トヲ比スルニ其輕重如何ハ本官ノ辨ヲ俟テ後チ知ラサ  
ル可シ蓋シ近今ハ稍ヤ前ニ妄進セシ事項ヲ省悟スル所アルカ如キ  
モ之ヲ昔時ニ顧レハ其歐米ニ行ハルル者ハ皆之ヲ是トシ其慣習ノ  
如何ニ拘ハラス彼モ學フ可シ此モ擬フ可シト爲シ己ニ國家ノ一大  
典章ナル刑法ノ如キモ全ク舊觀ヲ留メサルニ至レリ一方ヨリ言ハ  
ハ或ハ風俗改良ヲ致セリト爲ス可キモ他方ヨリ看レハ則チ法理ニ  
心醉シテ慢ニ經世ノ大旨ヲ失フ者ト謂フ可シ原來法理ト稱スル者  
ハ善ハ乃チ善美ハ乃チ美ナリト雖モ本邦ノ今日ニ在テハ未タ以テ  
普行スル能ハス看ヨ所謂萬國公法ノ精神タル苟モ國ヲ爲ス者ハ其  
大小ヲ問ハス悉皆同等ノ權理ヲ有シ同等ノ待遇ヲ受ケシムル者ニ  
非スヤ然ルニ見ニ歐米各國ノ舉動ヲ察スルニ清佛ノ安南事件ニ於

ル佛國ノ「マダガスカル」ニ於ル等一モ萬國公法ニ準據スルノ形跡アルヲ見ス弱肉強食ハ今日ニ在ル可ラサルノ理ナルモ實際既ニ此ノ如シ蓋シ人民ノ權理ニ於テモ彼我平等ナル可キハ勿論ナルモ富者ノ貧者ヲ凌駕スルハ數ノ免レサル者トス故ニ本邦ノ外交ヲ開キシヨリ以來夫ノ治外法權ナル者ノ我カ國權ヲ損スルヲ以テ我ハ之ヲ改正セントスルニ彼レ猶ホ我ヲ指シテ未開國ト爲シ未タ其望ミニ副フルノ意ナシ我レ若シ此目的ヲ達セント欲セハ宜シク兵備ヲ充實ニシ彼レ之ヲ容レサレハ兵力以テ服從セシムルニ至ルノ元氣ナカル可ラス是亦交際勢力ニ成ルノ一證ナリ然リ而シテ我現行ノ刑法治罪法ヲ發スルノ初メニ方リ思ラク今此刑治二法ヲ以テ現ニ歐米各國ニ行ハルル所ノ者ニ比セハ一層完備ナリ故ニ之ヲ各國政

府ニ示サハ彼ノ政府人民共ニ安心シテ我カ法律ノ下ニ立ンコトヲ欲スルナラン然ラハ則チ一舉シテ所謂治外法權ヲ打破スルヲ得ヘシト即チ之ヲ實行セシニ特リ其効ヲ奏セサリシノミナラス今日之カ爲メニ支障アル最モ尠シト爲サス畢竟目ヲ實際ニ注カスシテ徒ニ輕躁ノ進歩ヲ爲シタルノ弊ナリ今ヤ本案ハ現行取締規則ノ其罰違警罪若クハ少額ノ罰金ニ止マルヲ以テ到底賊魁即チケイツ買ヲ懲戒スルニ足ラスト爲シテ之ヲ設クルニ在リ是レ我國實際ニ緊要ナル者ニシテ漫ニ法理ヲ論ス可カラサル所トス但シ本官ハ前陳ノ如ク尙ホ之ニ一層ノ峻嚴ノ法ヲ加ヘサレハ未タ以テ足レリト爲サス然レトモ姑ク權衡論ニ一步ヲ讓リ先ツ本案ヲ發シテ其結果何如ヲ見ント欲ス因テ原案ノ如ク議決上奏センコトヲ望ム

○三番箕作  
麟祥

本案中稍ヤ解シ難キ者アリシモ前日別席ニ於テ質問シ且今日八品商ノ沿革及ヒ本條例創定ノ理由ニ關シ番外一番ノ詳明ヲ得テ倍ス領會スルヲ得タリ抑モ本案制定ノ要旨ハ多多アル可キモ其主眼トスル所ハ現行取締規則ハ即チ警視廳達ニシテ只違警罪ヲ以テ罰則ト爲スニ過キサカ故ニ懲戒ニ力ナク是ヲ以テ這般ハ之ヲ法律ト爲シ重キハ數年間ノ禁獄ニ處シ若クハ數百圓ノ罰金ヲ課セントスルニ在リ蓋シ偷兒ノ増加ヲ防クノ一事ニ至テハ現行規則ニ據ルモ其執行宜キヲ得ハ尙ホ難シト爲サス且假令本案ヲ發スルモ愈以テ其弊ヲ防クニ足ルヤ否ヤハ未タ知ル可ラサルナリ然レトモ本官ハ敢テ之ヲ非視スルニ非ス唯タ第一條以下ニ係ル意見ヲ陳レハ第一條ニ「古物商トハ古道具、古本、古書畫、古着、古銅鐵、潰

金銀ヲ賣買スル營業ヲ云フ」ト有ルハ洋語「デフヒニ—シヨシ」ナル者ニシテ即チ本案ノ管理スル所ハ此列記セル數者ニ止リ他ハ皆範圍外ニ在ル者トス然ルニ古物ノ賣買ハ獨リ之レニ止マラス故ニ質屋ヲ始メ各業者ヲ八品商中ニ混同シテ提轄スルハ現行規則ニ於テ明亮ナリ蓋シ本案ハ佛朗西國ニ行ハルル「ブローカー、ロー」ニ擬シテ起草セシ者ノ如ク其體面ハ稍美ナルモ彼ノ第一條ニ列記セル數者ニテハ尙ホ管理ヲ脫スル者アルハ前ニ陳ル如シ但シ第二十三條ニ於テ「袋物小間物鼈甲時計ノ古物ヲ賣買交換スル者飾屋箔打屋烟管屋ニシテ其營業ニ屬スル古物ヲ賣買交換スル者及刀劍商ハ此條例ニ準據スヘシ」ト掲ケテ以テ其缺漏ヲ補ハントスルモ本官ハ尙且其漏ル者アルヲ恐ル番外一番ハ若シ現行規則ノ如ク廣ク古物

商ヲ囊括セントスルトキハ却テ提轄ノ周到セサル虞アリト云ヘリ  
 是レ或ハ然リ然レトモ今ヤ現行規則ヲ廢シテ本案ヲ發セントスル  
 ニ當リ從來管理内ニ在リシ者ヲ除却スル如キハ特ニ好マサルノミ  
 ナラス取締周到ナラサルノ嫌ヒ有リ又第六條ノ緩嚴何如ハ姑ク置  
 キ或議官ノ說ノ如ク一旦盜罪ヲ犯セル者ハ終身物品賣買ノ自由ヲ  
 得セシメサルハ生涯偷兒ハ偷兒ニテ畢ル可シト云フニ在ルカ所謂  
 監視ニ付セラレシ者モ其滿期ノ後ハ即チ尋常人ト別異アルコトナ  
 シ豈偷兒ト雖モ前業ヲ悔悟シ正ニ就ク者ナシト謂フ可シヤ然ルニ  
 是輩ノ物品ハ特ニ警察官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ終始賣買スル能  
 ハスト爲スハ窮屈モ亦甚シ若シ夫レ本案ノ如クンハ彼ヲシテ生涯  
 偷兒タラシメント爲ス者ト謂フモ不可ナカラシ蓋シ佛蘭西國ニ於

○テ嘗テ準死ト稱スル刑ヲ設ケ殺人罪若クハ放火罪ヲ犯セシ者ニ之  
 ヲ課セシコト有リ此刑タル物ヲ他人ニ與フル能ハス又之ヲ受ル能  
 ハサルニ在リ然ルニ此法固ト條理ニ合セサルヲ以テ已ニ廢除セリ  
 ト言フ第六條ノ如キモ亦遂ニ條理ニ合スルヲ知ラサルナリ又第八  
 條刀劍云云ノ項ニ關シテハ番外一番既ニ豫防ノ言アリシモ本官ノ  
 意ヲ以テセハ本條モ亦質屋取締規則ト一般之ヲ本家中ヨリ除却シ  
 他日夫ノ銃砲取締規則等ニ擬シテ完備ナル法文ヲ作り以テ之ヲ布  
 告スルヲ可トス假令本條ヲ置クモ強盜増加ノ患害ヲ防クコトハ到  
 底能ハサル者トス且ヤ本條タル刀劍ハ身元詳ナラサル者又ハ先ニ  
 盜賊賭博ノ處斷ヲ受ケタル者ニ之ヲ賣渡シ讓渡スコトヲ禁スルニ  
 在ルモ其盜罪等ヲ犯セシ者ナルヤ否ヤハ何ニ由テ識別スルヲ得ル

カ是レ恐ラクハ難事ナラン蓋シ既ニ賭博罪ヲ犯シ而後刀劍ヲ購求シ始メテ強盜ヲ爲ス者ノミナルトキハ或ハ取締易キモ先ツ刀劍ヲ購ヒ而テ後始メテ強盜ヲ爲ス者アルヲ如何セン番外一番ハ之ヲ銃砲取締ノ應禁物ト同シクセハ其極刺刀ト云厨刀ト云苟モ人ヲ殺傷スルニ足ルノ具ハ皆同一ノ提轄ニ付セサル可ラスト言フモ彼ノ強盜ノ藉テ以テ人ヲ威嚇スルハ概シテ長創大刀ナリ厨刀ノ如キハ素ヨリ其用ト爲スニ足ラス故ニ刀劍ノ類ハ特ニ別法ヲ設ケテ提轄セサル可ラサルヲ信ス又第二十三條ノ如キ其意ニ疑義ナキモ到底修正セサル可ラス本官ノ本案ニ對スル意見ハ大略此ノ如シ

退席

二十五番

鍋島

幹

○十五番 柴原和

本案ノ大體ニ就テ意見ヲ述ントス本官始メ以爲ク本

案ハ夫ノ八品商取締規則ニ原キ更ニ制定セル者ナル可キモ現ニ該規則ハ實行シテ妨ケナシ何ソ特ニ之ヲ須フルヲ要セント爾來内閣委員ノ辨明ヲ聽キ又各條ノ疑義ヲ質シ頗ル曉ル所アリ因テ本案ヲ是認ス蓋シ始メ不急ノ法案ナリト思考セシ所以ヲ細陳センニ例ヒ盜罪ヲ犯サントスル者アルモ贓物ヲ賣却スルノ途ナクハ自然犯人ノ數ヲ減セン然ラハ則チ該犯ノ増加スルハ贓物ノ買收者多キニ由ルナリ故ニケイヅ買ノ提轄ヲ嚴ニスルハ素ヨリ美事ナルモ既ニ刑法第九十九條及ヒ第四百一條ノ存スル在レハ足ルト蓋シ内閣委員ノ辨明ニ依レハ彼ノ二條ノ場合ハ強竊盜ノ贓物若クハ詐欺取財等ノ物件ナルヲ知テ之ヲ購買セシ如キ者ニ係ル然ルニ偷兒ノケイヅ買ニ於ル白地ニ偷兒タルヲ告ケス又贓物タルヲ語ラサルモ所

謂以心傳心ニ因リケイヅ買ハ暗ニ其偷兒タリ贓物タルヲ知リテ之ヲ購求ス會マ警察官吏ノ其物品ニ就テ出所等ヲ訊スコト有ルトキハケイヅ買ハ之ニ答フルニ住所氏名ヲ知ラサル者ヨリ買收シ又氏名ヲ知ラサル人ニ賣却セリト言フヲ以テ常ト爲スト果シテ然ラハ彼ノ二條共ニ全ク畫餅ニ屬セン又本案第三條ニ古物商物品ヲ賣買セシ時ハ之ヲ簿冊ニ記載セシムルノ事アリ都下ノ典舖若クハ骨董店等ニ在テハ店主ハ勿論半當手代等皆文字ヲ知ル者ヲ使用スルカ故ニ支吾ナキモ僻地ニ至テハ舉家文字ヲ解セサル者往往ニ之レ有リ此ノ如キハ之ヲ如何セント苦慮セシニ若シ是等ノ文盲者アラハ或ハ方圓花紋ノ形狀ヲ畫キテ以テ文字ニ代フルモ敢テ妨ケスト言ヘリ且贓物ノ品觸ノ如キモ東京ニ在テハ事主ノ訴ヘ有ル毎ニ之ヲ

活版ニ上セ迅速ニ入品商頭取ヨリ各組合ニ報告スルノ便アルモ僻地ニ至テハ頗ル難事ナル可シト思量セシニ是亦例ヘハ時辰儀ニ係ル品觸ナレハ其物質及ヒ番號等事主ノ訴ヘニ隨ヒ地方官之ヲ詳記シ以テ其古物商中ニ報告スルノ意ナリト言フ以上内閣委員ノ辨明ヲ得テ本官ノ疑點忽チ冰解セリ加之現行規則ハ警視廳ノ布達ニシテ本案ノ如キト同シカラス故ニ彼ノ氏名ヲ知ラサル人ヨリ買取レリ等ノ機智ヲ以テ法網ヲ免カルルヲ得サルナリ況ンヤ第十五條第十六條ノ在ル有ルヲヤ殊ニ本官ノ是認スル所ハ立案ノ旨趣寬猛ニ途ニ分チテ以テ古物商ヲ提轄シ而シテ現行規則ニ在ル所ノ質屋取締ノ一欸ハ之ヲ別法ニ讓リタルニ在リ然レトモ其各條ニ就テハ異見ナキニ非ス先ツ第一條ニ列記スル種目ノミニテハ三番ノ言ノ如

ク他ニ遺漏スル者多カラシ見ニ昨年數百圓ノ價直ヲ有スル盆栽ノ植物ヲ竊取セラレシ者アリシヲ以テ知ルヘシ又第三條ノ買主讓受主ヲ詳カニスルコトヲ得タルトキハ之ヲ記載スヘシト有ルハ其詳カニセサレハ記載セスシテ可ナルカ此ノ如キハ到底徒法タルヲ免レス第八條刀劍ノ項モ亦三番ノ意見ノ如ク之ヲ削リテ別ニ條例ヲ作ルヲ可トス原來匪徒ニシテ其曾テ盜罪等ノ處斷ヲ受シコトヲ明告シテ刀劍ヲ買ントスル如キ者ハ萬之レ無キヲ保證ス然レハ則チ之ヲ存スルモ何ノ提轄ヲカ之レ爲サン若シ夫レ立案ノ主義ヲ貫徹セント欲セハ則チ盜罪等ノ處斷ヲ受シ者ハ刀劍ヲ所持スルヲ許ササルノ法ヲ設ケ而シテ後之ニ及ハサル可ラス要スルニ本條ハ之ヲ存スルモ効用ヲ見サルナリ又第十一條ニ品觸到達ノ日ヨリ一個年

内ニ其物品ヲ買取り云云ト有ルモ既ニ品觸ニ掲グル物品ナルトキハ何ソ一個年内ヲ限ルヲ須ヒシ且轉賣シテ届出ヲ爲サス而シテ其届出テサリシ理由ヲ辨解スルコト能ハサル者ハト言フモ既ニ届出ヘキ者ト定ムル上ハ届出サル者ナキノ理ナリ然ルニ其届出サリシ理由ヲ辨解スルコト能ハサル等ノ語アルハ最モ奇怪ト謂ハサル可ラス第二十一條ニ賣品贓物ニ係ルトキハ追徴シテ警察署ニ領置スト言フモ其領置シテ後之ヲ如何スル乎措置ノ終局ヲ示ササルハ亦不完備ナラスヤ第二十四條ニ至テハ其何ノ爲メニ之ヲ要スルカヲ知ル可ラス彼ノ烟草稅酒造稅等ノ法律數多アルモ未タ本條ノ如ク方法細則設立ノ權限ヲ明載スル者アルヲ見ス是レ方法細則ハ時ニ隨ヒ宜キヲ料リ以テ定ム可キ者ナルニ因ル然ルニ獨リ本案ノミ之ヲ



明載スルトキハ他ノ法律施行ノ爲メニ設クル方法細則ハ悉ク主務官ノ專斷ニ係レル如キ嫌ヒヲ生ス各條ニ對スル意見ハ大略此ノ如シ故ニ本案ヲ以テ直チニ第二讀會ニ付スルトキハ恐クハ各條ニ關論討議ヲ生シ大ニ紛雜ヲ生セン前ニ八番ノ豫陳セル如ク本會ノ畢リニ方リ果シテ全部付託修正委員ヲ選定スルノ建議アラハ本官ハ之ニ左袒シ之レ無クハ本官之ヲ提出セント欲ス且其建議ニ可決セハ嘗テ郵便條例議案ノ全部付託修正委員ヲ選ミタル時議長ヨリ同條例ノ主任官タル驛遞總官ノ出院ヲ請シ例ニ倣ヒ本案ハ警視總監ノ起草ニ係ルヲ以テ總監若クハ代辦官ノ出院ヲ請ヒ修正委員ト商議シ以テ完全無瑕ノ法案ト爲サント欲スルナリ此ニ辨ヲ畢ルニ方リテ一ノ質問アリ第九條ノ第二項ニ警察署ハ云云ト掲クルハ警察

官ハノ錯誤ナルカ如シ何如シ

○番二番黒田綱彦

十五番ノ質問ニ答フルニ先ダチ八番三番等ノ舉論アルハ畢竟別席ニ於ケル答辨ノ未タ盡ササル者アルニ由レリト思量スルヲ以テ起立ノ次テ之ヲ辨セントス或ル議官ハ第一條ニ六種ノ營業者ヲ列記シ又第二十三條ニ幾干ノ營業者ヲ列記セルモ仍ホ之レ遺漏アリト云ヘリ說ノ如ク九年警視廳甲第八號布達ヲ以テ二十種ノ營業者ヲ列舉シ十年同廳甲第十八號布達ヲ以テ更ニ十六種ヲ追加シ合セテ三十六種ノ營業者ヲ提轄スル者トシ以テ今日ニ至レルモ前ニ番外一番ノ縷述セル如ク其事實ニ於テ決テ是ク數多ノ營業者ヲ網羅スルヲ要セス唯本案列記ノ種目ノミニシテ足レリトス抑モ現行規則ニ依レハ古道具ニシテ大道具、雜道具ノ三個ニ分ツ

カ故ニ往往其區別ニ困シミ而シテ提轄上更ニ痛痒ヲ感セス是ヲ以テ這般ハ單ニ古道具ト爲シ別ニ區別ヲ付セス其質屋、染物屋、紙屑買ヲ載セサルハ番外一番ノ既ニ辨セシカ如シ故ニ贅セス然リ而シテ西洋古服靴傘賣買、損料貸、仕立職、上繪職、塗物職、西洋小間物屋以下ニ至テハ其商工混淆スルニ拘ハラヌ本案ニ列載セサルハ之ヲ放任セシカト云フニ敢テ然ラス則チ各地方便宜ノ規則ヲ作り刑法第四百三十條ノ明文ニ依遵シ之ヲ裁制セハ足レリト爲ス既ニ斯ク分析スルトキハ其他ハ本案列記ノ種目中ニ皆之ヲ包括セリ況ンヤ第二十三條ノ存スル有ルヲヤ又或ル議官ハ盆栽云云ノ說アリ彼一株數百圓ノ萬年青ノ如キハ所謂空相場ニシテ固ヨリ眞價ニ非ス良シ然ラスト爲スモ是等ノ贓品ハ之ヲ發見スルニ難シト爲サヌ加之是

レ現行規則ニモ載セサル者ナルトキハ今特ニ之ヲ加フルヲ須ヒス蓋シ是等ノ類ハ皆第二十四條ニ讓リテ可ナラン第三條ノ買主讓受主ヲ詳ニスルコトヲ得タルトキハ之ヲ記載ス可シト言ヘルハ空文徒法ヲ免レストノ說アルモ之ニ反シテ必ス記載ヲ要スト命令スルトキハ人人無キヲ有トシ僞リヲ記スルニ至ラン寧ロ寛裕ニシテ其實ヲ得ルノ優レルニ如カヌ又第五條ノ十五年未滿ノ者白痴風癲者等ヲ鑒別スルハ容易ナラス若シ之ヲ誤ラハ何如ト詰ルモ此ノ如キハ本條ノ問フ所ニ非ス且第六條ニ示ス如クンハ偷兒ハ終身偷兒タラサルヲ得スト言ヘリ然ルニ本條ト雖モ物品ヲ買取り又ハ交換スル等一切之ヲ禁止スルニ在ラス惟タ警察官ノ許可ヲ受ケシムルノミ然リ而モ此事タル實ニ緊要ナリトス或ハ之ニ年限ヲ付ス可シト

ノ説ノ如キハ既ニ參事院ニ於テモ講究セシ所ノ者ナリ然ルニ例ヘ  
 ハ之ヲ五年内ト限ルモ古物商ニ在テ其年限内ノ者ナルヤ否ヤヲ知  
 ルハ同シク容易ナラス既ニ容易ナラストセハ寧ロ本案ニ如カサル  
 ナリ第八條刀劍取締ノ事項ニ至テハ番外一番ノ論辨ニ盡クセルヲ  
 以テ復タ贅セス第九條第一項ノ事タル凡ソ商品ヲ他方ニ運送スル  
 ニハ之ニ送狀ヲ付セサル莫シ乃チ本條ハ二通ノ送狀ヲ作り其一通  
 ヲ警察署ニ届出サシムルノ旨趣ニシテ敢テ煩雜ナル手數ヲ要スル  
 ニ非ス且其商品ノ目錄ト言ヘルハ例ヘハ衣類ノ模様ヲ指スニ甲ハ  
 中形ト爲シ乙ハ小形ト見ル等人人ノ所見ニ因テ往往異同アル者ナ  
 レハ其異同ハ之ヲ問ハス只様式ノ概畧ヲ届出シムルノミ其第二項  
 ニ對シテハ十五番ノ質問アリ此ニ特ニ警察署ト掲ケシハ前項ニ於

テ商品目錄ヲ所轄警察署ニ届出シムルノ成規ナルヲ以テ其目錄ニ  
 記載セル物品ニ就キ若シ疑フ可キ者アルトキハ之ヲ同署ニ提出セ  
 シメ其荷作ヲ解キテ之ヲ検査ス故ニ若シ之ヲ警察官ト爲セハ則チ  
 警察官吏一人一已ニ關スルノ嫌ヒ有ルヲ以テナリ第十一條ノ轉賣  
 セシ届出ノ期限ヲ一年内ト定メシハ人人ノ記憶ニ限り有ルヲ量リ  
 テナリ且偷盜ヲ爲スハ原ト多クハ糊口ノ困難ヨリ出ル者ナレハ其  
 物ヲ盜ンテ一年許モ之ヲ隱匿シ探偵ノ緩慢ヲ俟テ始メテ賣却スル  
 如キハ實際無キコトニ係ル然レトモ萬一論者ノ顧慮スルカ如キコ  
 ト有ラハ則チ第十二條ニ古物ノ賣買交換ヲ記載シタル簿册及品觸  
 寫書ハ後證ノ爲メ十年間保存セシムルヲ以テ毫モ顧慮ナカル可シ  
 又第二十一條ニ贓物ヲ追徴シテ警察署ニ領置スヘシト掲ケ而シテ

其終局如何ヲ示ササルハ是レ本案ヲ施行スルノ手續キニ止マルヲ以テ所謂方法細則ニ委スルナリ以上述ル如クナレハ本案ノ各條ニ係ル説明ハ恐ラク盡クセルナル可シ若シ夫レ修正委員ヲ選定スルニ決セハ冀クハ此言ヲ以テ參考ニ供セラレンコトヲ

○十五番 柴原和

本官ハ向キニ第九條第二項ノ警察署ト有ルハ警察官ノ錯誤ナラント思ヒ之ヲ質問セシニ併セテ其他ノ條項ニ關スル答辨ヲモ聽クヲ得タリ蓋シ其質義ノ因テ生セシハ十三條ノ警察官ハ云云ト同シク第九條第二項ノ荷作ヲ解キ物品ノ檢査ヲ爲スハ即チ人ニ非サレハ爲ス能ハサルノコトナルヲ以テナリ然レトモ其旨趣タル官ニ非スシテ署ニ於テスト言ハハ敢テ論スルヲ須ヒス其他説明中往往ニ異見ナキニ非サルモ之ヲ論討セハ多ク時間ノ費ヘンコ

トヲ恐ル因テ復タ辨セス要スルニ八番豫言ノ如ク委員選定ノ建議アラハ本官ハ之ヲ賛成セントス

○三十二番 三浦安

本官ハ本案ノ大體ヲ是認ス近年賊物ノ事主ニ歸スル者ノ減少セシハ即チ刑法ノ寛ニ過キテ匪徒ヲ懲戒スルニ足ラサルニ職由ス是ヲ以テ嚮ニ本院刑法治罪法ヲ改正スルノ意見書ヲ上奏セリ其採用ノ有無ハ未タ知ル可ラサルモ先ツ二法ヲ改正シ而シテ後該法ニ據テ本案ノ如キヲ制スルヲ至當ノ順叙ト爲ス然レトモ未ヲ嚴ニシ本ニ及ホスモ亦或ハ不可ナカラシ且本案第六條ノ事項ノ如キハ刑治二法ノ提轄ヲ漏ル者ナルヲ以テ此ニ之ヲ掲クルハ大ニ効功アル可シ今ヤ實際ノ人情ニ就テ之ヲ觀ルニ此法律ヲ制スルハ蓋シ策ノ得タル者ナラン其本家中解シ難キ者アリシハ一昨日別

席ノ質問ト本日番外ノ辨明トニ由テ之ヲ領セリ但タ一條ヲ舉ケテ  
刀劍取締ニ充テントスルハ即チ手次テノ業ニ成ル者ナレハ本官ハ  
決シテ其可ナルヲ知ラス到底本案ノ爲メニ修正委員ヲ設クルハ本  
官ノ素望ナリ八番ノ建議ヲ待テ之ニ左袒セントス

○議長 發議盡キタルヲ以テ第一讀會ハ此ニ畢ル

○八番 伊丹重賢 建議ヲ爲ス本案ニ就テハ内閣委員ノ明辨盡ササルニ非

サルモ各位種種ノ意見ヲ蓄フ故ニ直チニ第二讀會ヲ開カハ議論蟠  
錯シテ恐ク好結果ヲ得サル可シ因テ豫陳ノ如ク全部付託修正委員

○五名ヲ選定センコトヲ望ム

○四十番 渡邊洪基 本官モ本案ノ大體ヲ是認スルモ是レ大ニ事實ノ參酌  
ヲ要スル者ナルヲ以テ容易ニ修正ヲ加フ可キニ非ス八番建議ノ如

ク全部付託修正委員ヲ設ケ細カニ主務官ニ商リ本案ヲシテ完全無  
瑕ノ者タラシメンコトヲ希望ス

○十五番 柴原和 今ヤ八番ヨリ全部付託修正委員選定ノ建議アリ本官

ハ前言ヲ履テ之ヲ賛成ス

○三十二番 三浦安 賛成

○三十九番 津田眞道 八番ノ建議ニ賛成者多キモ本官ハ特ニ修正委員ヲ

設クルヲ須ヒスト思量ス因テ其反對ノ意ヲ表ス

○議長 八番ヨリ全部付託修正委員ヲ選定スルノ建議アリ之ニ同意  
者ハ起立セヨ

起立者十七人

○議長 多數ナルヲ以テ八番ノ建議ニ決ス但シ其選定ニ就テハ特ニ

發言ナキヲ以テ例ニ由リ本席ニ於テ之ヲ定メン乃チ三番箕作麟祥七

番鍋島 八番伊丹 十番大給和 十五番柴原ヲ以テ本案全部付託修

正委員ト爲ス其修正報告ノ出ルヲ俟テ第二讀會ヲ開カン散會セヨ

午後零時三十分閉場

左案ハ朗讀ヲ略セシ者ナルモ參考ニ便スルカ爲メ此ニ附記ス

古物商取締條例

第一條 古物商トハ古道具、古本、古書畫、古着、古銅鐵、漬金銀ヲ賣買

スル營業ヲ云フ

第二條 古物商ハ所轄警察署ノ免許ヲ受クヘシ

第三條 古物商物品ヲ賣買シ又ハ交換シタルトキハ警察官ニ於テ

其物品及賣主讓主ヲ調査スルニ差支ナキ様簿冊ニ記載シ且買主

讓受主ヲ詳ニスルコトヲ得タルトキハ之ヲ記載スヘシ

第四條 身元詳ナラサル者ヨリ物品ヲ買取り又ハ交換スルコトヲ

得ス但身元詳ナル者其證人タルトキ又ハ警察官若クハ巡查ノ認

可ヲ受ケタルトキハ此限ニアラス

第五條 十五年未滿ノ者白痴風癲者及雇人ヨリ物品ヲ買取り又ハ

交換スルコトヲ得ス但父母後見人雇主又ハ身元詳ナル者其證人

タルトキハ此限ニアラス

官廳、町村、學校、病院、社寺、會社ノ印章記號アル物品及兵卒ノ被服

軍裝ハ其賣却シ得ヘキコトヲ證明スル證人貳名以上アルニ非サ

レハ之ヲ買取り又ハ交換スルコトヲ得ス

前二項ニ違背シタル者ハ警察官ノ命ニヨリ無代價ニテ物品ヲ取戻サル、コトアルヘシ

第六條 先ニ盜罪又ハ刑法第三百九十九條第四百一條ノ處斷ヲ受ケタル者ヨリ物品ヲ買取リ又ハ交換シ及ヒ寄藏スルトキハ警察官ノ許可ヲ受クヘシ違フ者ハ營業者タルト否トヲ問ハス一月以上三年以下ノ重禁錮又ハ三十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七條 古物商ハ許可ヲ受ケタル市場及賣主買主讓主讓受主ノ居宅ノ外ニ於テ物品ヲ買取リ又ハ交換スルコトヲ得ス

第八條 刀劍又ハ之ヲ仕込ミタル器具ハ身元詳ナラサル者又ハ先ニ盜罪賭博ノ處斷ヲ受ケタル者ニ賣渡讓渡スコトヲ得ス

第九條 古物商其商品ヲ他府縣ニ運送セントスルトキハ其商品ノ

目錄ヲ所轄警察署ニ届出ツヘシ

警察署ハ時宜ニ依リ荷作ヲ解キ物品ノ検査ヲ爲スコトアルヘシ但費用ハ届人之ヲ擔當スヘシ

第十條 盜贓ノ品觸アルトキハ其到達シタル日時ヲ簿冊ニ記載シ買取品ニ注目シ若シ類似ノ物品ヲ見出シタルトキハ速ニ所轄警察署ニ届出ツヘシ

第十一條 品觸ノ到達シタル日ヨリ一個年内ニ其物品ヲ買取リ若クハ其以前ニ之ヲ得タルマ、所持シ又ハ轉賣シテ届出ヲ爲サス而シテ其届出テサリシ理由ヲ辨解スルコト能ハサル者ハ第六條ノ刑ニ同シ

第十二條 古物ノ賣買交換ヲ記載シタル簿冊及品觸寫書ハ後證ノ

爲使用後十年間保存スヘシ若シ亡失シタルトキハ直チニ所轄警察署ニ届出ツヘシ

第十三條 警察官ハ何時タリトモ古物商ノ店舗ニ臨ミ商品及簿册ノ検査ヲ爲シ又ハ時々古物商ヨリ簿册ヲ差出サシメ之ヲ検査スルコトアルヘシ古物商ハ其検査ヲ拒ムコトヲ得ス

第十四條 第二條第三條第四條第五條第七條第八條第九條第十條第十二條第十三條ニ違背シ又ハ詐偽ノ届出ヲ爲シタル者ハ貳圓以上貳百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條 第六條第十一條第十四條及刑法第三百九十九條第四百一條ノ處斷ヲ受ケタル古物商ハ警察署ニ於テ三月以上三年以下ノ特別取締ニ付スルコトヲ得

第十六條 特別取締ニ付セラレタル者ハ尋常取締ノ外尙ホ左ノ項目ニ從フヘシ

一 凡物品ヲ買取り又ハ交換シタルトキハ其賣主讓主ノ住所氏名年齢及物品ノ形状徽章番號柄模様價額年月日時ヲ簿册

ニ記載スヘシ

二 日出前日歿後ハ物品ヲ買取り又ハ交換スルコトヲ得ス

三 營業者ニアラサル者ヨリ物品ヲ買取り又ハ交換シタルトキハ其物品ヲ原狀ノ儘五日間保存スヘシ

四 凡物品ヲ賣渡シ又ハ交換シタルトキハ其物品ノ形状價額年月日時ヲ簿册ニ記載シ且買主讓受主ノ住所氏名年齢ヲ知り得タルトキハ之ヲ記載スヘシ



五 毎月一度物品賣買交換ノ簿冊ヲ所轄警察署ニ差出シ其検査

ヲ受クヘシ

六 住居ヲ移轉シ又ハ旅行シ又ハ他人ヲ宿泊同居セシメントス

ルトキハ所轄警察署ノ認可ヲ受クヘシ

第十七條 前條ニ違背シタル者ハ三圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處

ス

第十八條 特別取締ニ付セラレタル者第六條第十一條第十四條第

十七條ニ依リ罰金ニ處セラレタルトキハ之ヲ納完スルマテ拘留

セラル、コトアルヘシ

第十九條 古物商一年内ニ此條例ヲ再犯シタルトキハ行政ノ處分

ヲ以テ其營業ヲ禁止シ又ハ停止スルコトヲ得

第二十條 此條例ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ數罪俱發ノ例ヲ用ヒス

第二十一條 此條例ヲ犯シテ買取り又ハ交換シタル物品贓物ニ係

ルモノハ營業者ニ依ルト否トヲ問ハス追徴シテ警察署ニ領置ス

ヘシ

第二十二條 商業上ニ付テハ家屬又ハ雇人ノ所爲ト雖モ營業者其

責ニ任スヘシ

第二十三條 袋物小間物鼈甲時計ノ古物ヲ賣買交換スル者飾屋箔

打屋烟管屋ニシテ其營業ニ屬スル古物ヲ賣買交換スル者及刀劍

商ハ此條例ニ準據スヘシ

第二十四條 此條例ヲ施行スルノ方法細則ハ警視總監府知事東京府

除縣令ニ於テ便宜取設ケ内務卿ニ届出ツヘシ

元老院會議筆記 明治十六年十一月二十八日

禁傍聽

○第四百六號議案 古物商取締條例ノ儀 第二讀會

議長 佐野常民

出席議員

- |     |       |
|-----|-------|
| 二番  | 細川潤次郎 |
| 三番  | 箕作麟祥  |
| 五番  | 鷺尾隆聚  |
| 八番  | 伊丹重賢  |
| 九番  | 東久世通禧 |
| 十番  | 大給恒   |
| 十一番 | 榎村正直  |

- 十二番 津田 眞道
- 十三番 西村 貞陽
- 十四番 稅所 篤
- 十五番 柴原 和
- 十九番 上杉 茂憲
- 二十番 大鳥 圭介
- 二十八番 大久保一翁
- 三十二番 三浦 安
- 三十四番 福原 實
- 三十五番 本田 親雄
- 三十六番 神田 孝平

午前第十時十分開場

○議長 第四百六號議案ノ第二讀會ヲ開ク但シ本案ハ前會ニ於テ全部付託修正委員ニ付託シ今其修正案ト下付原案ト二本アリ因テ例

- 三十九番 津田 眞道
- 四十番 渡邊 洪基
- 四十一番 井田 讓
- 四十二番 宮本 小一
- 四十三番 田邊 太一
- 四十五番 橋口 兼三
- 内閣委員 番外 參事院議官 水本 成美
- 同 番外 參事院議官 補 黒田 綱彦

ニ從ヒ孰レヲ本案ト爲シテ議ス可キヤヲ決セン修正案ヲ本案ト爲スニ同意者ハ起立セヨ

起立者二十二人

○議長 多數ナルヲ以テ修正案ヲ本案ト爲ス

書記官 森山茂 朗讀

布告案

古物商取締條例別冊ノ通制定シ本年 月 日ヨリ施行ス

右奉 勅旨布告候事

○十番 大給恒

本官ハ修正委員ノ一人ナルヲ以テ例ニ沿ヒ修正ノ理由ヲ略陳セン蓋シ本案ヲ提出セシ以來既ニ幾多ノ日子ヲ經タルカ故ニ今日之ヲ觀レハ尙ホ周到セサル者アルカ如キモ是等ハ同列辨明

ニ讓リ本官ハ惟タ修正ノ大意ヲ說ントス抑モ原案ノ第一條營業ノ下ニ「者」ノ字ヲ加ヘシハ唯領會シ易キヲ欲スルニ過ス且同條一項ヲ加ヘシモ原案第二十三條ノ字句ヲ修正シテ以テ此ニ移セシノミ畢竟是等ハ條例ノ首部ニ掲クルヲ適當ノ順叙ト爲スノミナラス其末尾ニ有テハ太々看易カラス是レ原案ノ精神ヲ暢達セシムルニ在リ第二條ノ所轄警察署ヲ管轄廳ト修正セシハ原案ニ依レハ古物商ノ營業ヲ免許スルハ警察署長ノ權内ニ屬スルカ如シ果シテ然ラハ署長ノ職權重キニ失ス故ニ東京ハ警視廳其他ハ地方廳ノ管理ニ付スルヲ適當ト爲スニ由ルナリ論者或ハ曰ン若シ之ヲ地方廳ニ任セハ古物商タラント欲スル者ハ爲メニ遠路ヲ跋涉シテ本廳所在ノ地ニ出願セサルヲ得サルノ嫌ヒ有リト或ハ然ラン然レトモ是レ惟タ

正式ヲ示スニ過ス其實警察署ニ命シテ之ヲ本廳ニ執達セシムル等ノ手續ハ總テ地方廳ノ便宜ニ任スルヲ以テ肯テ罪慮ヲ要セス第五條雇人ノ下ニ「雇主云云」ノ脚註ヲ下セシハ彼ノ雇人ニシテ雇主ノ物品ヲ竊ンテ賣却スル如キハ概テ弱年輩ノ思慮未タ全カラサル者カ或ハ未タ別ニ一戸ノ經營ヲ爲シ能ハサル者等ニ過ス然ルニ原案ノ如ク單ニ「雇人ヨリ物品ヲ買取り」ト言フトキハ貴族若クハ富豪者ノ雇人ノ堂堂一戸ノ經營ヲ爲ス者ヲモ包含ス而シテ取締ノ之ニ及フハ啻ニ要用ヲ見サルノミナラス却テ障礙ヲ來スコト多カラント爲スニ由レリ但シ此修正ノ如キハ原案ノ精神ト小異同アル者トス第六條ニ盜罪又ハ刑法第三百九十九條第四百一條ノ處斷云云ト掲ケテ詐欺取財ノ罪ハ與カラサルカ如キモ盜罪ト云詐欺取財ト云

其獲タル者ハ均シク是レ贓物ニ非サルナシ然ルニ特ニ詐欺取財ノ罪ニ及ハサルハ權衡其當ヲ得ス因テ之ヲ插入セリ又末段ノ違フ者ハノ下「營業者タルト否トヲ問ハス」ノ數字ヲ削リ之ヲ朱書ノ如ク冒頭ニ轉置セシハ本案ハ素ト古物營業者ヲ提轄シテ非營業者ニ及ハサルノ精神ナルニ原案ノ如キハ遂ニ其罰ノ非營業者ニ及フノ嫌ヒ有ルヲ以テナリ第七條古物商ハノ下ニ「自宅又ハ」ノ四字ヲ加ヘシハ其自宅ニテ物品ヲ買取り又ハ交換スルニ妨ケナキノ意ヲ示スニ過ス是レ原案ノ精神ナレハナリ其買主讓受主ノ文字ヲ削リシハ此ニ要用ナキニ由レリ第八條ヲ全削セシハ這般本官等ノ提出セシ號外第三十九號意見書ニ陳ル如ク本案ハ古物商中贓物ヲ購買スル者ヲ提轄スルノ條例ナルニ本條ハ兇器ノ販賣ヲ檢束スルニ在リテ

其性質殆ント異ナリ例ヘハ油水混注セシ如ク二者相容レサル者トスルニ在リ且ヤ刀劍賣買ヲシテ容易ナラシムルハ恰モ兇漢ノ罪惡ヲ誘掖スル者トス因テ本條ノ意義ニ原キ別冊意見書ノ如ク若干ノ條款ヲ設ケ之ヲ發布シテ以テ提轄周到ナラシメント欲ス但シ語ヲ換テ之ヲ言ヘハ本條ヲ削除セシハ却テ其旨趣ヲ暢達センカ爲メナリ其意見書ニ至テハ未タ以テ完備ナリト思惟セサルモ原案ノ如ク僅ニ一條ヲ以テ提轄セントスルニ比セハ幾分カ整頓セリト謂フモ可ナラン加之該意見タル内閣委員ノ意見ヲ聽取シ而シテ警視官ニ就テ實際ノ利害得失ヲ諮詢シ以テ編述セシ者ナレハ内閣委員ニ在テモ亦大ナル異論ナカル可シト信ス第九條ニ「古物商其商品」ト有ルヲ「古物商物品」ト修正セシハ商品ニ非ストノ遁辭ヲ防制センカ

爲メナリ其「他府縣ヨリ受取リタルトキ」ノ一句ヲ添ヘタルハ管理上ニ必要ト信スルカ故ナリ第二項ノ「警察署」ヲ「警察官」ト修正セシハ警察署其レ自ラ之ヲ行フニ非スシテ即チ警察官吏ノ行フ所ナレハナリ又同項中ニ「之ヲ差押フル」ノ字ヲ加ヘシハ時宜ニ依リ先ツ物品ヲ留置シ而シテ後他方ニ照會ヲ了ヘ其贓物ナルト否トヲ定ムル如キハ管理上缺ク可ラサルノ處分ト爲スニ由ル第十條「盜賊」ヲ「贓物」ト修正セシハ唯其區域ヲ廣ウスルニ過ス又後段ナル「簿冊ニ記載シ」以下ノ文字ヲ削除シ朱書ノ如ク修正セシハ原案ノ如クンハ贓物ノ品觸アルトキハ其到達日時ヲ簿冊ニ登録シ而シテ始終買取品ニ注目シ若シ類似ノ物品ヲ發見セハ縱使幾星霜ヲ經ルモ之ヲ所轄警察署ニ届出サル可ラサル者ト爲スカ然ルニ第十一條ニ掲ク

ル一個年間ノ事ニ就テ内閣委員ニ之ヲ質セハ人ノ記憶力ニ限り有ルヲ以テ爾セリト答フ既ニ然リトセハ何ソ第十條ニ於テ有限ノ記憶力ヲ以テ無限ノ事ヲ爲サシメントスルヤ因テ第十條ハ品觸ノ臆本ニ附記スル事ニ止メ買取品ニ注目シ類似ノ物品アラハ届出ル等ハ第十一條ニ登載シ以テ有限ノ記憶力ニ委スルヲ可トス是レ之ヲ修正ノ理由トス其第十二條「古物」ヲ「物品」ト修正セシハ只字句ノ允當ヲ欲スルノミ第十三條ニ「時宜ニ依リ其物品ヲ差押ヘ」ノ數字ヲ插入セシハ第九條二項ノ修正ト同シク検査ヲ爲スノミナルトキハ實際必ス隔靴搔痒ノ感ナキ能ハサルカ爲メナリ第十五條ノ「警察署」ヲ「管轄廳云云」ニ作りシモ亦第二條ノ修正ト同一理ナルヲ以テ復々贅セス第十六條ノ首メニ尋常云云ノ六字ヲ削リシハ若シ之ヲ存

セハ特別取締ノ外仍ホ尋常取締ナル者アルカ如キノ嫌ヒ有ルニ由ル其第二項ニ「シ及寄藏」ノ四字ヲ加ヘシハ管理上無カル可ラサル事項ナレハナリ第四項ノ「凡」ノ字ハ要用ヲ見ス因テ之ヲ削レリ其第六項ノ「住居」ヲ「住所」ト修正セシハ普通法律ノ文例ニ倣フノミナラス住所ト言ハハ本店支店等ヲモ此中ニ含蓄シ意義稍廣キカ爲メナリ其第十八條ニ「直ニ」ノ二字ヲ加ヘシハ理由ナキニ非ス抑モ罰金ハ一月内ニ納完セシメ若シ納完セサレハ一圓ヲ一日ニ折算シテ以テ輕禁錮ニ換フルハ刑法第二十七條ノ原則ナリ故ニ本條モ亦刑法ニ倣ヒ罰金ハ一月内ニ納完セハ可ナリト爲スノ意ナル可キモ苟モ本案ハ彼ノ二罪俱發ノ例ヲ用ヒスト掲クル如ク特別ノ法律ナルヲ以テ其處分ハ最モ迅速ヲ要スト是ヲ以テ稍刑法ニ戻ルカ如キモ

罰金ハ速ニ納完セシムルヲ得タリトス然ラハ則チ「直ニ」ノ二字ヲ加ヘ刑法ニ據ラサルノ意ヲ示シ以テ實務ニ支吾ナカラシムコトヲ要ス是レ此二字ヲ挿入セシ所以ナリ以下ノ修正ニ至テハ只語路ノ穩當ヲ求ムルニ過ス其第十九條「行政ノ處分ヲ以テ」ト有ルヲ削リ朱書ノ如ク修正セシハ所謂行政ノ處分ヲ爲ス者ハ何人ナルヤ明瞭ナラサルニ由ル且修正ノ如クンハ其主宰者ヲ明ニシ其處分ノ範圍モ亦廣濶ナルノ益アリトス第二十條ノ原文ノ如キハ其追徵スルハ何ノ官衙ニ在ル乎明瞭ナラス因テ「警察署云云」ノ文字ヲ加フ且原案ハ警察署ニ領置セシ以上ノ處分ヲ示ササルハ缺典ト謂ンカ故ニ更ニ一項ヲ立テ物品領置ノ上一年內ニ事主ノ知レサルトキハ之ヲ官沒スト掲ケ以テ終始ヲ示セリ第二十三條ヲ削除セシ理由ハ第一條

ニ於テ既ニ陳述セシヲ以テ復タ贅セス修正ノ理由大略此ノ如シ若シ他ニ質義アラハ尙ホ修正委員ハ之ヲ答辨ス可シ

○水本  
成美外一番

本案修正ノ理由ハ十番ノ詳細ナル辨明ニ由テ之ヲ領セリ加之修正案ハ參照ノ爲メ幸ニ本官等ニ於テモ之ヲ熟覽セシニ第一條ノ修正ノ如キハ毫モ立案ノ旨趣ニ違ハス其他モ亦或ハ原案ノ意義ヲ明確ニシ或ハ字句ヲ潤色セシ者多シ其第八條ヲ刪除セシハ同條ノ旨趣ヲ非視シテ然ルニ非ス即チ之ヲ贊成シ以テ一層精神ヲ暢達センカ爲メ號外第三十九號意見書ヲ提出セリト云ヘリ其意見書タル內閣委員ニ在テハ固ヨリ窺知ス可ラサル者ナルモ既ニ原案贊成ノ意ヨリ成レリトセハ蓋シ事ニ障礙ナカラシカ唯其意見書ヲ見サル間ハ遽ニ同條削除ノ可否ヲ斷スル能ハサルノミ要スルニ



這般ノ修正ハ本官管ニ非視セサルノミナラス其原案維持ノ責任アルヲ以テ之ヲ賛成スル能ハサルモ竊ニ其不是ナラサルヲ知ル修正委員ハ既ニ熟耳ノ事ナル可キモ本日ハ前會ニ參場ナカリシ議官ノ參考ニ供センカ爲メ此ニ一言セン抑モ現行八品商取締規則ノ管理スル所ノ營業者ハ三十五種アリ然ルニ今之ヲ僅ニ十四種ノ營業者ニ止ムルトキハ其他ハ皆管理外ニ在ルヲ以テ遽ニ之ヲ觀ハ或ハ前日畏懼ノ念ヲ懷キシ者モ更ニ憚ル所ナカラシムルニ似タリ因テ此十四種ノ營業者ノ下ニ等ノ字ヲ加ヘ以テ彼等ヲ包括セハ可ナルカ如キモ今ヤ本案ノ如ク唯十四種ノ營業者ヲ提轄セハ足レリト爲スハ其管理ノ區域廣泛ナルトキハ却テ障礙ヲ來ス可キ理由アレハナリ蓋シ現行規則ニ質屋、染物屋、紙屑賣買等ノ目アリテ本案ニ之ヲ載

セサリシハ前會ニ陳述セシ如ク質屋ニ關スル取締條例ハ本案ニ續テ別ニ制定スルノ閣議ナリ又現今ノ紙屑買ナル者ハ只紙屑ノミヲ賣買スルヲ許シ前日ノ如ク古着古銅鐵等ハ一切賣買スルヲ許ササルノ成規ナルヲ以テ此事ニ於テハ特ニ弊害ナシ其染物屋ニ至テハ是亦前會ニ述シ如ク頗ル害ノ少ナル者ナリ又現行規則ニハ大道具屋古道具屋雜道具屋ノ三個ニ分別セシモ本案ハ別ニ種目ヲ立テス皆之ヲ一古道具商ノ部ニ併セ而シテ彼ノ西洋古服靴傘賣買等ノ如キモ亦此中ニ包括セシムルノ意ナリ然リ而モ十年警視廳甲第十八號布達ヲ以テ更ニ十六種ノ營業者ヲ八品商組合中ニ屬スル者ト爲セシモ原ト是レ八品商頭取等ノ建言ニ係リ同廳ニ於テモ深ク稽查ヲ經スシテ發布セシカ故ニ爾來之ヲ實行セシニ唯タ煩勞アルノミニ

シテ毫モ其効用ヲ見ス是ヲ以テ這般ハ其中僅ニ古書畫、煙管屋ノ二業ヲ採リ其他ハ一切之ヲ省ケリ又現行規則ノ罰ハ違警罪ニ過キサレハ往往寛ニ失ス是レ其提轄ヲ要セサル營業者ヲモ囊括セント欲セシ害ナリ然リ而モ本案ハ嚴ニケイツ買ト偷兒トノ間ノ係累ヲ斷ントスルノ旨趣ニ成レルヲ以テ若シ違犯者アラハ其罰モ亦現行規則ノ如ク寛裕ナルヲ得ス下付原案ノ第六條第十四條ノ如キ以テ見ル可シ要スルニ本案ハ現行規則ノ如ク古靴商ノ古靴一足ヲ買ヒ仕立職ノ衣類一領ヲ購フノ類ハ之ヲ問フノ限りニ非ス即チ現行規則中ニ就テ其大ニ提轄ヲ要スル者ヲ取り其小ナル者ヲ舍テ以テ提轄ノ周到ヲ期スルナリ此ニ試ニ經歷ノ事實ヲ舉レハ昨十五年中八品商ノ贓物ヲ故買シテ發覺セシ者古着古道具商ヲ併セテ六十五人

古鐵商ニ五人袋物屋ニ一人飭屋ニ二人アリ又本年一月ヨリ七月ニ至ル計查ニ依レハ古着古道具商ヲ併セテ三十九人古鐵商ニ三人籠甲屋袋物屋各一人アリ既ニ本案ニ載スル所ノ袋物屋飾屋等ニシテ尙且僅僅ノ數ニ過キス況ンヤ其他ヲヤ又本案ニ掲クル所ノ十四營業者ノ東京府下ニ住在スル者ノ數ヲ舉ルニ本年十月一日警視廳ノ計查ニ依レハ總數二萬二千二百三十七トス今此大數ノ者ヲ管轄スルニ刑事課附屬ノ僅僅タル巡查ヲ以テシ即チ本條例第三條ノ簿冊ノ檢査第四條ノ賣買認可或ハ修正第八條ニ掲クル物品ノ目錄ヲ檢査シ若クハ荷作ヲ解キ物品ヲ點檢スル等ノ事ヲ執行スルモ尙ホ容易ノ業ニ非ス然ルヲ彼ノ一年內一人ノ違犯者タモ見サル商業者ヲモ悉ク網羅スルトキハ則チ提轄ノ肝要ナル者ニ於ケルカ如ク其各

店舗ニ就テ簿冊ヲ點檢スル等種種ノ手數ヲ生シ官吏ノ奔命ニ堪ヘ  
 難キヨリ遂ニ彼ノ肝要ニ提轄ス可キ者ヲ忽諸ニ付スルカ如キ結果  
 ヲ生ス可シ故ニ其小且輕ナル者ハ之ヲ省キ以テ此肝要ナル十四營  
 業者ノミニ止メ而シテ若シ其他ニ於テ時ニ或ハ提轄ヲ要スル有ラ  
 ハ則チ之ヲ地方官ノ方法規則ニ委シテ支吾ナシト爲ス本案取締商  
 業ノ種目ヲ減却セシ理由此ノ如シ但シ前陳タル或ハ第一讀會ニ述  
 ヘシ所ト重複スル者ナキニ非サルモ更ニ實際經驗上ノ事項ヲ舉テ  
 以テ參照ニ供スルコト爾リ

退席

十四番

稅所

篤

○十五番

柴原和

本官モ修正委員ノ班末ニ在リ本案修正ノ理由ハ只今  
 十番ノ陳述ニ盡クセルヲ以テ復タ贅セス抑モ本修正案ハ內閣委員

ニ於テモ其刪潤肯綮ヲ得タリト言ヘリ本官ノ満足何ソ之ニ加シ爰  
 ニ原案第八條ヲ削除セシハ既ニ十番ノ述ヘシ如ク本官等ハ同條ノ  
 旨趣ヲ非視シテ然ルニ非ス即チ刀劍商賣ノ提轄ハ實ニ緊要ナリト  
 信スルモ之ヲ本案中ニ混入シ古物商等ト一般ニ提轄セントスルハ  
 宜キヲ得スト爲スカ故ニ之ヲ削リ別ニ號外第三十九號意見書ヲ提  
 出セシ所以ナリ然ルニ內閣委員ハ未タ其意見書ヲ見サルヲ以テ遽  
 ニ可否ヲ斷言スル能ハスト云ヘリ此言寔ニ然リ蓋シ意見書ノ如キ  
 ハ本院議官中ニ配付スルノミニ止マルハ固ヨリ恒例ノ然ラシムル  
 所ナリ然レトモ這般ノ意見書ニ至テハ常ト異ニシテ即チ原案第八  
 條ヲ削除スルカ爲メニ提出セシ者ナルトキハ稍恒例ニ戻ル如キモ  
 參考ノ爲メ之ヲ內閣委員ニ交付セハ彼ノ第八條存削如何ヲ論スル

ニ於テ太タ便ナリトス因テ特ニ之ヲ議長ニ建議ス

○議長 只今十五番ヨリ號外第三十九號意見書ヲ内閣委員ニ交付スルノ建議アリ言ノ如ク本意見書ハ原案第八條ヲ削除セシニ原ツ者ナレハ之ヲ第八條ノ修正ト稱スルモ或ハ可ナラン因テ其建議ノ如ク直ニ之ヲ内閣委員ニ交付スヘシ

○議長 他ニ發議ナキヲ以テ決ヲ取ン本案ニ同意者ハ起立セヨ

起立者二十二人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

古物商取締條例

第一條 古物商トハ古道具、古本、古書畫、古着、古銅鐵、潰金銀ヲ賣買

スル營業ヲ云フ

袋物屋小間物屋鼈甲屋時計屋飾屋箔打屋煙管屋ニシテ其營業ニ屬スル古物ヲ賣買交換スル者及刀劍商ハ此條例ニ準據スヘシ

○議長 發議ナキヲ以テ決ヲ取ン本案ニ同意者ハ起立セヨ

全員起立

○議長 全會一致ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

第二條 古物商ハ所轄警察署ノ免許ヲ受クヘシ

○議長 發議ナキヲ以テ決ヲ取ン本案ニ同意者ハ起立セヨ

全員起立

○議長 全會一致ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山 茂 朗讀

○第三條 古物商物品ヲ賣買シ又ハ交換シタルトキハ警察官ニ於テ其物品及賣主讓主ヲ調査スルニ差支ナキ様簿冊ニ記載シ且買主讓受主ヲ詳ニスルコトヲ得タルトキハ之ヲ記載スヘシ

○議長 發議ナキヲ以テ決ヲ取ン本案ニ同意者ハ起立セヨ

全員起立

○議長 全會一致ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山 茂 朗讀

第四條 身元詳ナラサル者ヨリ物品ヲ買取り又ハ交換スルコトヲ得ス但身元詳ナル者其證人タルトキ又ハ警察官若クハ巡查ノ認可ヲ受ケタルトキハ此限ニアラス

○議長 發議ナキヲ以テ決ヲ取ン本案ニ同意者ハ起立セヨ

全員起立

○議長 全會一致ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山 茂 朗讀

○第五條 十五年未滿ノ者白痴風癲者及雇人ヨリ物品ヲ買取り又ハ交換スルコトヲ得ス但父母後見人雇主又ハ身元詳ナル者其證人タルトキハ此限ニアラス

官廳、町村、學校、病院、社寺會社ノ印章記號アル物品及兵卒ノ被服軍裝ハ其賣却シ得ヘキコトヲ證明スル證人貳名以上アルニ非サ

レハ之ヲ買取り又ハ交換スルコトヲ得ス

前二項ニ違背シタル者ハ警察官ノ命ニヨリ無代價ニテ物品ヲ取

戻サル、コトアルヘシ

○四十二番宮本一 本官ハ本案各條ノ文例ニ倣ヒ此第四條并ニ第五條

ノ冒頭ニ古物商ノ文字ヲ加ヘントス且第五條第一項ノ但父母後見

人雇主云云「ナル雇主」ト前行「雇人云云」トヲ對照スルニ文字ニ小

別アルカ故ニ事ニ分明ヲ缺クニ似タリ因テ内閣委員若クハ修正委

員ニ説明ヲ請ヒ而シテ後一ノ修正說ヲ提出セントス

○議長 四十二番ニ告ク第四條ハ既ニ可決セリ故ニ第三讀會ニ非サ

レハ更ニ修正說ヲ提出スル能ハス且第五條中「雇主云云」ノ質義ハ

未タ意ノ在ル所ヲ盡ササルカ如シ再陳セヨ

○四十二番宮本一 本官質義ノ要旨タル白痴風癲者ハ其父母若クハ後

見人ニテ之カ證人ト爲ルハ解スルヲ得ルモ前段ニ「雇人ヨリ物品ヲ

買取り又ハ交換スルコトヲ得ス」ト言ヒ而シテ後段ニ「雇主云云其

證人タルトキハ此限ニアラス」ト有ルハ其意ヲ解スル能ハスト云フ

ニ在リ

○八番伊丹重賢 四十二番質義ノ此雇主ハ即チ前段ノ雇人ニ對スル者ナ

リ

○二番細川潤次郎 本官ハ奇異ノ意見アリ本條第三項ニ「前二項ニ違背シ

タル者ハ云云無代價ニテ物品ヲ取戻サルルコトアルヘシ」ト有ルハ

理ノ當然ナル可キモ獨リ本條ニノミスノ明文ヲ載テ他ニ之ヲ載セ

サルトキハ則チ他ノ條項ニ違背シテ物品ヲ購買セシ者ニ對シテハ

無代價ニテ取戻ス能ハサルカ如キ嫌ヒ有リ因テ此ニ之ヲ掲クル上

ハ其他ノ條項ニモ亦均ク掲ケサル可ラス然リ而シテ本案ノ旨趣タ

ル苟モ正當ノ順序ヲ履マスシテ購買セシ物品ハ即チ無代價ニテ取戻ス者トセハ寧ロ此第三項ヲ削除スルヲ是トス蓋シ此說ハ頗ル奇異ナルニ似タルモ試ニ之ヲ提出シテ以テ各位ノ取舍ヲ待ツ

○十一番 榎村正直 賛成ス

○議長 二番ノ修正說ハ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○外二番 黒田綱彦 第五條第三項ノ削除說問題ト爲レリ發議者ノ言ノ如ク原來條例ニ違背シテ購買セル物品ハ夫ノ財産所有權ノ原則ニ從

ヒ蹤ヲ逐フテ之カ取戻ヲ爲スノ意ナルトキハ特ニ此項ヲ要セサルニ似タルモ之ヲ修正第二十條ト對照セハ其以テ本項ノ無用ナラサルヲ知ルニ足ン蓋シ第二十條ニハ此條例ヲ犯シテ云云ト掲ケ其之ヲ犯スト名稱ヲ下シ得ル者ニ非サレハ據テ以テ處分スル能ハス此

第五條ノ如キハ即チ他ノ場合ト異ニシテ十五年未滿ノ者若クハ官廳町村ノ印章記號アル物品ヲ購買セシ者等ハ裁判官ノ手ヲ假ラス警察官ニ於テ速ニ之カ取戻ヲ爲スニ在リ是レ既ニ購買ス可ラサル物品ヲ購買セシヲ以テナリ但シ迅速取戻シノ措置ヲ施スニ非サレハ轉賣等ノ爲メ遂ニ其踪跡ヲ煙滅スルニ至ラン彼此既ニ其意ヲ異ニスル者ナレハ宜ク共ニ存置スヘキナリ

○二番 細川潤次郎 番外二番ノ說ク所モ亦一理ナキニ非ス本官モ既ニ此

動議ヲ發セントスルニ先チ原案第二十條ヲモ閱讀セシニ唯「此條例ヲ犯シテ云云追徴シテ警察署ニ領置スヘシ」トノミヲ掲ケテ其結末如何ヲ告ケス然ルニ修正委員ハ之ヲ修正シテ物品ヲ追徴シテ後事主ニ還付シ又若シ一年内ニ事主ノ知レサル時ハ官沒スト掲ケテ以

テ其順叙ヲ明示ス是レ甚タ當ヲ得タル者ナリ蓋シ贓物ノ追徴ヲ爲スハ古今ニ亘リテ磨滅ス可ヲサルノ條理トス然リ而シテ番外二番ハ此第五條ノ第一項若クハ第二項ニ違背セルモ第二十條ニ據テ所謂此條例ヲ犯シタル者ト認ムル能ハスト爲ス乎本官ハ特リ第一項第二項ノミナラス苟モ本案ニ載セタル條項ニ違背スル者ハ即チ本條例ニ違背スル者ナリト信ス但シ本條第三項ノ「警察官ノ命ニヨリ」ト言ヘルハ可ナリ「物品ヲ取戻サルルコトアルヘシ」ト言ヘルモ亦不可ナリト爲サス唯「無代價ニテ」ト有ルノ可ナルヲ知ラサルノミ既ニ第二十條ニモ此無代價ノ字面ナシ然ルニ本條ノ「此字面ヲ載スルトキハ則チ他ノ場合ニ在テハ無代價ニテ物品ヲ取戻スコト無シト認ムルヲ得而シテ其認ムルハ即チ正當ナル法律ノ解釋ナリ

トス故ニ本官ハ寧ロ此第三項ヲ削除シ以テ本案ノ精神ヲ暢達セン  
ト欲スルナリ

○十五番 柴原和 二番ノ削除説ノ如キハ嘗テ修正委員會ニ於テモ討究

セシ者ニシテ其理ナシト爲サス然レトモ第二十條ハ原ト贓物ニ係ル處分ニシテ即チ刑法附則第五章ノ賠償處分ニ該レリ而シテ此第五條ニ至テハ十五年未滿ノ者若クハ雇人等ヨリ物品ヲ購買ス可ラサルコトヲ命示セル者ニシテ其物品タル未タ以テ贓物ト稱フ可ラス既ニ贓物タラサルトキハ或ハ無代價ニテ取戻スコトヲ得サルカ如キ感アルヲ以テ特ニ第三項ニ「無代價云云」ト明載スルハ敢テ不當ナラサルヲ信ス

○外二番 黒田綱彦 二番ノ反駁ヲ來セシハ恐クハ本員ノ説明未タ盡ササ



ル所アリシニ由ラン抑モ第五條ノ第一項二項ニ違背スルモ其他ノ  
 條項ニ違背スルモ總テ第二十條ニ所謂「此條例ヲ犯シタル者」ニ非  
 サル無シト雖モ即今十五番ノ陳シ如ク第五條ハ十五年未滿ノ者若  
 クハ雇主ノ家ニ在ル雇人等ヨリ正當ノ順叙ヲ履スシテ購買セル物  
 品ハ縱使ヒ贓物ナラサルモ裁判官ノ手ヲ假ラス警察官吏ニ於テ直  
 チニ之ヲ取戻スコトヲ示シ第二十條ニ至テハ乃チ純然タル贓物ニ  
 係ル處分ナリ而シテ之ヲ刑法ニ據レハ其物品ヲ法衙ニ追徴シ以テ  
 之カ措置ヲ施ス可キモ是等ノ處分ハ極メテ迅速ヲ要スルヲ以テ特  
 ニ警察官ニ於テ之ヲ施行スルヲ言ヘリ要スルニ第二十條ハ刑法及  
 ヒ刑法附則ノ意ト少シク其趣ヲ異ニシ第五條ハ其一二項ニ掲クル  
 者ヨリ物品ヲ購買セルトキハ贓物タルト否トニ拘ラス警察官ニ於

テ之ヲ取戻スコトヲ示セルナリ但シ修正第五條ノ第三項ハ一般贓  
 物ノ還付トハ同一ナラス是レ此項ヲ存セサル可ラストナス所以ナ  
 リ

○二番細川潤次郎 說ノ如ク第二十條ニ示セル者ハ贓物ニシテ無代價ニ

テ追徴スルト否ラサルト有リ而シテ第五條ハ贓物ナラサルモ正當  
 ノ順叙ニ據スシテ購買セル者ハ一切無代價ニテ取戻スコシト命示  
 スル者ニシテ此點ニ於テハ本官モ敢テ非視スルニ非ス惟タ之ヲ削  
 ラントスルハ若シ此項ヲ存セハ他ニ牽連シテ或ハ障礙アラシコト  
 ヲ恐レテナリ例ヘハ書畫幅ヲ失フ者アリ其未タ警察署ニ届出サル  
 ニ蚤ク其何人ノ所有品ナルヲ認テ之ヲ其事主ニ還付シ又ハ誤テ他  
 人ノ物品ヲ携ヘ去リ後日之ヲ覺リテ事主ニ還付スル如キハ其物品

ノ代價ヲ求ム可ラサルハ素ヨリ言ヲ俟タス且遺失物ノ如キハ所謂百分ノ五ヨリ少ナカラス二十ヨリ多カラサルノ金員ヲ與フル等ノ成規アルモ是レ其報酬金ニ當ル者ニシテ物品ノ代價ヲ償フニ非ス況テ此法律ヲ犯シテ物品ヲ購買セル者ヲヤ然レトモ本條ニ限リ此無代價云云ノ一項ヲ存セハ之カ爲メ却テ普通無代價ニテ追徴シ得ヘキ者モ或ハ然ルヲ得サルカ如キ傾キヲ生ス是レ本官ノ削除說アル所以トス

○三番 案作 麟祥

本官モ修正委員ノ班末ニ列スルヲ以テ二番ノ動議ニ對シ一應ノ意見ヲ陳述ス可シ發議者ハ曰ク此第三項ノ旨趣ニ於テハ是認スルモ若シ之ヲ存セハ他ニ牽連シテ或ハ障礙アラン由テ削除セント此言素ヨリ一理ナキニ非ス然レトモ本條ニ示セル物品ハ未

タ贓物ノ名稱ヲ下ス能ハサル者ニシテ夫ノ第二十條トハ自ラ異同アリ且二番ノ例言セシ書畫幅ヲ失フ者アリシニ其品ニ事主ノ氏名アルヲ以テ之ヲ事主ニ還付スル如キハ敢テ事ニ妨ケ無シ然ルニ原來其記名アリテ直ニ事主ノ家ニ還付シ得ルト否トニ拘ハラズ若シ是レ贓物ナルトキハ勿論縱ヒ類似ノ物品ナルモ古物商ニ於テ之ヲ購買セハ本條例第十條ニ據リ速ニ警察署ニ届出ヘキ成規ナルヲ以テ即チ之ヲ届出ルノ外他ニ方途ナカル可シ然ラハ則チ他ニ之ヲ削除ス可キ明確ナル理由有ルニ非サレハ未タ以テ削除ス可キ要用ヲ見サルナリ

○四十番 渡邊 洪基

本官モ亦此第三項ハ原案ノ如ク之ヲ存スルヲ是トス

○議長 發議盡キタルヲ以テ決ヲ取シ二番ノ修正說ニ同意者ハ起立

○セヨ

○起立者二人

○議長 少數ナルヲ以テ二番ノ修正説ハ消滅ス

○四十一番 井田 讓 本條第一項ハ不合格ノ者ヨリ物品ヲ買取リ又ハ交

換スルコトヲ禁シ第二項ハ官廳等ノ記號アル物品ヲ買取リ又ハ交

換スルコトヲ禁セルニ在ルハ明亮ナルモ其既ニ兵卒ノ被服軍裝ノ

コトヲ掲ケ而シテ巡查ノ被服等ニ及ハサルハ其當ヲ得スト爲ス因

テ兵卒ノ下ニ巡查等ノ三字ヲ插入シテ兵卒巡查等ノ被服云云ト修

正スルヲ可トス

○四十三番 田邊 贊成

○議長 四十一番ノ修正説ハ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○十五番 柴原 和

此點ニ關シテハ本官モ嘗テ疑義ヲ懷キ別席ニ於テ内

閣委員ニ質問セシニ凡ソ巡查ノ被服等ハ官衙ヨリ貸與シ而シテ後

衣ハ一年帽ハ半年間ヲ經ハ即チ之ヲ本人ニ給與スルノ成規ニシテ

彼ノ兵卒ノ被服ノ終始官物タルトハ同シカラスト曰ヘリ因テ本官

等ハ之ヲ然リトシ敢テ修正ヲ加ヘサリシノミ

○水本 成美 外 一番 問題説ノ非ナルハ各位モ既ニ明瞭ナラン只今十五番

モ陳シ如ク巡查ノ被服ハ夫ノ兵卒ノ被服ノ如ク終始官物タルニ非

ス故ニ此ニ併載ス可ラサルノミナラス兵卒巡查等ノ被服軍裝云云

ト修正スルハ最モ解ス可ラサルナリ何トナレハ夫ノ西南ノ役中ニ

在ルカ如キハ格別平常巡查ニシテ軍裝ヲ爲スハ我邦ノ制度ニ非サ

レハナリ但近來帶劍スルモ尙ホ軍裝トハ謂ヘカラス本修正ノ如キ

ハ成立セサランコトヲ望ム

○四十一番

井田  
議

巡查ノ軍装ヲ爲ササルハ實ニ番外一番ノ言ノ如シ

故ニ其字句ノ允當ナラサルハ之ヲ更正シ惟タ能ク旨趣ヲ貫徹セハ

可ナルノミ抑モ本官ノ意見タル本項ハ官廳町村等總テ記號アル物

品ヲ提轄スルノ本旨ニシテ兵卒ノ被服ノ如キモ亦其徽章ヲ付スル

ヲ以テ此ニ之ヲ列記セシナラン果シテ然ラハ巡查ノ被服ハ假ヒ後

日私有物ニ販ス可キモ既ニ徽章アルトキハ是亦列記セサル可ラス

ト爲スナリ若シ夫レ獨リ兵卒ノ被服ノミヲ掲クルトキハ人或ハ兵

卒ハ不良ノ徒多キヲ以テ爾セリトノ疑ヒヲ生セン此ノ如キハ甚タ

兵制上ニ害アリトス故ニ苟モ徽章ヲ付スルカ爲メニ提轄ヲ要スト

ナラハ良シヤ他日私有物タル可キモ巡查ノ被服モ亦提轄セサル可

ラス是レ本官動議ノ生スル所以ナリ

○十五番

柴原  
和

四十一番ノ發議ハ或ハ聽ク可キカ如キモ巡查ニ至テ

ハ被服ノ徽章ヲ剝テ賣却スルコトヲ常トスト聞リ敢テ發議者ニ問

フ陸海軍士官以上上長官ノ被服軍装ハ之ヲ如何スルノ意ナル乎或

ハ別ニ一條ヲ設ケテ兵卒ノ被服軍装ト同シク之ヲ提轄セントスル

乎確タル意見アルヲ聽カハ本官ハ或ハ前說ヲ改メテ之ヲ贊成スル

モ未タ知ル可ラス

○十番

大給  
恒

本官ハ修正ニ從事セシ以來原案ニ對シ下セル所ノ見解

ヲ以テ此ニ陳述セントス抑モ本項ノ官廳町村云云ノ印章記號アル

物品ノ提轄ヲ要スルハ其以テ官有若クハ共有ノ物品ナルカ爲メナ

リ而シテ記號ト云徽章ト云ハ惟タ其官有若クハ共有ノ物品タルコ

トヲ證スルノ金線又ハ烙印等ニ過キス十五番ハ陸海軍將佐尉官ノ被服ハ如何スル乎ト難詰スルモ獨リ武官ノミナラス文官ノ大禮服モ亦徽章アリ然ルニ是等ノ物品ヲ賣却スルハ固ヨリ妨ナキナリ唯々本案ハ兵卒ノ被服ハ官有物ナルヲ以テ之ヲ提轄シ巡查ノ被服ハ否ラサルニ因リ提轄セスト言フノ意ニ外ナラス是レ敢テ發議者ノ說ヲ駁スルニ非ス乃チ本官ノ見解ヲ陳ルコト爾リ

○番二番黒田綱彦 官廳云云ノ物品及兵卒ノ被服軍裝云云ト掲ケ乃チ「及」字ヲ以テ下ヲ起セシカ故ニ四十一番ノ動議ヲ招致セシモ亦理ナキニ非ス此ニ兵卒ノ一事ヲ載セシハ其實或ル點ニ於テ生スル弊害ヲ豫防センカ爲メナリ蓋シ其弊害タル今白地ニ之ヲ述サルモ從來頻頻發スル所ノ事項ナレハ想フニ各位ハ既ニ知悉スルナル可シ其大

要ヲ舉レハ夫ノ軍曹ハ營處外ニ住スルヲ得ルヲ以テ便服ヲ有スルモ兵卒ニ在テ然ル能ハス故ニ不良者アリテ營所ヲ脫スルニ方リテヤ必ス已レ著ル所ノ被服軍裝ヲ賣却シテ以テ便服ニ換フル是レナリ巡查并ニ陸海軍士官其他文官等ノ如キハ固ヨリ是等ノ患害アルコト無シ然ルニ發議者ハ兵卒ノミ此ニ提轄スルハ或ハ之ヲ輕侮セシカ如ク論スルモ亦決シテ然ルニ非ス却テ之ヲ尊尙スルノ意ナリ又會社ノ印章記號アル物品等ヲ提轄スルモ之ヲ鄭重ニ視テ然ルナリ

○四十一番井田讓 十五番ハ將校以下士官ノ被服等ヲ賣却スルハ之ヲ如何スル乎トノ奇異ナル質問アリ是等ハ其人ノ隨意ナルコトニシテ固ヨリ答辨スルノ限ニ非ス

○十五番柴原和

四十一番ハ本官ノ質疑ヲ奇異ナリトシテ答辨セスト

言ヘリ本官ハ決シテ之ヲ奇異トセス切ニ請フ其答辨アラシコトヲ然ルニ或ハ曰ン將校以下士官以上ハ廉耻心アルヲ以テ徽章ヲ剝取セシテ之ヲ賣却スル者ナシト果シテ然ラハ巡查モ亦一概ニ其心ナシト謂フ可ラス畢竟本案ノ旨趣タル私有物ナレハ賣却シテ可ナリ官物ナルヲ以テ賣却ス可ラスト云フニ在レハ只今四十一番ノ言ノ如クンハ本官ハ啻ニ其動議ヲ賛成スル能ハサルノミナラス却テ抗撃セサル可ラス又番外二番ハ兵卒ノ被服ヲ提轄スルハ其逃亡ヲ防クカ爲メナリト言フモ本案ハ原來ケイヅ買ヲ取締ルノ條例ナレハ兵卒ノ逃亡如何ニ關ス可キニ非ス若シ各位ニシテ修正委員ハ或ハ番外二番ノ陳ル如キ說ヲ以テ此兵卒云云ヲ存セリト推諉アルニ

於テハ大ニ本官等ノ意ニ反ス因テ起立ノ次テ併セテ之ヲ辨ス

○三番箕作麟祥

本官ハ問題ヲ非視ス而シテ番外二番ノ說ヲ助クルニ非

サルモ只今十五番ノ陳述ハ本官ノ意思ト大ニ異ナル者アリ說ノ如ク本案ノ兵卒逃亡ヲ防ク爲メニ設クル法令ニ非サルハ言ヲ俟タサルモ其逃亡ヲ防クハ即チケイヅ買ト偷兒トノ聯絡ヲ遮斷スルノ一手段ト謂ハサル可ラス嘗テ別席ニ於テ番外二番ノ說ヲ聽クニ病院社寺等ノ記號アル物品ヲ賣却スル者ニ比スレハ兵卒ノ被服等ヲ賣却スル者頗ル多シト言ヘリ然ラハ則チ此一項ヲ掲クルハ兵卒ノ逃亡ヲ防禦スルノ要訣ナリト謂フモ亦不當ナラサル可シ聊カ之ヲ辨ス

○議長 發議盡キタルヲ以テ決ヲ取ン四十一番ノ修正說ニ同意者ハ

○起立セヨ

起立者二人

○議長 少數ナルヲ以テ四十一番ノ修正説ハ消滅ス

○四十二番宮本 本條第一項ノ「雇人」ニ關シ過刻八番ノ答辨ヲ得シ

モ其言ノ簡單ニシテ本官未タ其要領ヲ得ル能ハス本官嘗テ之ヲ内

閣委員ニ聽クニ彼ノケイツ買ノ魁タル者ニ至テハ己レ自ラ贓物ヲ

購買セス即チ雇人ヲ使用シテ之ヲ購買セシムルヲ常トス本案第五

條ノ「雇人」ト有ルハ蓋シ是等ノ雇人ヲ言ヘリト云然ルニ修正委員

ノ本案ニ雇主云云ノ挿註ヲ下セシヲ見ルニ或ハ一般普通ノ雇人ト

看做セルカ如シ果シテ然ラハ大阪若クハ京都等ノ巨商ノ東京ニ支

店ヲ有スル者ニシテ其支店ノ主人ハ概ネ雇人ナラサル莫シ然ルニ

是等ノ者ノ物品ヲ賣ントスルモ尙ホ證人ヲ要ストセン乎此ノ如キ

ハ束縛モ亦甚シト謂フ可シ若シ此雇人タル曾テ本官ノ聽キシ如ク

ンハ止マン苟モ之ヲシテ本修正ノ如ク一般普通ノ雇人ト做スニ至

テハ寧口之ヲ削除スルヲ可ト爲スナリ

○外二番黒田 綱彦 四十二番ノ發議ハ未タ問題トナラサルモ内閣委員云

云ノ陳述アルヲ以テ一言セサルヲ得ス本員ハ未タ嘗テ此第五條ノ

「雇人」ハ古物商ノ雇人ヲ指ストノ説明ヲ爲セシコト無シ蓋シ四十

二番ハ本員ノ第六條ニ關シケイツ買ニ雇人アリト説キシコトアル

ヲ以テ或ハ第五條ノ説明ニ混同セシニ由ルカ本條ノ「雇人」ハ即チ

八番ノ言ノ如ク一般普通ノ雇人ナリ若シ夫レ之カ存廢如何ノ如キ

ハ則チ問題ト爲ルヲ俟テ之ヲ辨セン

○議長 四十二番ノ修正説ハ賛成者ナキヲ以テ消滅ス他ニ發議ナク  
シハ本案ノ決ヲ取シ本第五條ニ同意者ハ起立セヨ

起立者二十一人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ可決ス時午ヲ過ルヲ以テ午餐ノ爲メ

一旦本會ヲ中止ス可シ散會セヨ

午後零時三十五分開場

午後第一時三十分開場

退席

津田 入出

○議長 東久世

午前ノ續會ヲ開ク

書記官 森山 朗讀

第六條

先ニ盜罪又ハ刑法第三百九十九條第四百一條ノ處斷ヲ受

ケタル者ヨリ物品ヲ買取り又ハ交換シ及ヒ寄藏スルトキハ警察

官ノ許可ヲ受クヘシ違フ者ハ營業者タルト否トヲ問ハス一月以

上三年以下ノ重禁錮又ハ三十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス

○四十番 渡邊 洪基

本案「古物商」ノ下「ハ營業者タルト否トヲ問ハス」ノ十

三字ト「詐欺取財ノ罪」ノ六字トヲ削除セン蓋シ原案ノ如ク「違フ者

ハ」ノ下ニ「營業者云云」ノ一句ヲ載ルトキハ非營業者ヨリモ物品ヲ

買取り又ハ交換シ及ヒ寄藏スル能ハサルヤノ嫌ヒ有ルカ故ニ修正

委員ノ之ヲ上段ニ移セシハ能ク本案ノ旨趣ヲ明亮ニセリト謂ンカ

然レトモ本官ハ此修正ヲ得テ益ス其字句ノ要用ナラサルヲ知ル何

トナレハ古物商ハ盜罪又ハ云云ノ處斷ヲ受ケタル者ヨリ物品ヲ買



取リ又ハ交換シ云云ト言ヘハ其營業者タルト否トヲ問ハサルコト  
 ハ一目瞭然ナレハナリ又詐欺取財ノ罪ハ素ヨリ不良質ノ者ナルモ  
 他ノ盜罪ト相同シカラス第五條ニ「十五年未滿ノ者云云」ト言ヘル  
 有リ或ハ恐ル是レ動モスレハ輒チ詐欺取財ノ罪ト爲ランコトヲ又  
 刑法第三百九十一條ニ「幼年ノ知慮淺薄云云ニ乘シテ其財物若ク  
 ハ證書類ヲ授與セシメタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス」ト言ヒ其第  
 三百九十二條ニ「物件ヲ販賣シ又ハ交換スルニ當リ其物質ヲ變シ  
 若クハ分量ヲ偽テ人ニ交附シタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス」ト言  
 フカ如ク詐欺取財ノ罪ハ多ク是等ノ者ニ係レリ故ヲ以テ盜罪ヲ犯  
 スハ常ニ最下等ノ者ニ多キモ詐欺取財ノ犯者ハ或ハ資産アル人ニ  
 多シ見ニ本官ノ知友ニシテ詐欺取財ノ被告ト爲リシ者アリ然ルニ

是等ノ情狀ニ於テハ眞ニ憫ム可キ者アルモ奈何セン其形蹟ノ法律  
 ノ違犯ニ涉レルヲ蓋シ詐欺取財ノ罪タル刑法ニ二月以上四年以下  
 ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス」ト有リテ其輕  
 キハ數月間ノ重禁錮ト數圓ノ罰金トヲ科スルニ過キス然ルニ警察  
 官ノ許可ヲ得スシテ彼ヨリ物品ヲ買取り又ハ交換シ及ヒ寄藏セル  
 者ニハ直ニ本條ノ罰ヲ課スルニ至テハ其苛酷タルヲ免レス是レ原  
 案ニ詐欺取財ノ罪ト言ヘル文字ヲ掲ケサル所以ナラン因テ本官ハ  
 前陳ノ如ク古物商ノ下「ハ營業者云云」ノ十三字ト「詐欺取財ノ罪」ノ  
 六字トヲ削除スルヲ可トス

○二番 細川潤 賛成

○議長 四十番ノ修正說ハ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○二番 細川潤次郎

本條ノ修正セサル可ラサルハ略ホ動議者ノ論說ニ盡クセルモ尙ホ聊カ之ヲ補シ蓋シ此動議ノ如キ他人之ヲ發スル無カリセハ本官之ヲ提出セント欲セシ者ナリ原來原案ノ「營業者云云」モ素ヨリ明瞭ナルニ非サルモ本案ハ明瞭ナルニ似テ却テ明瞭ヲ缺ケリ本條ノ旨趣タル畢竟古物商ハ警察官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ一旦盜罪等ノ處斷ヲ受シ者ヨリ物品ヲ買取り又ハ交換シ及ヒ寄藏スルヲ禁スルニ在レハ本案ノ如ク此「營業者云云」ノ文字ヲ下ニ續ク者ト見シ歟其不要ナルハ四十番ノ言ノ如シ又之ヲ上ヲ承ル者ト見シ歟古物商ノ字ニ撞着ス可シ到底此一句ハ此ニ載ス可ラサル者ナレハ之ヲ削除スルヲ可トス又詐欺取財ノ罪タル刑法ニモ明文アリテ盜罪ニ類スルモ原ト之ト同視ス可ラサル者アリ四十番ハ嘗テ

朋友ニ其罪ヲ犯セシ者アリト曰フ朋友猶ホ可ナリ本官ノ如キハ親戚中ニ其處斷ヲ受ケシ者アルニ會フ而シテ之ヲ問フニ某甲嘗テ贖金法ヲ以テ一ノ會社ヲ創立セシニ故アリ失敗シテ其贖金ヲ事主ニ還付スル能ハサリシニ由レリト云ヘリ其レ然リ詐欺取財ノ犯ハ其實注意ノ到ラサル等ヨリシテ遂ニ之ニ該當スル者アリ且法律ハ人民ノ領會シ易ク而モ之ヲ遵奉シ得ラル可キヲ期セサル可ラス然リ而シテ盜贓故買若クハ盜罪等ノ犯者ニ至テハ古物商ニ在テ記臆シ易ク又搜索シ易キヲ以テ隨テ此法律ヲ遵奉スルニ易キモ詐欺取財ノ罪ヲ列記スルトキハ則チ其範圍ノ廣キト其事ノ錯綜セルトニ由リ官民俱ニ不便鮮少ナラサル可シ是亦問題ノ如ク「詐欺云云」ノ一句ヲ削除スルニ如カサル所以ナリ

○三番箕作  
麟祥

問題ノ發議者ハ「營業者云云」ノ一句ハ要用ナラスト言  
ヒ之カ賛成者ハ此ニ載ス可ラサル者ナリト言フ今之ヲ要用ナラス  
ト爲スノ說ハ其下ニ「刑法第三百九十九條第四百一條ノ處斷ヲ受ケ  
タル者云云」ト言ヒ「者」ノ字アルヲ以テ強テ解セサルニ非サルモ其  
此ニ載ス可ラサル者ナリトノ說ニ至テハ殆ント解スル能ハス抑モ  
本官等ノ此一句ヲ加ヘシハ是レ原ト古物商ヲ提轄スルノ法案ナ  
ルヲ以テ此ニ「云云處斷ヲ受ケタル者」ト爲サハ既ニ處斷ヲ受ケタ  
ル古物商ト解スル者アラシク恐レテナリ然ルニ此ノ如ク記セハ  
古物商躬自ラ營業者タルト否トヲ問ハスト爲スノ嫌ヒ有リト論ス  
ルモ第一條ニ古物商ノ性質ヲ明示シ第二條ニ「古物商ハ管轄廳ノ  
免許ヲ受クヘシ」ト言ヘル有レハ夫等ノ疑團ハ事實ニ於テ之レ有ル

可ラサルナリ但タ之ヲ加フルトキハ少シク長文ニ涉ルト謂フニ過  
サルノミ是亦已ムヲ得サルナリ又詐欺取財犯ニ於テハ說ノ如ク數  
多ノ種類アリ且今日ハ偷盜多ク詐欺取財犯少ナキモ時運ノ開明ニ  
赴クニ隨ヒ黠智モ自カラ長スルカ故ニ彼ノ人ノ家屋ヲ破リテ偷盜  
ヲ爲サンヨリ詐リテ人ノ財ヲ取ルノ手段ニ出ル者ヲ増スナル可シ  
見ニ主務官ノ說ヲ聽クニ詐欺取財ノ罪ハ漸ヲ以テ増加スルノ勢ヒ  
有リト曰ヘリ而シテ是等ノ徒ノ其物件ニ係ル者ヲ如何スルヤト問  
ヘハ概ネ之ヲケイヅ買ニ賣却スト云フ且ヤ刑法第三百九十九條ハ  
強竊盜ノ贓物ヲ云云スル者ニ係ルモ第四百一條ハ即チ詐欺取財其  
他ノ犯罪ニ關シタル條項ナルトキハ此ニ詐欺取財ノ罪ト掲クルモ  
決シテ不權衡ナリト謂フ可ラス是レ第四百一條ノ罪ト詐欺取財ノ

罪ト其性質相同シケレハナリ又詐欺取財ノ罪ハ記憶スルニ難シト  
論スルモ苟モ記憶ノ難易ヲ言ハハ盜罪ノ處斷ヲ受ケタル者ト雖モ  
決シテ記憶シ易キニ非ス假令其業ノ強竊盜ニ出サルモ現ニ詐リテ  
他ノ財物ヲ取り以テケイヅ買ト聯絡ヲ通スル者有リ豈黙黙ニ付ス  
可シヤ但シ一百ノ數ニ比セハ一百五十ノ數ヲ記憶スルハ必ス易カ  
ラサルノ理ナルモ是レ唯古物商ノ迷惑ニ係ルノミ而シテ之ヲ營業  
上ヨリ觀レハ復タ免レサルノ義務ト謂ンカ要スルニ此一句ハ獨リ  
修正委員ノ意見ヲ以テ加ヘタルノミナラス前陳ノ如ク現ニ詐欺取  
財者トケイヅ買トノ聯絡ヲ串通スルノ形跡アルヲ以テ主務官モ亦  
之ヲ防禦スルヲ緊要ト爲セシニ由テナリ

○四十番 渡邊 洪基

即今三番ノ言ニ詐欺取財者ハ世ノ開明ニ赴クニ隨ヒ

益ス其多キヲ加フ可シト曰ヘリ是レ恐ク然ラサル可シ蓋シ詐欺取  
財タルト否トノ間ニ於テ往々曖昧ニ屬スル者多キハ即チ民法ノ制  
定ナキカ爲メニシテ實ニ今日免カレサルノ事ナリ又既ニ刑法第三  
百九十九條第四百一條ノ如キヲ列記セル上ハ詐欺取財ノ事ヲ加フ  
ルモ敢テ權衡ヲ失セスト言フモ彼ノ華族ノ家令家扶等ノ其主家ノ  
爲メニ眞實ニ爲シタル措置ナルニ其間葛藤ヲ生シ終ニ詐欺取財ノ  
罪ニ該リシ者アリシハ世間往往聞ク所ナリ然リ而モ是等ノ輩ト雖  
モ一旦處斷ヲ受ケタル者ナルヲ以テ一ノ書畫幅ヲ賣却セントスル  
有ルモ之ヲ買フ者ハ先ツ警察官ノ許可ヲ請ハサル可ラスト爲ス如  
キハ實際ノ困難思フ可シ刑法第四百一條ハ即チ詐欺取財等ノ物件  
ナルコトヲ知テ之ヲ故買セル者ニ係ル條項ナルヲ以テ之ヲ本案ニ

掲記スルハ敢テ不可ナキモ其盜犯ト同シク詐欺取財ノ一句ヲ加フルニ至テハ頗ル妥當ナラス又營業者云云ノ一句ヲ削除ス可キハ二番モ既ニ之ヲ論セリ本官ハ是レ肯テ甚シキ障礙アリト見サルモ惟タ贅疣ニ屬スルヲ以テ之ヲ削ルヲ可ト爲スノミ論者ハ此一句ヲ削レハ下文ニ載スル所ノ「者」ノ字ヲ古物商ト解スルノ嫌ヒ有リト言フモ是ノ如キ罣慮ハ恐クハ要用ナラサル可シ又問題賛成者中ニ此一句ハ上ノ古物商ヲ承ルカ如キ嫌ヒ有リト説クモ是亦或ハ過慮ナラン要スルニ本條ノ旨趣ハ古物商ヲシテ一旦偷盜等ヲ爲セシ者ヨリ物品ヲ買取り又ハ交換シ及ヒ寄藏セシメサルニ在リ故ニ本官ハ之レ無シテ明亮ナリト信ス

○八番 伊丹重賢

問題ニ對シテハ三番ノ辯駁ニテ餘蘊ナキモ尙ホ聊カ之

ヲ補シ反對論者ハ營業者云云ノ一句ハ緊要ナラスト言フモ本官等ノ之ヲ加ヘシハ然ラサルニ由ル何トナレハ原案ノ如クハ素人ニシテ罰ヲ受ルニ至リ本案ニ仍レハ其罰ノ獨リ古物商ニ止ルヲ以テナリ其詐欺取財ト盜罪ノ犯者ハ別人種ナリ等種種ノ論難アルモ要スルニ詐欺云云ノ一句ヲ加ヘシハ原案ノ遺漏ヲ補フノ旨趣ニ外ナラス聞ク内閣委員モ本修正ニ關シテハ別ニ異論ナシト其レ然リ若シ反對論者ノ言ル如ク資産アル人ニシテ詐欺取財ヲ爲ス者アリトセハ家屋倉庫ヲ有スル者ニシテ盜罪ヲ犯ス者モ亦之レ無キニ非ス且此一句ヲ加ヘシ爲ニ古物商ハ迷惑ス可シト言フモ既ニ贓物ヲ提轄スルノ方法ヲ立ルニ於テハ多少古物商ノ迷惑ヲ生スルハ是レ管理上已ヲ得サルノ通義ナリ

○三十六番 神田孝平 四十番ニ在祖ス營業者云云ノ一句ヲ存セハ却テ法意ノ明瞭ヲ缺ク本官ノ如キ三番ノ辨明ヲ聽キ稍ク其意義ヲ解スルヲ得タリ而シテ之ヲ削レハ毫モ障碍アルヲ見ス又詐欺取財云云ノ一句ヲ加ヘシハ原案ノ意義ヲ補ヒシニ在リト言フモケイツ買ニシテ雇人ヲ使役シ之ヲシテ詐欺取財ヲ爲サシムル如キノ顧慮ハ蓋シ無用ナラン故ニ此一句モ亦之ヲ削ルヲ是トス

○二十番 大鳥圭介 四十番ノ修正說ニ同意ス本案敢テ解シ難キニ非サルモ其文章ノ上ニ於テ妥當ナラサル者アリ故ニ本官ハ之カ修正ニ關シ朝來一二ノ議官ト商議セシニ遂ニ好案ヲ出ス能ハス原來原案ハ條文ノ末段ニ營業者云云ノ一句ヲ載セタルカ爲メニ文義茫漠或ハ罰ノ素人ニ及フ如キ嫌ヒ有リ故ヲ以テ修正委員ハ之レヲ彼ニ削リ

テ此ニ加ヘシナラン因テ事實ヨリ考案ヲ下セハ本案ノ如キモ敢テ解シ難キニ非レトモ古物商ハ營業者云云ト聯續スルトキハ之ヲ文章上ヨリ見レハ營業者云云ハ即チ古物商ノ注釋ト解セサルヲ得ス故ニ之ヲ削ルノ說ハ最モ其宜キヲ得タリトス又詐欺云云ノ項ニ關シテハ本官初メヨリ異論ヲ蓄ヘタルニ非サルモ動議者ノ說ヲ聽クニ是亦一理アルヲ以テ併セテ之ヲ賛成ス要スルニ本官ノ最モ四十番ニ同意ヲ表スルノ點ハ營業者云云ノ一句ヲ削除スルニ在リ

○三十二番 三浦安 四十番ニ問フ前ニ「古物商」ノ下「ハ營業者云云」ヲ削除セント述シハ「古物商」ノ下「營業者云云」ノ失言ナルニ非サルカ

○四十番 渡邊洪基 否「ハ」ノ字ヲ併セテ削ルノ意ナリ

○三十二番 三浦安 本官ハ其初メ本案ヲ完全無瑕ナリト思量セシニ只

今四十番ノ動議中「營業者云云」ノ一句ヲ削除セントノ説ハ頗ル其當ヲ得タリトス蓋シ修正委員ノ之ヲ此ニ加ヘシハ之ヲ原案ニ比スレハ是ナルカ如キモ其明瞭ヲ缺クトノ論難ハ逃ル可ラス想フニ是レ原案ニ載セタル字句ナルカ故ニ舍ルニ忍ヒス此ニ之ヲ移セシ者ニシテ其初メヨリ之レ無クシテハ故サラニ加ヘサリシナラン因テ此一段ハ四十番ノ動議ヲ是認ス「詐欺取財云云」ヲ除クノ一段ニ至テハ同意スル能ハス論者ハ堂堂タル官吏ノ親戚朋友ニシテ現ニ其處斷ヲ受ケシ者アリト云フモ是ノ如キハ千百人中ノ不幸ト謂フ可シ是レ固ヨリ其句ヲ除クノ理由トハ爲ス可ラス又盜罪ヲ犯ス者ハ詐欺取財ノ犯者ヨリ惡ム可シト言フモ心實ノ正不正ヲ問ヘハ却テ詐欺取財ノ犯者ヲ惡ム可シト爲ス故ヲ以テ其一句ハ存スルヲ可トス

要スルニ只今ノ問題ニ對シテハ其一半ヲ是認シ其他ヲ是認スル能ハス因テ本官ハ本問題ノ消滅スルヲ俟テ更ニ「營業者云云」ヲ削除スルノ修正説ヲ提出セントス且ヤ四十番ハ「古物商」ノ下「ハ」ノ字ヲモ削除スルノ意ナリト言フモ之ヲ削レハ「古物商」ト言ヘルト「盜罪云云」ト字句密着シテ妥當ナラス「ハ」ノ字ハ之ヲ存スルヲ可トス

## ○四十番

渡邊  
洪基

營業者云云ヲ削ルハ本官ノ熱望スル所ニ非ス故ニ強

テ論セス然リ而シテ詐欺取財ノ罪ト刑法第四百一條ノ罪ト其性質相同シトノ説ニ至テハ到底辯斥セサルヲ得ス抑モ同條ニハ「詐欺取財其他ノ犯罪ニ關シタル物件ナルコトヲ知テ之ヲ受ケ云云」ト有リテ即チ知テ之ヲ受ケタルノ罪ハ同條ニ該當スルモ其未タ詐欺取財ニ係ル物件ナリヤ否ヤヲ知ラス或ハ物件ヲ購求セシ後チ始メテ

其贓物ナルコトヲ知りタル場合等ニ至テハ皆同條ノ範圍外ニ屬セ  
 リ且堂堂タル人ニシテ詐欺取財ノ罪ヲ犯スカ如キハ千百中ノ一ニ  
 過キスト云フモ初メヨリ惡意ヲ以テ之ヲ犯ス者ノ外知ラス識ラス  
 其罪ニ該當スル者モ世間少シト爲サス何ニ由テ然ルカト問フニ則  
 チ民法上ニ指定セサル者多キカ爲メナリ且假令其指定スル者アル  
 モ智慮ノ淺薄精神ノ錯亂ヨリ其分界ヲ立ルノ差異ニ由テ詐欺取財  
 タルト否ヲサルトノ別ヲ生シ而シテ此分界ハ法官ノ見ル所ニ由テ  
 始テ決スル者ナレハ尋常盜罪ノ類トハ甚タ其趣ヲ異ニス然リ而モ  
 一旦其處斷ヲ受ケシ者ハ設令自己ノ物品ト雖モ終身之ヲ自由ニ賣  
 却スル能ハスト爲スハ實際ニ於テ行フ可ラサルノ事ナラン況ヤ原  
 案ノ如ク之ヲ載セサルモ敢テ障礙アルニ非サルヲヤ故ニ此一句ハ

斷シテ削除ス可キナリ

○三十九番 津田眞道 本問題ニ就テ議論頻頻ナルモ本官ノ意見ハ三十二

番ト同シク其一半ヲ是認シテ他ヲ是認スル能ハス其理由ハ概ネ三  
 十二番ノ辯スルカ如シ然リ而モ全ク本案ニ決スルモ本官ハ強テ障  
 碍アリトセス惟タ營業者云云ノ一句ハ無要ナリ既ニ無要ノ文字ハ  
 法文ニ之レ無キヲ可トスルノミ又或議官ハ詐欺取財ノ罪ハ開明ニ  
 赴クニ隨ヒ増滋ス可シト云フモ本官ハ以爲ラク原ト詐欺ニ遭フハ  
 智識ナキノ致ス所ニシテ詐欺ヲ爲ス者ハ却テ智識アル者ナリト故  
 ニ十五年未滿ノ者ハ勿論或ハ不惑以上ノ高齡ニ達スルモ文字ヲ解  
 セス智識ナキ者ハ世間其類多シ然ラハ則チ詐欺者ノ多寡ハ國ノ開  
 明ナルト否ヲサルトニ由レリトハ謂フ可ラス且ヤ其犯罪ハ錯誤ニ



出ルニ非ス初メヨリ刑法等ヲ知テ之ヲ行フ者多シ故ニ其智ハ盜罪ヲ犯ス者ニ比スレハ深ク其罪最モ惡ム可シトス又或議官ハ親戚朋友中ニ詐欺ノ罪ヲ犯セシ者アリト云ヘリ是レ最モ惡ム可キノ徒ナリ凡ソ是等ノ罪ヲ犯ス者ハ毫モ憫諒ス可キニ非ス故ヲ以テ詐欺取財云云ノ一句ハ本案ノ如ク之ヲ存スルヲ是トス尙ホ本問題消滅ノ後ニ至リ三十二番ノ修正說出ルニ會ヘハ本官ハ之ヲ贊成セントス

○十番 大給恒

營業者云云ノ文字ヲ加ヘシ旨趣ハ三番八番ノ陳述ニテ明了ナリ要スルニ之ヲ加ヘシハ古物商ハ同業者ナリ何人ナリ總テ刑法第三百九十九條第四百一條等ノ處斷ヲ受ケシ者ヨリ物品ヲ買取リ又ハ交換シ及ヒ寄藏ス可ヲサルコトヲ明示センカ爲メナリ然

リ而モ之レ無クシテ毫モ惑ヒヲ生スルノ虞ナケレハ可ナルモ若シ之レ無キトキハ或ハ本條ニ列記セル罪ヲ犯セル者ヨリ物品ヲ買フヲ得サルハ只其同業者ニ限レリトノ誤解者アルヲ恐ル又或議官ハ朋友中ニ詐欺取財ノ罪ノ處斷ヲ受ケシ者アリト云テ其情狀ヲ縷述シ以テ詐欺取財云云ノ文字ヲ削除セント説クモ刑法第四百一條ハ「詐欺取財其他ノ犯罪ニ關シタル物件ナルコトヲ知テ之ヲ受ケ云云」ト有リテ其第四百一條ノ處斷ヲ受ケシ者ノ物品スラ尙ホ警察官ノ許可ヲ得スシテ買取リ又ハ交換スル等ノコトヲ禁ス然ルヲ躬自ヲ詐欺取財ノ處斷ヲ受ケシ者ヨリ物品ヲ買取リ又ハ交換スルニ方リ警察官ノ許可ヲ受ケシムルハ當然ノ事ナリ何ソ權衡ヲ失スト謂ン元來詐欺取財ノ罪ヲ犯セル如キ者ハ恐クハ盜罪ヲ犯シ盜罪ヲ犯セ

ル者ハ詐欺取財ノ罪モ亦犯セルナル可シ故ニ本官ハ其盜偷ト詐欺取財トハ到底其罪ノ輕重ヲ知ラサルナリ論者ハ詐欺取財ト否トノ區域判然セサルヲ以テ是等ノ字句ヲ削除ス可シト云フモ三十九番ノ述シ如ク苟モ刑法第五節ニ該當スル犯罪者ハ即チ其錯誤ニ出テシニ非サルヤ必セリ故ヲ以テ本官ハ宜シク之ヲ存スヘシトス約スレハ營業者云云ハ存セサルモ強テ妨ケ無ク詐欺取財云云ノ一點ニテハ提轄上最モ存セサル可ラスト信ス

○十五番柴原和 反對論者ノ營業者云云ハ之レ無キモ可ナリト云ルハ蓋シ修正ノ旨趣未タ貫徹セサルニ由ルナラン因テ更ニ之ヲ辨セン抑モ修正ノ旨趣タル刑法第三百九十九條第四百一條等ノ處斷ヲ受ケシ者モ本案第二條ニ據リ管轄廳ノ免許ヲ受クル上ハ則チ古物商

タルヲ得ヘシ故ニ一般古物商ニ於テ同業者及ヒ其他何人タルヲ問ハス一旦盜罪等ノ處斷ヲ受ケシ者ノ物品ヲ買取り又ハ交換シ及ヒ寄藏セントスルトキハ必ス警察官ノ許可ヲ受ク可シト言フニ在リテ其甲乙相通謀シテ物品ヲ賣買交換若クハ寄藏センコトヲ恐ルカ爲メナリ是レ嚴ニ古物商ヲ提轄スルノ旨趣ニ出ツ是レ或議官ノ言ノ如ク原案ニ其文字アリシヲ以テ之ヲ舍ルニ忍ヒサルカ爲メニ加載セシニ非ス且警視廳ニ立ル所ノ草案ニハ同業者云云ト有ルモ同業者トセハ同商業ノ者ト見ルノ嫌ヒ有ルヲ以テ即チ原案ニ仍リシナリ要スルニ此ノ如クナラサレハ原案ハ其罰素人ニマテ及フノ嫌ヒ有リトス「詐欺取財云云」ニ關シテハ既ニ同列委員ノ辯明ニ委シ

○復タ贅セス

○三十二番 三浦安 四十番ハ詐欺取財ノ罪ト刑法第四百一條ノ罪トハ其性質相同シカラスト斷言スルモ是レ然ラスト爲ス惟タ第四百一條ハ詐欺取財ノ物件ナルコトヲ知テ之ヲ買取りタル場合ヲ言ヒ本條ニハ所謂詐欺取財ノ罪ノ處斷ヲ受ケタル者ヲ言フノ差アルノミ論者ハ遇マ其友人ニ詐欺取財ノ罪ニ該當セル不幸者アリシヨリ大ニ感觸ヲ發シテ説ヲ發セシナラシカ説ノ如キハ實ニ千百中一人ノ不幸者タルノミ然レトモ苟クモ不幸ニシテ罰ヲ被ル如キハ即チ上告以テ冤枉ノ途ナキニ非ス然ルニ之ヲ爲ササルハ其罰ヲ甘受スル者ト謂ハサルヲ得ス要スルニ千百中一ノ不幸者ヲ援テ然ク論スルハ復タ偏倚タルヲ免レス且若シ本條ニ詐欺取財セントスル者ト掲クル如キハ則チ刑法第四百一條ト逕庭ス可キモ詐欺取財ノ罪ト治

定ノ章句ヲ用フル上ハ同條ニ異ナラサルハ明カナリ又營業者云云ノ文字ニ關シ十五番ノ論述アルモ本官ハ之ヲ加フルノ特効アルヲ見ス但シ之ヲ後段ニ存スルハ或ハ是ナラサルニ非サルモ本案ノ如キハ行文妥當ナラス意義亦明瞭ヲ缺ク畢竟前陳ノ如ク唯此文字ハ原案ニ在リシカ故ニ此ニ移セシニ外ナラサレハ之ヲ存スルモ否ラサルモ其意義ニ於テハ大ナル逕庭ナカル可シ故ヲ以テ本官ハ前ニ豫陳セシ如ク現問題ノ消滅スルヲ俟テ之ヲ削ルノ説ヲ提出セント欲ス

○三番 箕作麟祥 尙ホ一言セン營業者云云ノ文字ハ無精神ナリト駁スルモ其然ラサルハ十番等ノ辯ノ如シ要スルニ彼我見解ヲ異ニスル有ルノミ三十二番三十九番ノ如キ營業者云云ヲ削ルハ四十番ニ同意

ナルモ詐欺云云ヲ削ルハ不同意ナルヲ以テ現問題消滅セハ更ニ營業者云云ニ係ル修正説ヲ提出セント云フハ其意思明瞭ナルモ或論者ノ營業者云云ヲ厭フカ爲メニ四十番ヲ賛成シ其要用ナル詐欺云云ノ文字ヲモ併削セントスルカ如キハ怪訝ニ堪ス蓋シ營業者云云ノ無精神ナリト云フニ對シテハ肯テ抗論セス只詐欺云云ノ文字ハ大ニ精神ノ存スル者ナルヲ以テ或論者ノ如キモ三十二番等ト同シク本問題ノ取舍ヲ決センコトヲ望ム

○四十番 渡邊 洪基

今一回ノ辯明ヲ須ヒン本官前ニ刑法第四百一條ノ罪ト詐欺云云ノ罪トハ其性質相同シカラスト述シニ對シ或議官ハ之ヲ辯斥スルモ彼ノ第四百一條ハ知テ之ヲ受ケト有リテ即チケイズ買ニ係ル者ナレハ即チ刑法第三百九十一條第三百九十九條ニ載ル

如キトハ少シク其異ナル所アリトス然リ而モ詐欺取財ハ初ヨリ有心ニシテ他人ノ財ヲ詐取スル者ナシトセサルモ大抵其罪ハ法庭ニ於テ始テ定マル者トス我邦ノ如キ後見人ニ關スル法律及ヒ親戚若クハ幼者ノ財産ヲ管理スルノ成規ニ至テハ皆未タ完備セス故ニ識ラス知ラス詐欺取財ノ罪ニ陥ル者等往往ニ之レ有リ但シ既ニ法律ニ據テ宣告ヲ受ケタル上ハ素ヨリ詐欺ニ非スト謂フ可ラサルモ前陳ノ如ク其罪ハ法庭ニ出テ後始メテ定マル者ニシテ強竊盜ノ如キトハ同日ノ談ニ非ス且ヤ見今詐欺取財ノ罪ニ係ル者ハ常ニ敗訴人ニ多シ縱令ヒ民法ノ曲者ト爲ルモ豈直指シテ之ヲ惡人ト謂フ可シヤ想フニ他日民法完備セハ是等ノ犯罪者モ亦必ス其數ヲ減ス可シ既ニ其時運ニ達スル上ハ之ヲ盜犯ト同視シテ可ナルモ今日ハ尙ホ

然ル能ハサルナリ是レ本官ノ朋友中ニ其處斷ヲ受ケシ者アリト公  
言シ而シテ恬然耻ト爲ササル所以ナリ又或議官ハ詐欺ノ文字ヲ加  
ヘシハ獨リ修正委員ノ發意ニ非ス主務官ノ發言ニ由レリト言ヘリ  
然レトモ内閣ニ於テ果シテ此意見アラハ業ニ既ニ内閣委員ハ辯明  
スル所アル可シ而シテ之レ無キハ要用トセサルナラン是レ啻ニ要  
用ナラサルノミナラス本官等ハ之ヲ加フルハ不適當ナリト考フ又  
或議官ハ古物商ノ下ノ「ハ」字ハ削ラサルヲ優レリト言フモ若シ之  
ヲ存セハ僅僅行文中「ハ」ノ字ノ重複甚タシキヲ以テ之ヲ削ラント  
欲スルノミ敢テ理由ナキニ非ス

○三十二番 三浦安 四十番ノ論辨ハ益ス出テ益ス解スル能ハス説ノ如  
クシハ詐欺取財ノ罪ハ頗ル輕キ者ナリ果シテ然ラハ現行ノ刑法ハ

其罰重キニ過クト謂ハサルヲ得ス又民事ノ裁判ニ敗訴セル者ハ常

○ニ詐欺取財者ト爲ルト言フモ民刑ノ區域ハ判然既ニ兩立スル今日  
ナルカ故ニ亦其説ニハ從フ能ハス但シ四十番ハ偶マ其朋友中不幸  
ニシテ詐欺取財ノ罪ニ陷リシ者アルヲ見テ天下ノ人皆然リトノ情  
念ヲ發セシヨリ爾ク先入ノ説ヲ爲スナラン焉ソ知ラン刑法ニ詐欺  
取財ノ條文ヲ載セタルハ不幸ニシテ之ヲ犯ス者ヲ待ツニ在ラスシ  
テ乃チ故意ヲ以テ犯ス者ヲ待ツニ在ルヲ尙ホ餘論ハ本官修正説ヲ  
提出スルノ時機ヲ待テ之ヲ述ントス

○議長 他ノ公用アルヲ以テ暫ク本席ヲ十番ニ讓ラン

○議長 大給恒 只今議長ノ陳告ノ如ク本官ハ暫ク本席ヲ保タン

○十一番 榎村正直 本官ハ本案ヲ審閱シ本條ノ修正ノ如キハ亦深ク意ヲ

○用ヒタルヲ知ル其營業者云云ノ文字モ原案ニ載セタリシカ故ニ容  
 ○易ク此ニ加ヘシ者トハ言フ可ラス本案ノ意タル縱令ヒ盜罪若クハ  
 ○詐欺取財其他刑法第三百九十九條第四百一條ノ處斷ヲ受ケシ者  
 ト雖モ古物商ノ營業ヲ爲スニ於テハ妨ケ無キナリ既ニ然ラハ此文  
 字ナクシテハ他ノ古物商ノ是等ノ古物商ヨリ物品ヲ買取り又ハ交換  
 シ若クハ寄藏スルハ自由自在ナリトノ誤解ヲ來ス者ナキヲ期セス  
 是レ之ヲ加ヘシ理由ノ一點ナラン且刑法第三百九十九條ハ強竊盜  
 ノ贓物ニ關スル罪ヲ示シ第四百一條ハ詐欺取財ノ贓物ニ關スル罪  
 ヲ示セリ而シテ本條盜罪ノ文字ヲ以テ其第三百九十九條ニ照應セ  
 ル上ハ第四百一條ニ照應ス可キ詐欺取財ノ罪ヲ掲ケサル可ラス本  
 案ニ此文字アルハ蓋シ之カ爲メナラン故ヲ以テ本官ハ前後兩段共

ニ問題ヲ非視ス

○八番 伊丹重賢 本官ハ本問題ニ對シテ既ニ意見ヲ陳述セリ加之爾後言

ント欲スル者ハ大畧各位ノ說ニ盡キタルヲ以テ今ヤ本官ハ只僅ニ  
 其遺漏ノ點ヲ簡單ニ陳ントス本條ノ旨趣タル今日ノ古物商ト先ニ  
 盜罪又ハ詐欺取財等ノ罪ノ處斷ヲ受ケシ者若クハ一旦是等ノ處斷  
 ヲ受ケシ者ニシテ今ハ公然古物商ト爲リタル者トノ聯絡ヲ絶ント  
 スルニ在リ然リ而モ一旦盜罪等ノ處斷ヲ受ケシ者モ古物商ト爲ル  
 ニ妨ケ無ク而シテ其既ニ公然古物商ト爲リタル者ナレハ之カ物品  
 ヲ買取り又ハ交換シ及ヒ寄藏スルハ十一番ノ陳ル如ク尋常一般ノ  
 人ヨリ物品ヲ買取り又ハ交換スルト同シク法律ノ範圍外ナリトノ  
 誤解者ナキヲ保ツ能ハス是レ此ニ此文字ヲ加ヘシ所以トス若シ夫

レ然ク掲ケサルモ天下ノ人皆其旨趣ヲ誤解セスト爲サハ素ヨリ可ナルモ是レ決シテ望ム可ヲサルコトナラン因テ之ヲ存スルニ如カス

○三十九番 津田 眞道 建議ヲ爲ス本官ハ三十二番ト同シク營業者云云ヲ

削除シ詐欺取財云云ヲ存セント欲スルカ故ニ本問題消滅ヲ埃チ單ニ營業者云云ヲ削除スルノ說出ルニ臨ミ之ニ左袒セント陳述セシモ本問題ノ營業者ト詐欺取財トヲ二分シ以テ各個ニ其決ヲ取ラハ事簡便ニシテ時間ヲ徒費セサルノ益アリトス因テ現問題ヲ二分シテ決ヲ取ンコトヲ望ム

○三十五番 本田 親雄 三十九番ト同感ナリ其建議ノ行ハレンコトヲ望ム

○議長 發議既ニ盡キタリト認ム爰ニ三十九番ヨリ本問題中營業者

云云ト詐欺取財云云トヲ二分シテ各個ニ決ヲ取ルノ建議アリ本席ハ直ニ之ヲ採用シテ決ヲ取ントス即チ問題中「ハ營業者タルト否トヲ問ハス」ノ字句ヲ削除スルニ同意者ハ起立セヨ

起立者十人

○議長 半數ナルニ由リ本席ノ意見ヲ以テ修正ニ可決ス續テ「詐欺取財ノ罪」ノ六字ヲ削除スルヤ否ヤノ決ヲ取ン之ヲ削除スルニ同意者ハ起立セヨ

起立者五人

○議長 少數ナルヲ以テ四十番ノ修正說ハ消滅ス  
議長復席十番モ其席ニ復ス

○二番 細川 潤 次郎 議長ニ問フ前議長ノ營業者云云ハ修正ニ可決スト陳

○告アリシハ本案ニ可決スト言ヘルノ意旨ナル乎聞クカ如キハ或ハ四十番ノ修正説ニ可決セル者ノ如シ何如

○議長 只今二番ノ質問ニ對シ更ニ前議長ノ意旨ヲ述テ可ナラン

○十番大給恒 前ニ陳告セシ意旨ハ修正委員ノ提出セル修正即チ本案ニ可決スト言フニ在リ言ノ足ラサル有ラハ之ヲ滿場ニ謝ス

○議長 前議長陳告ノ意旨ハ各位ノ聞クカ如シ之ヲ領セヨ

○四十番渡邊洪基 更ニ一ノ修正説ヲ提出セン詐欺取財ノ罪ヲ掲クルニ至ラハ受寄財物ニ關スル罪又ハ刑法第三百九十五條ノ字句ヲ加ヘ

サル可ラス蓋シ受寄ノ財物等ヲ恣意ニ消費スルカ如キハ其惡詐欺取財ニ減セス殊ニ第五條ニ雇人ヨリ物品ヲ買取り又ハ交換スルヲ自由ニ任せサルカ如キハ前述ノ處斷ヲ受ケタル者ヨリ自由ニ物品

ヲ買取り又ハ交換スル等ハ決シテ許ス可ラス啻ニ許ス可ラサルノミナラス若シ之ヲ放任セハ則チ權衡ヲ失ス因テ本條詐欺取財ノ罪及ヒ受寄財物ニ關スル罪又ハ刑法第三百九十五條第三百九十九條第四百一條ノ處斷云云ト修正セントス

退席 三十九番 津田 眞道

○議長 四十番ノ修正説ハ賛成者ナキヲ以テ消滅ス

○四十二番宮本小一 本官モ修正説アリ營業者云云ヲ削ルト否トハ既ニ起立ヲ以テ四十番ニ同意ヲ表セシモ不幸ニシテ行ハレス蓋シ本案ノ旨趣タルケイツ買ヲ提轄スルニ在リテ是レ是ナラサルニ非サル

モ公平ノ心ヲ以テ考フルトキハ本條ハ幾分カ人民ノ權理ヲ蹂躪スル者ト謂フ可シ何トナレハ曾テ盜罪ヲ犯セシ者モ刑期滿限ノ後ハ



一般良民ト同シク古物商タラント欲セハ則チ之カ營業鑑札ヲ受ルヲ得既ニ營業鑑札ヲ受ル公商ニシテ其同業者ニ對シ終身自由ニ物品ヲ賣却シ又ハ交換スル能ハスト爲スハ檢束ノ甚シキヲ以テナリ聞ク古物商ノ同業中ニ於テ物品ヲ賣買交換スル額ハ常ニ其素人ニ賣買スルニ幾倍スト蓋シ盜罪ノ處斷ヲ受シ者等ニ於テハ數年若クハ數月間ノ檢束ヲ受ルハ是レ自得ノ事ナル可キモ幾星霜ヲ經ルモ其檢束ヲ脱スル能ハスト爲スハ遂ニ善良ニ移ルノ道ヲ絶ツニ似タリ本案第十八條ニ古物商ノ一年內ニ此條例ヲ再犯シタル者ヲ檢束スルノ例アリ本條モ宜ク之ニ倣ヒ以テ其期限ヲ付スヘシ因テ本條第二行目「者ヨリ」ノ下物品ヲノ上ニ一年內ニノ四字ヲ插加スルヲ可トス但シ其年限ニ於テハ或ハ二年乃至三年內ト爲スモ亦異議ナ

カラシ要スルニ本官ハ其無期限ヲ非視スルニ在ルナリ

○四十三番 田邊 太一 本官ハ四十二番ノ動議ト感觸ヲ同ウセリ曾テ盜罪

等ノ處斷ヲ受ケタルカ爲メニ自己ノ資財ト雖モ終身自由ニ古物商ニ賣却スル能ハスト爲スハ苛酷モ亦甚シ見ニ本案第十四條ニ第六

條第十條第十三條及刑法第三百九十九條第四百一條ノ處斷ヲ受ケ

タル古物商ハ管轄廳ニ於テ三月以上三年以下ノ特別取締ニ付スル

コトヲ得「ト有リテ即チ是等ノ處斷ヲ受ケタル古物商ニシテ尙且特

別取締ニ付スルハ三月以上三年以下ニ過キス然ルニ本案ノ如ク終

始警察官ノ許可ヲ得ルノ後ニ非サレハ能ハスト爲スハ頗ル權衡ヲ

失ス因テ四十二番ヲ賛成ス但シ其一年內ヲ三年內トセハ一層妥當

ナランカ併セテ之ヲ陳フ

○議長 四十三番ハ全ク賛成スル歟別ニ修正説ヲ提出スル歟二者其一ニ居レ

○四十三番 田邊 太一 全ク賛成セン

○議長 四十二番ノ修正説ハ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○四十番 渡邊 洪基 本問題ハ本官嘗テ修正委員ニ提出セシ意見書ニ掲ク

ル所ト同精神ナルモ或ハ古物商自ラ罪ヲ犯セシ者ノ如ク聞ユルノ嫌ヒ有ルヲ以テ本官ハ其消滅ヲ俟テ更ニ一説ヲ提出セントス今豫メ其腹稿ヲ陳シニ第二行目寄藏スルトキハノ下其處斷ヲ受ケタル日ヨリ三月以上三年以下ノ文字ヲ加ヘ而シテ警察官ノ許可ヲ受クヘシ云云ト爲サントスルナリ但シ期限ヲ付スルノ意見書ハ修正委員ノ採用スル所トナラサリシヲ見レハ此動議ニ對シ必スヤ異論ア

ル可キモ亦敢テ黙スル能ハサルナリ

○議長 發議盡キタルヲ以テ決ヲ取シ四十二番ノ修正説ニ同意者ハ起立セヨ

起立者二人

○議長 四十二番ノ修正説ハ少數ナルヲ以テ消滅ス

○四十番 渡邊 洪基 更ニ豫陳ノ修正説ヲ提出セン即チ云云寄藏スルトキ

ハ其處斷ヲ受ケタル日ヨリ三月以上三年以下警察官ノ許可ヲ受クヘシ云云是ナリ但シ字句ハ尙ホ未ダ穩當ナラサルニ似タルモ精神ノ在ル所ハ此ノ如シ若シ他ニ好修正アレハ之ニ從シノミ

○四十二番 宮本 小一 寄藏スルトキハ云云警察官ノ許可ヲ受クヘシト言ハハ或ハ寄藏シテ後警察官ノ許可ヲ受クヘキカ如ク稍奇異ニ涉ル

ト雖モ其ノ旨趣ハ本官ノ甚タ満足スル所ナルヲ以テ之ニ左袒ス

○議長 四十番ノ修正說ハ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○番二番 黒田 綱彦 本員ハ本案ノ執行上ニ關シテ問題ノ發議者ニ質問セ

ント欲ス修正ニ所謂三月以上三年以下ノ期限ハ誰人カ之ヲ定メ之  
カ命スヘキカ發議者ノ旨趣ハ何如

○四十番 渡邊 洪基 管轄廳ニ於テ之ヲ定メ之ヲ命スルノ旨趣ナリ

○番二番 黒田 綱彦 然レハ爰ニ例ヘハ盜罪ノ處斷ヲ受ケタル者アルトキ

ハ管轄廳ハ一般古物商ニ布達シテ某甲ハ何何ノ故ヲ以テ某月某日  
ヨリ某月某日マテハ某甲ヨリ物品ヲ買取り又ハ交換シ及ヒ寄藏セ

ントスルトキハ警察官ノ許可ヲ受ク可シト命スルカ再ヒ其説明ヲ  
煩ハサン

○四十番 渡邊 洪基 然リ品觸ト同一ノ順叙ヲ以テ布達セハ可ナリト信ス

○四十二番 宮本 小一 番外二番ノ質問モ一理ナキニ非ス然レトモ斯ク顧

慮ヲ懷クニ於テハ其盜罪等ノ處斷ヲ受ケタル者アルモ自己ノ口頭  
ヨリ之ヲ他人ニ語ルヲ欲セサルハ人情ノ常ナレハ其親友ハ格別ニ

屬シ他人ハ概シテ之ヲ知ラサルナリ故ニ其處斷ヲ受ケタル事スラ  
布達若クハ其他ノ順叙ニ賴テ之ヲ告示セサル可ラス何ソ獨リ刑期

ノ年月ノミナランヤ然ラハ則チ現問題ト雖モ敢テ迂濶ナリト謂フ  
能ハス聊カ之ヲ辯ス

○議長 發議盡キタルヲ以テ決ヲ取ン四十番ノ修正說ニ同意者ハ起  
立セヨ

○起立者二人

○議長 少數ナルヲ以テ四十番ノ修正説ハ消滅ス

○四十五番 橋口 兼三 本條ノ旨趣タル原ト贓物ノ賣買ヲ防クニ在リ故ニ

以爲ク本條「盜罪詐欺取財ノ罪又ハ刑法第三百九十九條第四百一條ノ處斷ヲ受ケタル者アリ物品ヲ買取り又ハ交換シ及ヒ寄藏スルトキハ警察官ノ許可ヲ受クヘシ云云」ト有ルハ例ヘハ人アリ二十歳ニシテ盜罪若クハ詐欺取財等ノ罪ノ處斷ヲ受ケ三四十歳ニ至リ官許ヲ得テ公然古物商ノ業ヲ營ムニ方リ他ノ古物商ノ警察官ノ許可ヲ受ケスシテ彼ヨリ物品ヲ買取り又ハ交換シ或ハ寄藏セル有ラシニ其物品ノ贓物ナラサルトキハ可ナルモ若シ贓物ナルトキハ則チ本條ヲ以テ罰スルノ意ナラント果シテ此解釋ニシテ誤リ無クハ即チ是ナルモ或ハ本條ノ精神タル一旦盜罪等ノ處斷ヲ受ケシ者

ノ物件ハ良シヤ真正ノ所有品ニ係ルモ之ヲ買取り又ハ交換シ及ヒ寄藏セル者ハ本條ノ罰ヲ受ク可キカ如シ此ノ如キハ實ニ苛酷ニ失スルヲ以テ之ヲ修正シテ云云警察官ノ許可ヲ受クヘシ若シ許可ヲ受ケスシテ買取交換寄藏スル物贓品ニ該ルトキハ一月以上三年以下ノ重禁錮云云ト爲サントス蓋シ一旦盜罪若クハ詐欺取財等ノ罪ヲ犯セシ者ハ仮令ヒ刑期滿限ノ後官許ヲ得テ公然古物商ノ業ヲ營ムモ其所有ノ物品ハ悉皆贓物トハ謂フ可ラス然レトモ之ヲ自由ニ任スルヲ以テ或ハ贓物ヲ賣買スル如キ弊害ヲ惹起スモ料ル可ラス故ニ警察官ノ許可ヲ受ケシムルハ素ヨリ可ナリトス但タ之ニ戻リタルカ爲メ其物品ノ贓物ナラサリシ場合ニ於テモ必ス本條ノ罰ニ處スルカ如キハ苛酷タルヲ免レス是レ修正説アル所以ナリ

○三十五番本田親雄 四十五番ニ問フ只今ノ修正説ハ其旨意ハ美ナルモ

本條ノ見解ニ至テ本官ト大ニ其趣キヲ異ニセルカ如シ因テ一應其主義ヲ質シテ後賛成ノ如何ヲトセントス

退席 十三番 西村 貞陽

○議長 三十五番ニ告ク四十五番ノ修正案ハ一應書記官ニ朗讀ヲ命セン而シテ後賛成如何ヲ決セハ可ナラン

書記官 森山 朗讀

第六條 古物商ハ營業者タルト否トヲ問ハス盜罪詐欺取財ノ罪又ハ刑法第三百九十九條第四百一條ノ處斷ヲ受ケタル者ヨリ物品ヲ買取り又ハ交換シ及ヒ寄藏スルトキハ警察官ノ許可ヲ受クヘシ若シ許可ヲ受ケスシテ買取交換寄藏スル物贓品ニ該ルトキハ一月

以上三年以下ノ重禁錮又ハ三十拾圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス

○議長 四十五番ノ修正説ハ只今朗讀セル如シ三十五番ハ之ヲ賛成スルヤ否ヤ

○三十五番 本田親雄 賛成セス

○四十二番 宮本小一 四十五番ノ修正説ハ本官ノ意見ト異同アルモ營業者ノ檢束ヲ厭フノ精神ハ同一ナルヲ以テ再タヒ之ヲ賛成ス

○議長 四十五番ノ修正説ハ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス他ニ發議ナクンハ決ヲ取ン本問題ニ同意者ハ起立セヨ

起立者二人

○議長 少數ナルヲ以テ四十五番ノ修正説ハ消滅ス

○四十番 渡邊 洪基 過刻提出セシ修正説ハ本官自己ノ考案ニ於テモ未タ

○妥當ナラサルノ憾アリ今更ニ熟考スルニ冒頭ナル「古物商」ハ四字ヲ削リ第六條營業者タルト否トヲ問ハス云云寄藏セントスルニハ三月以上三年以下特ニ警察官ノ許可ヲ要スヘキモノトス違フ者ハ一月以上三年以下ノ重禁錮云云ト此ノ如ク修正セハ始メテ其全キヲ得ンカ蓋シ本條ニ就テ過刻來頻頻議論紛出スルハ畢竟一旦盜罪等ノ處斷ヲ受ケタル者ヨリ物品ヲ買取り又ハ交換シ若クハ寄藏セントスルニハ終始警察官ノ許可ヲ受ケサル可ラスト爲スヲ非視スルニ在リ故ニ本修正ノ如ク期限ヲ付シ滿期ノ後ハ之ヲ一般良民ト同視スルヲ妥當ナリトス又冒頭ノ古物商ノ文字ハ第四條第五條ニモ之レ無キノ例アリ且本條モ原案ニハ之ヲ載セス是レ第二條ニ古物商物品ヲ賣買シ云云ト言ヘルニ職由スルナラン因テ本官ハ之ヲ

ヲ削リ且前陳ノ如ク其以下ヲ修正セント欲ス

○議長 四十番ノ修正說ハ賛成者ナキヲ以テ消滅ス他ニ發議ナクンハ本條ハ可決ト爲シテ次條ニ移ル可シ

書記官 森山 茂 朗讀

第七條 古物商ハ許可ヲ受ケタル市場及賣主買主讓主讓受主ノ居宅ノ外ニ於テ物品ヲ買取り又ハ交換スルコトヲ得ス

○議長 發議ナキヲ以テ決ヲ取ン本條ニ同意者ハ起立セヨ  
起立者十八人

○議長 多數ナルヲ以テ本條ニ可決シ本日ハ此ニ議事ヲ止メ次會ノ期日ハ他日報道セン散會セヨ

午後第四時三十五分開場

左ノ意見書ハ本案ニ重要ノ關係アルヲ以テ參閱ノ便ニ供スル爲  
メ此ニ附記ス

號外第三十九號

刀劍商取締規則制定ノ儀意見書

○謹テ按スルニ本官等第四百六號議案全部付托修正ノ任ニ當リ反覆  
審査スルニ本案ハ古物商等贓物ヲ買取ルヲ防ク條例ナルニ第八條  
ノ如キハ其性質兇器販賣ノ取締ナリ是レ本家中ニ插入スヘカラサ  
ルモノトス是ヲ以テ删除セサルヲ得ス然レトモ刀劍販賣ヲシテ容  
易ナラシムレハ兇漢ノ罪惡ヲ逞フスルノ因ヲ爲ス故ニ第八條ノ意  
ニ原ツキ檢束ノ方法ヲ設ケ之ヲ別段ノ布告トセサルヘカラス因テ  
刀劍商取締規則布告案ヲ草シ意見及提出候也

議官 鍋島 直彬

議官 箕作 麟祥

議官 柴原 和

明治十六年十一月廿七日

議官 伊丹 重賢

議官 大給 恒

議長佐野常民殿

布告案

刀劍商取締規則左ノ通制定シ明治 年 月 日ヨリ施行ス

第一條 刀劍商トハ刀槍薙刀若クハ劍類裝填ノ製作物ヲ賣買スル  
營業者ヲ云フ

第二條 刀劍商ハ管轄廳東京府ハノ免許ヲ受クヘシ但シ管轄廳ニ

於テハ適宜其人員ヲ定ムルコトアルヘシ

第三條 刀劍商ハ身元詳ナラサル者又ハ盜罪賭博ノ處斷ヲ受ケタル者ニ物品ヲ賣渡讓渡スコトヲ得ス

第四條 刀劍商ハ路店又ハ路傍ニ於テ物品ヲ賣渡讓渡スコトヲ得ス

第五條 刀劍商ハ日出前日没後物品ヲ賣渡讓渡スコトヲ得ス

第六條 第三條第四條第五條ヲ犯ス者ハ警察官ニ於テ其物品ヲ取上クヘシ

第七條 此規則ヲ犯ス者ハ貳圓以上貳百圓以下ノ罰金ニ處ス

右奉 勅旨布告候事

元老院會議筆記 明治十六年十一月三十日 禁傍聽

○第四百六號議案 古物商取締條例ノ儀 第二讀會 十一月二十

議長 佐野常民

出席議員

二番 細川潤次郎

三番 箕作 麟祥

四番 野村 素介

五番 鷺尾 隆聚

八番 伊丹 重賢

九番 東久世通禧

十番 大給 恒



- 十一番 榎村 正直
- 十二番 津田 出
- 十五番 柴原 和
- 十九番 上杉 茂憲
- 二十番 大鳥 圭介
- 二十五番 鍋島 幹
- 二十八番 大久保一翁
- 三十二番 三浦 安
- 三十四番 福原 實
- 三十五番 本田 親雄
- 三十六番 神田 孝平

三十九番 津田 眞道  
 四十番 渡邊 洪基  
 四十一番 井田 讓  
 四十二番 官本 小一  
 四十三番 田邊 太一  
 内閣委員 一番 參事院議官水本 成美  
 二番 參事院議官補黒田 綱彦  
 午前第十時開場

○議長 第四百六號議案第二讀會ノ續會ヲ開ク  
 ○四十番 渡邊 洪基 前日第七條ヲ議了シ今將ニ第八條ニ移ラントスルニ  
 方リ一ノ修正說ヲ提出セントス乃チ七八兩條ノ間ニ刀劍又ハ之ヲ

仕。込。ミ。タ。ル。器。具。ハ。身。元。詳。ナ。ラ。サ。ル。者。又。ハ。先。ニ。盜。罪。賭。博。ノ。處。斷。ヲ。受。ケ。タ。ル。者。ニ。賣。渡。讓。渡。ス。コ。ト。ヲ。得。ス。ト。言。ヘ。ル。原。案。第。八。條。ノ。條。文。ヲ。挿。入。ス。ル。是。ナ。リ。其。理。由。ハ。本。案。第。一。條。第。二。項。ニ。及。刀。劍。商。ハ。此。條。例。ニ。準。據。ス。ヘ。シ。ト。掲。ケ。本。案。已。ニ。刀。劍。商。ヲ。古。物。商。ト。同。視。セ。ル。ニ。由。ル。然。リ。而。モ。實。際。刀。劍。ヲ。提。轄。セ。ン。ト。欲。セ。ハ。古。物。商。ノ。賣。渡。讓。渡。シ。ニ。就。テ。檢。束。ヲ。加。ヘ。サ。レ。ハ。能。ハ。ス。ト。爲。ス。其。單。純。ナ。ル。刀。劍。商。ニ。在。テ。ハ。文。武。官。ノ。禮。劍。ヲ。作。ル。如。キ。ニ。過。キ。ス。故。ニ。原。案。第。八。條。ハ。刀。劍。提。轄。上。ニ。於。テ。頗。ル。要。用。ア。リ。蓋。シ。修。正。委。員。ノ。同。條。ヲ。削。除。セ。シ。ハ。之。カ。提。轄。ヲ。要。用。ナ。ラ。ス。ト。シ。テ。然。ル。ニ。非。ス。即。チ。本。案。ハ。古。物。商。等。ノ。贓。物。ヲ。買。取。ル。ヲ。防。禁。ス。ル。ノ。條。例。ニ。シ。テ。原。案。第。八。條。ノ。如。ク。兇。器。ノ。販。賣。ヲ。提。轄。ス。ル。ト。ハ。其。性。質。相。同。シ。カ。ラ。ス。ト。爲。ス。ニ。在。リ。號。外。第。三。十。九。號。ノ。意。見。書。ヲ。提。出。セ。シ。モ。

之。カ。爲。メ。ノ。ミ。果。シ。テ。然。ラ。ハ。委。員。ニ。於。テ。本。案。第。一。條。第。二。項。ノ。及。刀。劍。商。云。云。ノ。文。字。ヲ。存。セ。シ。ハ。失。當。ナ。リ。ト。ス。且。其。意。見。書。第。五。條。ニ。刀。劍。商。ハ。日。出。前。日。沒。後。物。品。ヲ。賣。渡。讓。渡。ス。コ。ト。ヲ。得。ス。ト。有。ル。ノ。外。ハ。原。案。第。八。條。ト。文。章。ハ。異。ナ。ル。モ。旨。趣。ニ。於。テ。ハ。皆。同。シ。然。リ。而。モ。日。出。前。日。沒。後。ノ。賣。渡。讓。渡。ヲ。禁。ス。ル。モ。刀。劍。商。ノ。各。戶。ニ。看。守。者。ヲ。付。ス。ル。ニ。非。サ。レ。ハ。能。ク。其。効。功。ヲ。收。ム。ル。能。ハ。ス。此。等。ノ。條。文。ヲ。掲。ケ。サ。ル。モ。寧。ロ。原。案。ノ。如。ク。刀。劍。又。ハ。之。ヲ。仕。込。ミ。タ。ル。器。具。ハ。身。元。詳。ナ。ラ。サ。ル。者。又。ハ。云。云。ニ。賣。渡。讓。渡。ス。コ。ト。ヲ。得。ス。ト。有。レ。ハ。足。レ。リ。ト。ス。其。第。四。條。ニ。刀。劍。商。ハ。露。店。又。ハ。路。傍。ニ。於。テ。云。云。ト。言。ヘ。ル。モ。自。己。ノ。店。舗。前。ニ。露。店。ヲ。開。張。シ。テ。營。業。ヲ。爲。ス。者。モ。往。往。之。レ。有。リ。且。縱。使。ヒ。露。店。ニ。於。テ。ス。ル。モ。身。元。詳。カ。ナ。ル。者。ニ。賣。却。ス。ル。ハ。敢。テ。障。碍。ナ。カ。ル。可。シ。到。底。此。條。モ。亦。妥。當。ナ。ラ。

ス故ニ本官ハ前陳ノ如ク原案第八條ヲ存シテ意見書ヲ廢スルヲ可  
トス且若シ此修正說ニ可決セハ本案第八條ヲ第九條ト爲シ以下順  
次ニ條目ヲ改ムルハ論ナキナリ

○九番 東久世  
通補

賛成ス這般修正委員ノ追加セル本案第一條第一項中  
ニ「刀劍商云云」ト言ヘルハ原案ノ第八條ト照應ス故ニ第八條ヲ削  
除セハ遂ニ不具ノ者タルヲ免レス委員ハ特ニ刀劍商取締規則ヲ立  
ントノ意見書ヲ提出セルモ是レ惟タ第八條ノ意ヲ分析シテ條項ヲ  
列子タルニ過キス而シテ其露店又ハ露傍云云ノ不是ナルハ恰モ四  
十番ノ駁論セル如シ又其意見書ニハ原案第八條中ノ眼目ナル刀劍  
ヲ仕込ミタル器具ト言ヘル文字ヲ載セス此ノ如キ嚴則ヲ設ケ而シ  
テ其提轄ノ仕込杖等ノ類ニ及ハサルハ或ハ缺點ト謂ンカ惟フニ今

日ノ場合ニ於テハ原案第八條ヲ以テ之ヲ包括セハ足ラン若シ夫レ  
別ニ刀劍商規則ヲ要スル時機ニ會セハ則チ其時ニ當リ完備ナル規  
則ヲ制定スルモ未タ晚シト爲サス乃チ四十番ノ動議ヲ賛成ス

○議長 四十番ノ修正說ハ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○三番 箕作  
麟祥

原案第八條ヲ存シテ意見書ヲ廢スルノ說問題ト爲レリ  
本官等修正委員ニ在テ同條ヲ削除シ而シテ意見書ヲ提出セル理由  
ハ第二讀會ノ首メニ方リ十番議官ノ詳陳セル如シ抑モ本案ハ番外  
一番ノ説明セル如ク古物商中不良ノ徒即チケイツ買ト強竊盜トノ  
聯絡ヲ斷ツヲ以テ大主眼ト爲セリ故ニ本案第一條ニ其提轄スヘキ  
者ヲ臚列シ即チ第一項ニ古道具、古本、古書畫、古着、古銅鐵、潰金銀ヲ  
賣買スル營業者第二項ニ袋物屋小間物屋鼈甲屋時計屋飾屋箔打屋

煙管屋ニシテ其營業ニ屬スル古物ヲ賣買交換スル者ト有リテ之ヲ現行八品商取締規則ニ比スレハ頗ル其數ヲ減セリ蓋シ本案ハケイヅ買ト強竊盜トノ間ニ關係ノ少ナルハ之ヲ措キ端ヲ其大ナル者ヲ提轄スルニ在リ本案ノ精神タル既ニ此ノ如ク各條モ亦其旨趣ニ外ナラサルナリ然ルニ獨リ第八條ハ之ニ反シ古物商ノ刀劍等ヲ賣渡讓渡スコトヲ提轄スルヲ專意トシタル者ニシテ是レ強竊盜ノ豫防法タルニ過キス尙ホ細カニ之ヲ說カハ他ノ條項ハ皆古物商ニ在テ物品ヲ買取り又ハ交換スルヲ提轄シ本條ハ其物品ヲ賣渡スコトヲ提轄スルノ旨趣ニ出テ主客其所ヲ異ニセリ是レ本官等ノ之ヲ本案外ニ存置セント欲セシ所以ナリ然レトモ其旨趣ヲ不可トスルニ非サルハ向キニ十番ノ辨明セル如ク要スルニ本案中ニ僅僅タル條文

ヲ併載シテ強竊盜ヲ豫防セントスルモ啻ニ其目的ヲ果ス能ハサルノミナラス殆ト竹木接合スルカ如キノ嫌ヒ有リ動議者等ハ第一條既ニ刀劍商ノ目アルトキハ原案第八條モ亦必ス存セサル可ラスト云フモ本官ハ是レ然ラスト爲ス何トナレハ刀劍商云云ノ文字ハ之ヲ原案第二十三條ニ取りシ者ニシテ其之ヲ第一條中ニ載タルハ刀劍ノ販賣ヲ取締ルニ非ス即チ之カ購求ヲ取締ルカ爲メニシテ約スレハ刀劍商ヲ古物商ト同一視セシニ由レリ蓋シ原案第二十三條ニ「刀劍商云云」ト有ルモ亦其旨趣ニ外ナラサル可シ然ハ則チ第一條ニ其文字アルモ原案第八條ヲ削除スルニ於テ何ノ妨ケカ之レ有ン又賛成者ハ意見書中ニ刀劍ヲ仕込ミタル器具ト言ヘル文字ヲ載セサルハ大缺點ナリト云ヘリ今意見書ノ事項ニ就テ論討スルハ固ヨ

リ好マサル所ナルモ既ニ駁撃ヲ來セル上ハ聊カ辨セサルヲ得ス抑モ意見書ノ文章ニ於テハ或ハ盡ササル所アリトスルモ所謂刀劍ヲ仕込タル器具ノ事ハ既ニ其第一條ノ劍類裝填ノ製作物ト言ヘル文字ヲ以テ包括セリ又意見書ニハ若干ノ條則ヲ掲クルモ原案第八條ノ意ヲ配列セシニ過キスト云ヘリ然レトモ第四條ニハ「露店又ハ路傍ニ於テ云云」ト言ヒ第五條「日出前日没後云云」第六條ノ「警察官ニ於テ其物品ヲ取上クヘシ」ト有ルハ皆以テ新設ノ旨趣ニ非サルハ莫シ惟タ原案第八條ト同一ナルハ第三條アルノミ原來刀劍取締ニ於ルモ彼ノ銃砲彈藥ノ如ク別ニ條例ヲ制定センコトヲ欲スルモ常ニ陸海軍並ニ徵發令等ニ關係ヲ有スル者ニ非サルカ故ニ彼レト其管理ヲ等ウスルヲ得ス然ルモ原案第八條ノミニテハ其効用ヲ收ム

ル能ハサルヲ以テ終ニ其提轄ヲ此點ニ止メシナリ且「日出前日没後云云」ノ如キハ此事項ニ於テ最モ緊要ナリトス故ニ若シ之ヲ不完備ナリトセハ更ニ修補スルモ可ナラン殊ニ日出前日没後云云ト言フモ刀劍商ノ店舗ニ看守者ヲ付スルニ非サレハ實行ス可ラスト駁難スル如キハ酷論タルヲ免カレサル可シ若シ然ク論スルニ於テハ原案第八條ノ「身元詳ナラサル者云云」ト有ルモ是レ眞ニ其詳否ヲ知ル能ハサラシ又露店路傍ニ就テ其區別如何ヲ排擊スルモ是ノ如キハ彼ノ權衡ニ懸テ輕重ヲ測知スルト同日ノ觀ヲ以テ論ス可キニ非ス要スルニ原案第八條ハ縱令空文徒法ニ屬スルモ本家中ニ之ヲ存セハ足ル何ソ故サヲニ刀劍取締規則ヲ要センヤト云ハハ即チ止シノミ苟モ方今偷盜ノ兇器ヲ携フル者多キヲ以テ之ヲ提轄セン

ト欲スルニ意アラハ即チ原案ノ如キ僅僅一條文ヲ以テ其効用ヲ收ムル能ハス是レ本官等特ニ刀劍商取締條例ノ緊要缺ク可ラスト爲ス理由ナリ

○番二番 黒田綱彦

本官等切ニ請求セント欲セシ原案第八條恢復ノ動議

ハ幸ニ問題トナレリ修正委員ノ同條ヲ削除セシ旨趣ハ嚮日十番ノ辨明及ヒ只今三番ノ論說ニ因テ之ヲ詳ニスルヲ得タリ而シテ其旨趣タル本案ノ目的ハ古物商ト偷兒トノ間ニ行ハルル贓品賣買ノ途ヲ遮斷スルニ在ルニ特リ第八條ハ刀劍其他ノ器具ヲ賣渡讓渡スコトヲ檢束スル者ニシテ他ノ條項ト其性質相同シカラス加之原案ノ如キ僅ニ一條文ヲ以テ刀劍ノ賣讓ヲ提轄セントスルモ到底其効用ナシト言フニ在リ抑モ原案第八條ハ之ヲ輕視セハ古物商ト偷兒ト

ノ聯絡ヲ斷ツニ緣ナキカ如キモ決テ然ラス爰ニ警視廳ニ於テ十三年一月ヨリ十二月ニ至ル持兇器強盜犯ノ携持セシ刀劍ノ出處ヲ計查スルニ總數百六十本ニシテ内六十八本ハ古道具店若クハ露店ニ於テ購收シ十七本ハ強奪若クハ竊取ニ係リ二十七本ハ黨類逃走セシニ由リ出處明カナラス四十八本ハ口供完結セサルニ由リ是亦出處詳カナラス一本ハ僞テ他ヨリ借用シ一本ハ服罪セサルニ由リ明カナラサル者等ナリ是ニ由テ之ヲ觀ハ黨類逃走若クハ口供完結セサルニ由リ出處明カナラサル刀劍七十五本中其古物商ヨリ購收セラル者蓋シ亦少ナカラサラン然ラハ則チ本條ノ他條ト賣買授受ノ差異アルハ論者ノ言ノ如キモ其以テ古物商ト偷兒トノ聯絡ヲ斷ツニ必要ナルハ明亮ナリトス蓋シ向キニ或官衙ヨリ刀劍商規則ヲ制定

セシコトヲ内閣ニ建議セル有リ内閣ニ於テモ亦之カ是非ヲ論窮セサルニ非ス而シテ其否ナル所以ハ本案第一讀會ニ方リ番外一番ヨリ粗之ヲ辨明セリ之ヲ要スルニ刀劍ハ兇器ナルカ爲メ宜ク之カ取締規則ヲ制定スヘシト云ハハ厨刀鋸子ノ類モ亦皆提轄セサル可ラサルニ至ラン然リ而シテ唯其刀劍ノミヲ提轄センカ我國千古ノ遺風ニ由リ曾テ武士ハ常ニ二刀ヲ佩用シ農商ノ如キモ慶吊ノ禮ニハ必ス一刀ヲ帶フ故ニ我國ノ男子ハ平均一人ニ一刀ヲ有スルト見ハ其數凡千八百萬本ノ多キ有リ而シテ實際ハ決シテ是等ノ數ニ止マラサルナリ然ルニ論者ハ何如シテ能ク此許多ノ刀劍ヲ提轄スルヲ得ルカ是レ到底言フ可クシテ行フ可キニ非ス且修正委員ノ意見書ヲ熟讀スルニ其第一條ヨリ第七條ニ至ルノ中ニ就テ刀劍商ノ人員

ヲ定ムルハ最モ是ナラス若シ之ヲ定メハ必ス一層ノ弊害ヲ惹起ス可シ何トナレハ原來刀劍商ニ就テ刀劍ヲ購求スル者ハ概シテ文武官吏ノ式ニ依テ當サニ佩用スヘキ人ニ止マリ而シテ偷兒ニハ毫モ關係ヲ及ホササレハナリ縱令一步ヲ讓リ姑ク人員ヲ定ムルヲ是トスルモ管轄廳ハ何ヲ標準ト爲シテ之ヲ定シ乎恐ラク其據ル所ニ窮スルナル可シ又日出前日没後或ハ露店路傍等ノ事項ノ不妥ナルハ四十番ノ既ニ論舉セル如シ因テ今贅セス又第六條ニ「第三條第四條第五條ヲ犯ス者ハ警察官ニ於テ其物品ヲ取上クヘシ」ト有リテ其第三條ヲ犯ストハ即チ身元詳カナラサル者等ニ物品ヲ賣渡讓渡シタルヲ指スナル可シ然ルニ已ニ身元詳カナラサル者ノ物品ヲ取上ルハ何如シテ之ヲ爲スヲ得ン或ハ警察官ニ於テ其買取主ヲ偵索

シ得テ後之ヲ取上ルノ意ナルカ是レ理論ヨリセハ或ハ然ル可キモ  
實際ニ於テハ決テ行ヒ得ヘキニ非ス但シ意見書ニ就テハ委員ニ於  
テモ好修正ヲ得テ完備ヲ期セントノ言アリシヲ以テ本員ハ強テ其  
可否ヲ論詰セサルモ一二ノ點ヲ舉ルモ其不完然ナルコト此ノ如シ  
畢竟原案第八條ハ偷兒ノ携フル所ノ刀劍ハ概子古物商ヨリ買取シ  
モノニ係ルヲ以テ該商ノ之ヲ賣渡讓渡ニ就テ提轄セハ可ナリト爲  
スナリ且ヤ本員等ハ本案第一條第二項ノ既決セル上ハ原案第八條  
ハ當然恢復ス可シト思量セシニ其恢復說ニ對シテ反撃アルハ實ニ  
解セサル所ナリ蓋シ曾テ修正委員ノ内覽ニ供セシ某官衙ノ上申書  
ニハ刀劍商ヲ古物商中ニ包括セス然レトモ刀劍商ノ如キハ幾分カ  
古物ニ緣故ナキニ非サルヲ以テ原案第八條ヲ掲ケ以テ第二十三條

刀劍商云云ニ照應セシメタリ若シ夫レ論者ノ言ノ如ク特ニ刀劍商  
取締規則ヲ設定スル者トセハ是等ノ條項ハ要用ナラサルモ其然ラ  
サル限リハ決テ無要トハ謂可ラス又刀劍ノ賣買ヲ言ハスシテ其賣  
渡讓渡ノミヲ檢束スル者ハ他ニ非ス偷兒ノ刀劍ヲ竊ムヤ乃チ其價  
値アル裝具ノミヲ把テ之ヲ賣却シ中身ニ至テハ之ヲ賣却セハ其犯  
罪ノ容易ニ發覺センヲ恐レ概子溝渠等ニ投棄スルヲ常トス是レ賣  
渡讓渡ヲ檢束セハ足レリト爲ス所以ナリ且現行八品商取締規則三  
十六營業者中ニモ刀劍商ヲ加ヘス現今東京府下ニ在テ純粹ナル刀  
劍商ハ唯彼ノ町田平吉等數人アルノミ然リ而モ僅僅是等ノ數人ヲ  
提轄スルカ爲メ特ニ條例ヲ新設セサル可ラサルノ必要ヲ見ス然ル  
ニ府下大小古道具店ヲ通觀スルニ其刀劍類ヲ陳設セサル者ハ幾ト



稀ナリ加之偷盜ノ兇器ハ多ク古道具商ヨリ收得スル者ナルヲ以テ  
原案第八條等ヲ掲ケ之ヲ提轄スルハ最モ必要ナリトス故ニ前ニモ  
陳セシ如ク本案第一條ニ刀劍商ノ字句ヲ示シ而シテ原案第八條ヲ  
削除セシハ案外千萬ナルニ拘ハラス假リニ意見書ハ可決スル者ト  
看做スモ之ヲ前後日ヲ介シテ布告スルトキハ則チ恰モ他ノ法律中  
ニ刀劍商ト言ヘル字句アルヲ以テ更ニ一ノ法律規則ヲ發シテ之カ  
解釋ヲ下スニ似テ頗ル奇異ニ涉レルニ非スヤ要スルニ賣ルト買フ  
ノ取締リニ異同アルモ到頭其揆ハ一ナルヲ以テ四十番ノ動議ノ如  
ク爲ランコトヲ望ム

○十五番

柴原和

原案第八條ヲ恢復ス可シトノ問題ニ對シテハ三番ハ  
餘蘊ナク論辨セシモ今又番外二番ノ駁論アルヲ以テ聊カ之ニ答ヘ

ン番外二番ハ第八條ト他條トハ賣ルト買フノ差異アルモ其提轄ニ  
至テハ一ナリト云ヘリ然ルニ獨リ賣買ノ異ル有ルノミナラス刀劍  
ヲ仕込ミタル器具ト言ヘハ概シテ新造ニシテ古物ニ非ス既ニ古物  
ニ非ストセハ該條ノ他條トハ則チ木竹接合スルカ如キノ嫌ヒ有ル  
ヲ免レス又該條ハ第一條ニ掲クル刀劍商ト照應スト言フモ該條ニ  
純然タル刀劍商ヲ指スニ非サルハ内閣委員ノ論辨中偷盜携持ノ刀  
劍百六十口ノ内六十八口ハ古道具屋若クハ露店ニ於テ購求セル者  
ニ係レルヲ以テ之ヲ提轄セサル可ラスト云ヘルニ由テ自ラ明白セ  
リ然ラハ則チ第八條ノ設ケ有ルハ前後照應ノ爲メニ非スシテ即チ  
古物商ニ於テ刀劍ヲ賣渡讓渡スコトヲ提轄スルガ爲メナルハ疑ヒ  
無カラン又番外二番ハ未タ問題タラサル意見書ニ對シテ駁撃ヲ下

セシヲ以テ本官モ亦聊カ之ニ答辨セントス番外二番ハ刀劍ヲ提轄セハ厨刀ノ如キハ如何ト云ヘリ說ノ如ク厨刀モ人ヲ害スルニ足ル可シト雖モ強盜ノ携持セル兇器ト云ハハ概シテ刀劍若クハ仕込杖等ナリ故ニ原案第八條ニモ「刀劍又ハ之ヲ仕込ミタル器具」ト掲ケテ其厨刀等ノ事ヲ記セス若シ夫レ厨刀鋸子モ亦提轄セサル可ラストセハ何ソ原案ニ之ヲ載セサルヤ彼ニ之ヲ示サスシテ此ニ之レ無キヲ責ルハ所謂人ヲ傷ケントシテ自ラ傷フ者トス又刀劍ハ家家之ヲ藏セサル莫キヲ以テ到底提轄スル能ハスト說クモ本官等ノ起草セル者ハ刀劍商取締規則ニシテ刀劍取締規則ニ非ス然ハ則チ此說モ亦傍題タルヲ免レサラン蓋シ本官等ハ彼ノ銃砲ノ如ク刀劍モ亦悉皆戳印シテ之ヲ提轄セント欲スルノ意旨ナルニ非ス又刀劍商ノ

員數ヲ定ムルモ他ニ之ヲ賣ル者アラハ到底無効ナリト說クモ是レ猶ホ古物商取締條例ヲ嚴立スルモ素人ノ間ニ於テ互ニ古物ヲ賣買スルハ之ヲ如何トモスル能ハサルカコトシ要スルニ甲者ノ物品ヲ買ヒ之ヲ乙者ニ賣リ轉輾賣買スル者ハ商估ナリ乃チ營業鑑札ヲ受ケサル可ラス若シ否ヲサレハ犯則ヲ以テ論ス可キノミ以上番外二番ノ駁撃ノ如キハ本官等ニ在テ毫モ痛痒ヲ感セサルナリ又本案第一條ノ可決セル上ハ原案第八條ハ彼ト照應シテ存置セサル可ラスト云フハ獨リ番外二番ノミナラス問題發議者モ舉論スル所ニシテ是レ問題說ヲ維持スルニ於テ幾分カカアル可キモ前ニ番外一番ノ自ラ辨スル如ク刀劍若クハ仕込ミ杖等ヲ竊メハ概子其中身ヲ捨テ裝具ヲ把リ之ヲ飾屋若クハ刀劍商ニ估却スル者ナルニ由リ即チ第

一條ニ刀劍商云云ノ字ヲ加ヘタルモ畢竟飾屋ヲ列記スルト其精神相異ナラサルナリ而シテ第八條ヲ削除セシハ本官等既ニ辨明セシ如ク原案ノ旨趣ヲ是認シ而モ該條ノミニテハ提轄ノ効用ヲ收ムル能ハサルヲ以テ別ニ刀劍商取締規則ヲ草シ以テ之ヲ提出セシナリ然ルニ番外二番ハ今將サニ發布セントスル本案中刀劍商ノ解釋ヲ後日發布ス可キ條例ニ委スルハ奇異ナリト難セリ本官等或ハ自負ニ似タルヤヲ知ラサレトモ苟クモ本意見書ノ主義ニ由テ之ヲ可決シ以テ上奏スルニ至ラハ必スヤ本案ト同時ニ之ヲ發布アラソコトヲ信スルナリ意見書ニ關シテハ尙ホ論述ス可キコト無キニ非サルモ頗ル長談ニ涉ルヲ以テ言ヲ此ニ止ム

退席

四十二番

官本

小一

同

四十三番

田邊

太一

○八番伊丹重賢 原案第八條ヲ恢復スルノ說頻頻タリ就中番外二番ハ本官等ノ提出セシ意見書ニ對シテ喋喋駁撃ヲ下セリ同書ハ未タ議題ニ上ラサルヲ以テ今強テ鬪論ヲ好マサルモ第八條存廢如何ニ關係アルヲ以テ聊カ辨述セサル可ラス番外二番ハ恢復論ヲ援ケテ第八條ハ偷兒ノ豫防ニ必要ナル者ナリト云ヘリ實ニ然リ然レトモ刀劍ヲ買取り而ル後チ始メテ強竊盜ト爲ル者モ或ハ之レ有ン原來本案ノ主眼ハ當初番外一番ノ説明セシ如ク所謂ケイツ買ヲ取締ルノ目的ニ在リテ偷兒ノ豫防法ニ非ス果シテ然ラハ第八條ハ本案ノ主眼ニ違フ者トス是レ本官等ノ之ヲ本案ニ削除セシ理由ナリ然レトモ其取締リヲ不要ト爲スニ在ラス一層其旨趣ヲ擴充セント欲スルノ

意ナルハ三番十五番ノ既ニ辨明セルカ如シ且番外二番ノ持兇器盜ノ携持セシ刀劍ノ出所ヲ計査セシニ十中ノ三個ハ古道具店若クハ露店ニ於テ購求セシ者ナリト言ヲ以テスルモ此第八條ノ條文ノミニテハ之ヲ提轄スルニ足ラサルヤ明カナリ又刀劍類ハ家家ニ所藏スル者ナルヲ以テ之ヲ提轄スルハ難シト云ヘリ說ノ如ク刀劍ヲ藏スル者ハ千百萬ノ夥多ナルモ今日ニ在テハ文武官吏ノ職務上ニ佩用スルノ外其他ハ決テ帶用スルヲ得サルノ制度ナルカ故ニ夫ノ銃砲彈藥ト一般或ル部分ノ外ハ全ク必要ナラサル者トス是ヲ以テ本官等ハ之カ賣買ニ關シ幾分ヲ檢束シ以テ提轄ノ效ヲ收メントスルナリ爰ニ番外二番ノ論說中最モ奇恠ナリト思量スル者ハ即チ刀劍取締ノ規則ヲ必要ト爲サハ厨刀ノ如キモ亦取締規則ナカル可ラス

ト云ヘル是レナリ果シテ然ラハ何ソ原案第八條ニ厨刀等ヲ列記シテ以テ之カ提轄ヲ加ヘサル耶蓋シ此論點ニ對シテハ既ニ十五番ノ辨駁餘蘊ナキヲ以テ復タ贅及セス

○十番

大給恒

第八條恢復ノ說問題ト爲ルニ方リ番外二番ハ熱心ニ之

ヲ揚賛シ隨テ本官等提出ノ意見書ヲ論難セリ抑モ本案ノ精神ハケイヅ買ト偷兒トノ聯絡ヲ遮斷スルニ在ルハ各位ノ知ル所ナリ而シテ第一條ノ刀劍商云云ノ文字ハ之ヲ原案第二十三條ニ取レリ反對論者ハ此ニ之ヲ示シテ原案ノ第八條ヲ削除スルハ解シ難シト云フモ是レ刀劍商ニ在テ贓物ニ係ル刀劍ヲ買取り若クハ交換スルヲ提轄スルカ爲メニシテ彼ノ古物商ノ贓物ヲ買取り若クハ交換スルヲ提轄スルト異ナルナシ畢竟偷兒ノ竊取セシ刀劍ハ其中身ハ溝渠等

ニ委棄スルモ装具ニ至テハ之ヲ飾屋潰金銀屋若クハ刀劍商等ニ賣却スルカ故ニ刀劍商モ亦飾屋潰金銀屋ノ類ト同シク之ヲ提轄セサル可ラス然ルニ原案第八條ハ他條ノ如ク物品ヲ買取り若クハ交換スルヲ取締ルニ非スシテ即チ賣渡讓渡ヲ取締ラントス豈性質相同カラサル者ナラスヤ但シ原案ハ何ニ因テ此異性質ノ者ヲ提轄スルカト問ハハ即チ偷兒輩ノ之ヲ買フテ兇惡ヲ逞ウスルヲ防制センカ爲メナリ然リ而シテ本官等ノ同條ヲ削除セシモ其事項ヲ非視スルニ非サルハ載テ意見書ニ明亮ナリ蓋シ意見書ハ未タ以テ完備ナラサルカ如キモ之ヲ原案ノ僅ニ一條ヲ以テ包括セントスルニ比スレハ必ス其勝レルヲ信ス否啻ニ勝レルノミナラス體裁ニ於ルモ彼此性質ノ異ナル者ヲ混載セシ原案ノ如キニ非サルナリ是ニ由テ之ヲ

觀レハ内閣委員ノ其原案主持ノ職任ヲ以テセハ毫モ此修正ヲ批難ス可キ理由ナキノミナラス却テ満足ノ意ヲ表セサル可ラサル者ト考フルナリ且本官等ノ意見書ニ可決スルトキハ本案ヲ發表スルト同時ニ之ヲ發表センコトヲ申奏スルノ意ナリ又兇器ヲ提轄セントナラハ刀劍ノミニテハ未タ足ラストノ駁論アリ所謂寸鐵人ヲ害スト言ハハ或ハ錐若クハ刀子モ亦殺傷ノ具ニ外ナラサルモ盜賊ノ兇器ヲ携持スルハ原ト人ヲ恐赫シ以テ財ヲ獲ント欲スルニ在レハ是レ毎ニ大刀ノ類ナリ彼ノ錐刀子ノ如キヲ以テ恐赫セントスルモ素ヨリ人之ニ怖レサルナリ之ヲ要スルニ本官等ノ意見ハ刀劍類ノ販賣ハ宜ク提轄ヲ要スヘキモ原案第八條ノミニテハ未タ効用ヲ收ムル能ハス故ニ其營業者ヲ定メ以テ之ヲ提轄セントスルニ在リ該條

ヲ削除セシハ到底其非ヲ知ラサルナリ

○二十番 大鳥圭介

本官ハ問題説ニ左祖ス原案第八條ヲ恢復ス可キ理由

ハ發議者等ヨリ既ニ陳述セシヲ以テ今其重複ヲ避ケテ此ニ聊カ補辨セントス抑モ修正委員ノ第八條ヲ削除セシ理由ヲ聽クニ曰ク他ハ皆物品ヲ買取ルコトヲ提轄スルノ條則ナルニ獨リ同條ハ賣渡讓渡ニ關ス是レ木竹接合スルカ如キノ嫌ヒ有リト本案素ヨリ古物商ノ物品ヲ買取ルコトヲ提轄シ以テ偷兒トケイツ買トノ聯絡ヲ斷ント欲スルヲ主眼ト爲スモ本案中既ニ物品ヲ賣買シト掲ケ或ハ物品輸送等ノ事項ヲモ併載スル有リ然ハ則チ其賣渡讓渡シノ事ヲ掲クルニ於テ何ノ不可カ有ン又該條ノ旨趣ヲ非視シテ然ルニ非ス却テ之ヲ敷衍スルノ目的ニ出タリト言フハ頗ル穩當ノ説ニ似タルモ意

見書ニ就テ之ヲ考フルニ特ニ原案ノ第八條ヲ削リテ單行規則ヲ設定セサル可ラサルカ如キ新意匠アルヲ觀ス且假リル其完備ナラサルハ之ヲ修補シ以テ上奏スル者ト做スモ其果シテ内閣ノ嘉納スルヤ否ヲ期ス可ラス況ヤ當議場スラ其可否ノ決局ヲ判ス可ラサルニ於テヲヤ且各位ノ詳知セル如ク本條例ハ急施ヲ要スル者ナルニ前陳ノ如ク其成否モ未タ必ス可ラサル意見書ヲ賴ンテ第八條ヲ削ラシヨリハ寧ロ之ヲ存スルニ議定シ而シテ徐ニ意見書ノ當否ヲ審議シ其可決スルニ迫ンテ原案第八條ノ削除ノ事ヲ申奏シテ可ナリ此ノ如クセハ主務官ニ在テモ大ニ便利ナラン之ヲ要スルニ假令ヒ意見書ノ如ク可決上奏シ而シテ内閣ノ採納スル所ト爲ルモ本案ト同時ノ發布ハ到底企テ望ム可ラサル者トス故ヲ以テ第八條ハ之ヲ存

スルニ決シ意見書ニ至テハ徐徐審議センコトヲ望ム

○三十二番 三浦安

本官ハ現問題ヲ賛成スル能ハス茲ニ修正委員ニ質問セント欲スル者アリ抑モ委員ノ原案第八條ヲ削除シ以テ意見書ヲ提出セシ旨意ハ原案ノ如ク古物商ヲ提轄スルノ次テニ刀劍類ヲモ之ニ包括セントスルハ到底其能ハサルノミナラス木竹接合ノ嫌ヒ有リト爲スニ由ル然レトモ二十番ノ論セル如ク其意見書ノ決議如何モ亦今豫シメ期ス可ラス若シ夫レ議場ノ容レサル所トナルトキハ修正委員ニ於テ原案第八條ヲ存置スルヲ是認スルノ意ナル乎果シテ然ラハ之ヲ削除スルハ非ナラン然ルモ本官ノ村度スル所ハ其成否ニ拘ハラズ委員ハ本條ヲ不要ナリトシテ之ヲ削除セシナル可シト思ヘリ請フ明答アラシコトヲ

○十番 大給恒

三十二番ノ質問ニ答ヘン本官等意見書ヲ提出セシハ原案第八條アルヲ以テナリ夫レ該條ノ如キ原ト之ヲ別布告ト爲ス者ナレハ即チ可ナリ之ヲ古物商取締條例中ニ登載スルハ穩當ヲ缺ク是レ本官等該條ヲ削除シ以テ別ニ意見書ヲ草定セル所以ナリ要スルニ意見書ハ第八條ヲ敷衍シタルニ過キス而シテ該條ヲ削去スルモ本案ノ主義ニ於テ一點ノ缺漏ヲ見サルニ因リ意見書ノ存廢如何ニ關セス本官等ハ之ヲ本文中ニ削ラントス

○三十二番 三浦安

諾セリ本官モ亦此第八條ハ削除スルヲ可トス反對論者ハ本案既ニ物品ノ賣買ヲ提轄ス然ラハ則チ同條ノ賣渡讓渡シニ就テ檢束スルモ肯テ他條ト性質ヲ異ニスト謂フ可ラスト云ヘリ或ハ然ラン然レトモ本文中賣買ノ字句アルハ皆是古物商及ヒ之レ

ト物品ヲ賣買スル人ニ係ルノ提轄法ニシテ彼ノ第八條ハ即チ物ニ係ルノ提轄法ナリ故ニ之ヲ一法中ニ臚列スルハ彼此異性質ノ者ヲ混載スト謂ハサル可ラス加之本案第一條第二項ニ刀劍商云云ト有レハ之ヲ削去スルモ亦敢テ障碍ヲ見ス況シテ先ニ盜罪賭博ノ處斷ヲ受ケタル者ニ賣渡讓渡スコトヲ得スト言フモ其盜犯ノ口供ヲ得シ場合ニ非サレハ此規則ニ背戾セル者アルモ決シテ知ル能ハサル可シ然ハ則チ此第八條ハ空文徒法ニシテ實際取締ノ効用ヲ收ムル能ハサルヤ明カナリ故ニ修正委員ノ之ヲ削リ別ニ刀劍商取締規則ヲ制定セント言フハ頗ル理由有リトス但シ意見書ハ未タ疵瑕アルヲ免レサルヲ以テ本官ハ舉テ之ヲ贊同セサルモ其別ニ取締規則ヲ制定セント欲スルノ意旨ハ其當ヲ得タリトス故ニ其規則ノ如キハ

徐徐ニ審議完結ヲ得テ之ヲ上奏シテ可ナラン何トナレハ今遽然之ヲ設定セサルモ既ニ本案第一條第二項ノ刀劍商ト言ヘル有レハ該商ヲ提轄スルニ於テ障碍ナキヲ以テナリ内閣委員ハ第二項ノ可決セル上ハ此第八條ハ存セサル可ラスト説クモ前陳ノ如キ理由アリ彼ハ可決シ此ヲ削除スルニ於テ何ノ妨ケカ之レ有ン殊ニ第八條ヲ存セハ一支障アルヲ感ス蓋シ該條中「之ヲ仕込ミタル器具」ト有ルハ所謂仕込杖ノ類ヲ指スナル可キモ彼ノ器具ハ古來復讎等ヲ企ルカ如キ公然佩刀スルヲ忌ミ竊ニ携持セル者ノ具タリ然ルニ今ヤ刀劍ハ陸海軍兵士及警官等ノ外之ヲ帶用スルヲ許サス故ニ彼ノ仕込杖ノ如キハ惟タ農商工ノ旅行ニ際シ護身ノ具トナシテ携持セルニ過サルノミ官府ニ在テハ素ヨリ之ヲ公認スルニ非ス即チ默許ノミ



若シ夫レ是ノ如キ字句ヲ法文ニ載ルトキハ官府ノ之ヲ明許セル如キ看ヲ呈ス可シ且ヤ之ヲ明示セサルモ百般ノ古道具中ニ包含セル者ト做シ以テ之ヲ提轄スル能ハサルニ非ス加之本條ト他條トハ前陳ノ如ク性質相異ナル者ナルヲ以テ之ヲ削除スルヲ允當ナリトス夫ノ意見書第一條劍類裝填ノ製作物ト言ヘルニ就テハ異論ナキニ非サルモ今之ヲ議スルノ時ニ非サルカ故ニ多及セス

○三十六番 神田 孝平 四十番ノ動議ニ左袒ス朝來各位ノ説ヲ聽クニ第八條ヲ削除セシハ到底性質論ニ外ナラス原案モ亦幾分カ妥當ナラサルニ非サルモ之ヲ意見書ニ比スルニ其提轄ノ點ニ至テハ彼此大差アルヲ見ス且假令意見書ニ修正ヲ加フルモ未タ以テ一般刀劍ノ賣買讓與ヲ提轄スルニ足ラス然ラハ則チ之ヲ發布スルニ至ルモ特ニ

○其効用ヲ見ル能ハサルノミナラス徒ニ世上ノ侮慢ヲ招カントス此ノ如キハ寧ロ第八條ヲ存シテ幾分カ提轄ノ用ニ供スルニ若カス約スルニ反對説ハ結局體裁ノ可否ヲ論スルニ過キス若シ夫レ之ヲ存シテ障碍アラハ即チ止シ其然ラサル限りハ良シヤ體裁不整ナルモ之ヲ忍シテ實益ヲ圖ルヲ可トス

○三十五番 本田 親雄 本官モ四十番ニ左袒ス番外二番及ヒ三十六番ノ前後論辨ハ稍ヤ本官ノ意見ニ同シ一言以テ之ヲ蔽ヘハ原案第八條ヲ削除ス可キ理由ハ一モ其當ヲ得ス且意見書ハ多ク條項ヲ臚列スルモ其効用ニ至テハ彼第八條ノ簡單ナルト大差アルヲ知ラス須ラク原案ニ復スヘシ

○二番 細川 潤 次郎 決議ニ先チ簡單ニ本官ノ意ヲ陳ントス本官ハ全ク四

○十番ニ同意ス本案第一條中刀劍商ハ此條例ニ準據スヘシト有ルヲ以テ或ハ足レルカ如キモ第八條ハ一步ヲ進メ其賣渡讓渡ニ係ル制限法ヲ示セル者ニシテ蓋シ第一條ノ旨趣ヲ敷衍セシ者ナリ故ニ之ヲ存スルモ効用ナシトハ謂フ可ラス且ヤ第一條ニ既ニ賣買ノ字句有ル上ハ其賣渡等ノ事ヲ載スルモ敢テ妨ケ無カラシ況ヤ第八條ハ兇器取締ノ旨趣ニ適フヲヤ

○三十二番 三浦安 一言セントス

○議長 三十二番ニ告ク本問題ノ得失ニ關シテハ各位ノ旨意既ニ議場ニ徹底セルヲ信ス因テ今ヤ問題ノ決ヲ取ントス然レトモ仍ホ盡サストセハ決議ヲ午餐後ニ讓ラン

○三十二番 三浦安 決議ノ前ニ於テ必ス一言セサルヲ得サル者アリ因

テ極メテ簡單ニ之ヲ述ントス

○議長 可

○三十二番 三浦安 第八條ノ存ス可ラサル理由ハ既ニ論シ盡セルヲ以

テ復タ贅セス唯一言セント欲スル者ハ他ナシ各位ニ於テ意見書ノ完備ナラサルカ爲メニ或ハ問題左袒ノ傾向アルヲ見ル然ルニ本官等ノ該條ヲ否トスルハ意見書ノ完備如何ニ關セサルハ言ヲ俟ス其成否如何ニモ頓着セサルノ意ナリ因テ各位モ亦彼此別種ノ看ヲ做シテ問題ヲ取舍センコトヲ望ム

○議長 發議盡キタルヲ以テ決ヲ取シ四十番ノ修正ニ同意者ハ起立

○起立者十二人

○議長 多數ナルヲ以テ四十番ノ修正ニ決ス時午ヲ過ク午餐ノ爲メ暫ク本會ヲ中止ス散會セヨ

○議長 午後零時十五分開場ニ爲テ期ノ四十五分ニ同意者及同意者無ク午後ノ會議ハ十二月六日ニ延會ス

○議長 午後零時十五分開場ニ爲テ期ノ四十五分ニ同意者及同意者無ク午後ノ會議ハ十二月六日ニ延會ス

元老院會議筆記 明治十六年十二月六日

禁傍聽

○第四百六號議案 古物商取締第二讀會 十一月三十日ノ續會

議長 佐野常民

出席議員

- 二番 細川潤次郎
- 四番 野村一素介
- 五番 鷲尾隆聚
- 七番 鍋島直彬
- 八番 伊丹重賢
- 九番 東久世通禧
- 十一番 榎村正直

十三番 西村 貞陽

十五番 柴原 八世和

十九番 上杉 茂憲

二十五番 鍋島 幹

二十七番 河田 景與

二十八番 大久保 一翁

二十九番 渡邊 清

三十一番 林 友幸

三十四番 福原 實

三十六番 神田 孝平

三十九番 津田 眞道

四十二番 宮本 小一

四十三番 田邊 太一

内閣委員 番外 一番 參事院議官 水本 成美

同 番外 二番 參事院議官 補 黒田 綱彦

午前第十時十分開場

○議長 第四百六號議案第二讀會ノ續會ヲ開ク

書記官 森山 朗讀

第九條 古物商其商品ヲ他府縣ニ運送セントスルトキハ其商品ノ

目錄ヲ所轄警察署ニ届出ツヘシ

警察署ハ時宜ニ依リ荷造ヲ解キ物品ノ檢査ヲ爲ネコトアルヘシ

但費用ハ届人之ヲ擔當スヘシ